

第7次振興総合計画

分野		施策		主な事務事業		担当課	ページ		
A	主体的な学びの 表現	1	「みんなキラキラ」 子どもは町の主人公	ア	ICT教育推進事業	教育委員会	3		
				イ	「自分らしい学び」応援事業	教育委員会	5		
				ウ	地域人材教育推進事業	教育委員会	7		
				エ	子ども読書支援センター運営事業	教育委員会	9		
				オ	小中学校教育活動運営事業	教育委員会	11		
		2	「知って楽しい」 生きて学ぶこと	カ	各保育園保育実施事業	教育委員会	13		
				ア	公民館運営事業	教育委員会	15		
				イ	コミュニティ・スクール運営事業	教育委員会	17		
				ウ	図書館事業	教育委員会	19		
				エ	文化財事業(資料館含む)	教育委員会	21		
B	子育てしやすい 環境の実現	1	「こどもはたから」 みんなで育てる地域の子	オ	平和普及啓発事業	教育委員会	23		
				ア	子ども・子育て支援事業計画推進事業	教育委員会	25		
				イ	あったかてらす運営事業	教育委員会	27		
				ウ	各保育園保育実施事業	教育委員会	29		
C	魅力発信と地域 づくりの実現	1	「足元に魅力が」 ホントはここにみんなある	エ	子ども・家庭包括支援事業	健康福祉課	31		
				イ	観光振興事業	産業課	33		
		2	「いいなを実現」 理想のまちを自分たちで	ア	地域人材育成事業	総務課	35		
				イ	コミュニティ組織育成支援事業	総務課	37		
				ウ	自治組織運営支援事業	総務課	39		
				エ	まちづくり懇談会開催事業	総務課	41		
		3	「この風景を残したい」 良好な地域のデザイン	ア	土地利用・景観対策事業	建設課	43		
				イ	都市計画運営事業	建設課	45		
				ウ	山吹下河原土地利用計画策定事業	建設課	47		
				エ	天竜川かわまちづくり事業	建設課	49		
				オ	MIZBEステーション整備事業	建設課	51		
		D	健康の実現	1	「こころもからだもいつまでも 健康に」健康宣言	ア	たかもりACEプロジェクト事業	健康福祉課	53
						イ	総合健診事業	健康福祉課	55
ウ	心の健康づくり事業					健康福祉課	57		
エ	国保被保険者の特定健康診査等事業					健康福祉課	59		
オ	介護予防普及啓発事業					健康福祉課	61		
E	多様なスポーツ の実現	1	「やるのも見るのも」 スポーツ・文化芸術活動を楽しむ	ア	青少年校外スポーツ活動支援事業	教育委員会	63		
				イ	やるのも見るのもスポーツ事業	教育委員会	65		
				ウ	スポーツ・文化支援事業	教育委員会	67		
				エ	国民スポーツ大会開催事業	教育委員会	69		
				オ	体育協会活動支援事業	教育委員会	71		
F	福祉の実現	1	「人と人との支えあい」 福祉の力	ア	地域ケア会議推進事業	健康福祉課	73		
				イ	介護予防普及啓発事業	健康福祉課	75		
				ウ	認知症総合支援事業	健康福祉課	77		
				エ	障がいへの理解促進事業	健康福祉課	79		
				オ	タクシーを利用した外出支援事業	健康福祉課	81		
				カ	たかもりACEプロジェクト事業	健康福祉課	83		
G	経済的自立の 実現	1	「おいしい高森！」 よこび育む農業	ア	農地維持活動支援事業	産業課	85		
				イ	青年就農者定着支援事業	産業課	87		
				ウ	市田柿振興事業	産業課	89		
				エ	有害鳥獣駆除等事業	産業課	91		
		2	「続く営み、働く喜び」 みんなが働きやすい町へ	ア	商工会による商工業振興活動支援事業	産業課	93		
				イ	創業・企業支援事業	産業課	95		

第7次振興総合計画

分野		施策		主な事務事業		担当課	ページ		
H	持続可能な環境の実現	1	「今より優しい生活」 未来へつなぐ自然環境	ア	地球温暖化防止推進事業	環境水道課	97		
				イ	一般廃棄物収集処理事業	環境水道課	99		
				ウ	環境学習推進事業	環境水道課	101		
		2	「緑はいのちの源」 森と林のメンテナンス	ア	私有林整備支援事業	産業課	103		
				イ	町有林保育事業	産業課	105		
I	安全・安心の実現	1	「いつも備えて」 災害に強いまちづくり	ア	防災・減災対策事業	総務課	107		
				イ	地域消防施設整備支援事業	総務課	109		
				ウ	消防施設整備事業	総務課	111		
				エ	地域防災組織支援事業	総務課	113		
				オ	「とうかい」防止対策事業	建設課	115		
				カ	消防団運営事業	総務課	117		
		2	「蛇口からの安心いつまでも」 水道水の安全・安定供給	ア	水道維持管理事業	環境水道課	119		
				イ	水道整備・更新事業	環境水道課	121		
		3	「循環するきれいな水と 衛生的な暮らし」 持続可能な下水道事業運営	ア	下水道維持管理事業	環境水道課	123		
				イ	下水道整備・更新事業	環境水道課	125		
				ウ	農集排維持管理事業	環境水道課	127		
				エ	農集排建設改良事業	環境水道課	129		
		4	「安全・便利で心地よい」 いつも快適住環境	オ	浄化槽補助事業	環境水道課	131		
				ア	町道維持修繕事業	建設課	133		
				イ	町道 I -6号線拡幅改良事業	建設課	135		
				ウ	町道 I -1～230号線拡幅改良事業	建設課	137		
				エ	橋梁整備事業	建設課	139		
		5	「わたしが守る、みんなで守る」 安全で安心して暮らせるまち	オ	公園管理事業	建設課	141		
				ア	交通防犯指導員会運営事務	総務課	143		
				イ	交通安全協会運営支援事務	総務課	145		
				ウ	交通安全住民大会開催事業	総務課	147		
		5	「わたしが守る、みんなで守る」 安全で安心して暮らせるまち	エ	交通安全施設維持管理整備事業	総務課	149		
				オ	防犯施設維持管理整備事業	総務課	151		
				ア	広報誌発行事業	総務課	153		
		J	自律する行財政の実現	1	「あなたに届く、あなたから届く」 情報発信	イ	ホームページ管理運営事業	総務課	155
						ウ	SNS管理運営事業	総務課	157
						エ	自主放送番組制作事業	総務課	159
オ	文書発送事務					総務課	161		
ア	予算の編成と執行管理事務					総務課	163		
2	「充実した暮らしのために」 自立した行財政			イ	町有財産(土地・建物)維持管理事業	総務課	165		
				ウ	公会計整備事務	総務課	167		
				エ	町税徴収事務	税務会計課	169		
				オ	町県民税賦課事務	税務会計課	171		
3	「町民の夢や希望を支え、 後押しする」 持続可能な役場組織			ア	職員採用・定員管理事務	総務課	173		
				イ	職員の人事及び給与等の管理事務	総務課	-		
				ウ	職員の研修に関する事務	総務課	175		
				エ	職員健康診断実施事業	総務課	177		
				オ	DX推進事業	総務課	179		

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	ICT教育推進事業		種別	主
概要	<p>当町の ICT 教育推進事業では、児童生徒及び教職員が ICT を活用した教育活動を円滑かつ効果的に行えるよう、多面的な支援体制と環境整備に取り組んでいる。                  主な内容は以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GIGA スクールサポーターによる授業支援や技術サポート</li> <li>・ICT 関連の使用料(児童生徒や全教職員向け教育用アカウント配布)</li> <li>・電子黒板、デジタル教材(ドリル)、校務用パソコン等のリース料</li> <li>・児童生徒用端末の保守・管理や故障対応(修繕・更新作業)</li> <li>・校内ネットワーク環境の管理・整備(Wi-Fi 環境の維持・高速化)</li> <li>・教職員向け ICT 活用研修の実施(授業での ICT 活用技術・校務効率化・情報モラル教育を含む)</li> <li>・校務支援システムの運用・保守(勤務管理・成績処理等のデジタル化推進)</li> <li>・情報セキュリティ対策の強化(端末管理、アクセス制限等)</li> </ul>			
根拠法令等				
上位施策	記号と名称		目的	
	A-1	「みんなキラキラ」子どもは町の主人公	保育園児が屋外での遊びや運動を中心に様々な体験を深め、自然とふれあう中で、意欲、自立心、感性など根っここの力を育む 小学生が「将来の夢を描く」ための基本的能力を獲得するとともに、主体性や問題解決力を身につけるようにする 中学生が探究的な学びを通じ、自己課題を設定し、主体的に判断・解決する力を育み、「将来の夢」が描けるようにする	
担当課	教育委員会事務局		担当係	こども未来係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 小中学校の児童生徒	児童生徒がタブレットを活用して、自主的な学習に取り組む
(2) 教職員	ICT 機器の活用法を身につけ、従来以上にわかりやすく、児童生徒が関心をもてる授業が実施できる。
(3)	

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A ICT 機器の授業への定着	「昨年までの授業で PC・タブレットなどの ICT 機器をどの程度使用したか」の割合 100% (R6:北小 100 南小 72.9 中学 85.3)
B ICT 機器持ち帰り学習の定着	全クラス持ち帰り100%

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 環境整備	ネットワークアセスメント実施、改善 100%
b 学校間、教師間のICT活用の格差	全教員向けICT活用の校内研修 学期ごと年 3 回
c 校務デジタル化の推進	教員の働き方改革 使用 100%

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)
① デジタル化による校務の効率化 校務支援システムを導入し、教職員の業務を効率化し、負担軽減を図る
② 児童生徒の学習意欲と理解度の向上 タブレットの活用により、授業内容のスピードアップや、より内容の濃い学びの実現
③ 教員のICTを活用した指導力の向上 授業中のICT活用指導力や教材研究・準備・評価におけるICTかつ能力の向上
④ ICT を活用するための環境整備 ネットワークアセスメントを実施し、必要なネットワーク速度の確保

4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
第 1 1 日当たり 3 時間のタブレットの利用
第 2 授業でのICT活用の資質向上
第 3 家庭学習でのICT活用の本格化
第 4 年間を通じたICT活用の効果検証 次年度に向けた課題の洗い出し

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	・各学級1日当たり2~3時間のタブレットを利用して授業を実施した。対象:小3~中3
第2	・R7年度分タブレット納品。対象中1、小6、小5 ・ICT教育支援主事による「更新タブレット端末の使い方講習会」を8/20に開催した。 対象:中1、小6、小5の担任 ・9月から小5以上タブレットの持ち帰り学習が始まった。 ・各校ネットワークアクセスメントの業務委託業者選定・契約を行った。
第3	・ネットワークアクセスメント業務を実施した。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	「自分らしい学び」応援事業		種別	主
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間教室「ぱれっと」の運営</li> <li>・不登校支援ボランティア等との連携及び関係者ネットワークの拡大</li> <li>・SEL(社会性と情動の学び)研修の実施</li> <li>・信州型フリースクールに通う家庭への利用料補助</li> </ul>			
根拠法令等				
上位施策	記号と名称		目的	
	A-1	「みんなキラキラ」子どもは町の主人公	保育園児が屋外での遊びや運動を中心に様々な体験を深め、自然とふれあう中で、意欲、自立心、感性など根っこを育む 小学生が「将来の夢を描く」ための基本的能力を獲得するとともに、主体性や問題解決力を身につけるようにする 中学生が探究的な学びを通じ、自己課題を設定し、主体的に判断・解決する力を育み、「将来の夢」が描けるようにする	
担当課	教育委員会事務局		担当係	こども未来係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 小中学生	自分らしく学び続ける居場所を探す
(2) 保護者	児童生徒の学びを支える
(3) 地域住民	地域全体で子どもたちの学びを支える

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 長期欠席者数(年間30日以上)の減少	R11末:50人
B 長期欠席児童生徒が「ぱれっと」を含めたフリースクールや多様な学びの場に参加している児童生徒数	自分らしく学び続ける居場所の割合 60%

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 長期欠席者数(年間30日以上)の減少	不登校・病気等 R6末63人 /R7末60人
b 長期欠席児童生徒がパレットを含めたフリースクールや多様な学びの場に参加している児童生徒数	自分らしく学び続ける居場所の割合 R6末47.6% /R7末50%
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 教育支援センターぱれっとを中心とした相談窓口の整備、受け入れ体制の充実	第1 保護者や地域住民に事業内容説明(パンフレット配布) 地域との連携による職場体験実施例)保育園
② フリースクールなどの民間団体との連携による学習支援	第2 第1四半期の活動の振り返り 夏休み期間中に特別な学びの機会の提供
③ ICT活用による教育機会の確保	第3 第2四半期の活動の振り返り
④ 保護者の個々の状況に応じた働きかけ	第4 第3四半期の活動の振り返り 次年度に向けた計画策定

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日: 令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	・保護者や地域住民に事業内容説明(三校にはパンフレットを家庭数配布) ・調理実習や職場体験等を行った。ボランティアの方たちと交流しながら調理実習等出来た。
第2	・第1 四半期の活動の振り返り ・夏休み期間中に特別な学びの機会の提供 ・調理実習や職場体験等を行った。ボランティアの方たちと交流しながら調理実習等出来た。 ・フリースクールに通う家庭への利用料補助を行った。
第3	・第2 四半期の活動の振り返り ・ICT活用(デジタル教材「すらら」)による教育機会の確保 ・調理実習(お弁当作り、たこ焼き)や職場体験(建設会社体験、土器洗い等)を行った。 ・フリースクールに通う家庭への利用料補助を行った。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)			
①			
②			
③			
④			
2) 目標の達成度			
指標	令和7年度末の状況		
	実績		達成度
a			
b			
c			
(1)~(3)平均			
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度	
A			
B			
AB 平均			
3) 取り組みの効果の確認			
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。			

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)			
2) 次年度の事務事業のあり方			
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	変更内容・理由		
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	変更内容・理由		
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	変更内容・理由		

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	地域人材教育推進事業		種別	主
概要	・地域で熱い思いを持って活躍する企業を知るしごと未来フェア開催 ・夢先生に登録しているアスリートから、自分の夢をどのように実現したかのお話を聞き、児童生徒に対し、夢への情熱等を醸成する事業→夢の教室 ・総合的な学習(地域人材教育) 小中学校の総合的な学習の時間の授業において、地域の課題に主体的に関わろうとする意欲や地域への愛着を育む取り組みを展開し、高森町の未来を切り開いていく人材の育成を目指す。			
根拠法令等	教育基本法、学校教育法、学校教育法施行規則、学習指導要領、高森町教育大綱			
上位施策	記号と名称		目的	
	A-1	「みんなキラキラ」子どもは町の主人公	保育園児が屋外での遊びや運動を中心に様々な体験を深め、自然とふれあう中で、意欲、自立心、感性など根っここの力を育む 小学生が「将来の夢を描く」ための基本的能力を獲得するとともに、主体性や問題解決力を身につけるようにする 中学生が探究的な学びを通じ、自己課題を設定し、主体的に判断・解決する力を育み、「将来の夢」が描けるようにする	
担当課	教育委員会事務局		担当係	こども未来係、社会教育係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 児童・生徒	高森町に愛着を持ち、地域を知り、地域の課題に主体的に関わることができる。また、夢や目標を立て、実現に向けて努力することができる。
(2)	
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 夢や仕事を決める際に「夢の教室」、「しごと未来フェア」の影響を受けた人の割合	はたちの集いアンケートより集計 R6実績:16%(8/48、R7.1.9現在)、R11:30%
B 高森町に愛着を持っている方の割合	はたちの集いアンケートより集計(R7より集計) R11:70%(R7結果に応じて要修正)

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ児童・生徒の割合(小・中学校へのアンケート)	R6実績:中学校90.6%、小学校87.1% R7:中学校90%、小学校90%
b 高森町に愛着を持っている児童・生徒の割合(小・中学校へのアンケート)	R6:指標なし(R7より集計)→R7:小・中学校80% 同じ対象者で比べる。(小6→中3同じ子どもで図る)
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)
① しごと未来フェアの実施 生徒たちはブースをめぐり、会社の説明や企業者との対話を行い仕事の内容を知る。
② 夢の教室の実施 子どもたちに夢を持つことの大切さや努力する意義を伝える特別授業。
③ みらい懇談会の実施 中学校2年生は3年生での取り組み内容の決定のため、小学校6年生は活動内容の発表のために開催。
④ 役場・学校職員への地域人材教育の説明 地域人材教育の目的や位置づけ、各組織における役割分担について説明する。

4半期ごと目指す状態(スケジュール)
第1 中学校3年生活動開始(6月) 中学校2年生しごと未来フェア実施 ・学校担当者、業者説明会
第2 小学校5年生を対象に夢の教室 夢先生の派遣、ゲームの時間、トークの時間、夢シートの活用
第3 中学校2年生町長講話(11月)
第4 みらい懇談会(中学:1月、小学校2月) はたちの集いの時に、夢シート証書配布

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	・中学校3年生活動開始(6月) ・中学校2年生しごと未来フェア実施(実施日:5/23 31 企業・団体参加) 学校担当者との打ち合わせ、業者説明会実施
第2	・小学校5年生を対象に夢の教室を実施(7/9~7/11) 夢先生の派遣、ゲームの時間、トークの時間、夢シートの活用
第3	・中学校2年生各クラスで町の課題などを調べ、テーマ決めた。 ・各校、各クラス毎活動を行った。
第4	・中学校2年生みらい懇談会(1/23) ・はたちの集いの時に、夢シート証書配布

## 2. 令和7年度評価

1)R7度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①	中学校3年生活動開始された(6月~)	
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	子ども読書支援センター運営事業		種別	主
概要	公共図書館司書と学校図書館司書が協働し、情報提供における相乗効果や、互いの図書館機能の強化を図ることで、子どもたちが読書に親しんだり、情報活用能力を育んだりすることを目指す。			
根拠法令等	教育基本法、社会教育法、学校教育法、図書館法、学校図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、学校教育の情報化の推進に関する法律、高森町立図書館設置条例、学習指導要領、学校図書館図書標準、学校図書館ガイドライン、高森町立図書館管理規則、高森町子ども読書活動推進計画、高森町立図書館サービス計画、高森町子ども読書支援センター設置要綱			
上位施策	記号と名称		目的	
	A1	「みんなキラキラ」子どもは町の主人公	保育園児が屋外での遊びや運動を中心に様々な体験を深め、自然とふれあう中で、意欲、自立心、感性など根っここの力を育む 小学生が「将来の夢を描く」ための基本的能力を獲得するとともに、主体性や問題解決力を身につけるようにする 中学生が探究的な学びを通じ、自己課題を設定し、主体的に判断・解決する力を育み、「将来の夢」が描けるようにする	
担当課	教育委員会		担当係	図書館

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 子ども	発達段階に合わせて読書に親しみ、楽しめるようになる。また自らに必要な情報源を選択し、活用できるようになる。
(2)	
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 学校の授業で、図書館の時間以外に図書館が活用された授業コマ数	現状:北小・中学合わせて約50コマ、南小集計無し R11末:3校合わせて60コマ/年
B ブックマルシェほかセンターによるイベント実施後の町立図書館利用率	現状:集計無し R11末:30%

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 町内保育園4園でのブックマルシェ実施	現状:各園実施 R7末:維持
b 司書による教科書・教材研究をもとにした教諭向けブックリスト作成(社会科)	現状:実施なし R7末:教科書・教材研究実施、掲載本リストアップ
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)
① ブックマルシェ実施(幼児期に本と出会う場の設定) →参加者に町立図書館来館促進チラシ配布
② ブックカフェ実施(中高生が多様な情報や資料と出会う場の設定) →参加者に町立図書館来館促進チラシ配布
③ 司書による教科書・教材研究
④

4半期ごと目指す状態(スケジュール)
第1 保育園の年間スケジュールに合わせてブックマルシェ実施 図書館活用授業コマ数 15コマ
第2 教科書・教材研究 図書館活用授業コマ数 30コマ
第3 教科書・教材研究 ブックカフェ実施 図書館活用授業コマ数 45コマ
第4 教科書・教材研究 ブックリスト掲載本リストアップ 図書館活用授業コマ数 60コマ

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日: 令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	ブックマルシェは予定通り実施。マルシェからの来館率は15.7%。図書館活用授業コマ数は3校合わせて13コマ。
第2	ブックマルシェは予定通り実施。図書館活用授業コマ数は、3校合わせて33コマ。
第3	ブックカフェを行い、書店店頭での選書会を企画。定員12名に対し、小学生3名、大人2名の参加。図書館活用授業コマ数は、12月末までの時点で3校合わせて43コマ。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1) R7度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	小中学校教育活動運営事業		種別	主
概要	学校の教育活動を実践するために必要な教材、教材備品、印刷、図書等の整備。人権教育、防災・安全教育、クラブ活動、その他課外学習に必要な物品の購入、民間学力テストの購入。スキー教室、児童会、総合学習への補助。H18 年度より教育活動に係る予算をより明確にするため、予算科目を学校維持費と教育活動費に分割。 〈南小〉 ・児童諸検査委託料 ・R6 教科書更新の年、指導書購入 ・プール指導委託料 〈北小〉 ・児童諸検査委託料 ・R6 教科書更新の年、指導書購入 ・教材備品購入 〈中学〉 ・生徒諸検査委託料 ・テスト業者印刷 ・楽器の購入 ・教育活動補助金			
根拠法令等	学校教育法、学習指導要領、高森町立小中学校管理規則			
上位施策	記号と名称		目的	
	A1	「みんなキラキラ」子どもは町の主人公	保育園児が屋外での遊びや運動を中心に様々な体験を深め、自然とふれあう中で、意欲、自立心、感性など根っここの力を育む 小学生が「将来の夢を描く」ための基本的能力を獲得するとともに、主体性や問題解決力を身につけるようにする 中学生が探究的な学びを通じ、自己課題を設定し、主体的に判断・解決する力を育み、「将来の夢」が描けるようにする	
担当課	教育委員会事務局		担当係	こども未来係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

	対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1)	児童・生徒	教材等が整備され、総合学習・児童会／生徒会など教科以外の教育活動も充実できる。
(2)	教員	教員が指導に専念できる体制を整備し、ICT や研修などの支援を通じて教育力向上を図るとともに、地域や保護者との連携により効果的な学校運営を推進する。
(3)		

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

	指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A	学力向上	全国学力・学習状況調査での成績が全国平均を上回る状態を継続的に維持する。
B	生徒の満足度(幸福感)	学校に行くのは楽しいと答えた割合 90%以上に維持する。

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

	指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a	学力向上	全国学力・学習状況調査での成績を全国平均まで引き上げる。 〈R6〉 中学校:国語:58(全国68.1)数学:54(全国52.5) 南小学校:国語:71(全国67.7)算数:65(全国63.4) 北小学校:国語:64(全国67.7)算数:61(全国63.4)
b	児童・生徒の満足度(幸福感)	学校に行くのは楽しいと答えた割合を 10%向上する。 R6:中学校83.3% 南小学校 86% 北小学校 62.6%
c		

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)		4 半期ごと目指す状態(スケジュール)	
①	教育環境の整備 教育活動に必要な消耗品や備品購入	第1	年間計画(学期毎に行事や授業が計画) 年間計画に合わせて、行事や授業を実施 音楽会
②	学校運営の適切な管理 学級数や児童数に応じた必要な予算の確保	第2	年間行事や学習計画の策定、教職員の役割分担の明確化 南小プール授業
③	教育活動の充実 講演会等を実施し、教育の質の向上を図る 学校図書の充実	第3	年間行事や学習計画の策定、教職員の役割分担の明確化 小原ヶ丘祭、運動会実施
④	創意工夫を生かした教育の推進 各校の特色を生かした教育活動を進める	第4	年間行事や学習計画の策定、教職員の役割分担の明確化 北小スキー教室

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	・年間計画は、各学期ごとに行事や授業内容を体系的に計画した。 ・これに基づき、年間を通じて計画された行事及び授業を適切に実施した。
第2	・年間行事や学習計画の策定、教職員の役割分担の明確化 ・町内委託業者によるプール授業実施。対象:高森南小全学年 ・高森中小原ヶ丘祭開催
第3	・年間行事や学習計画の策定、教職員の役割分担の明確化 ・南北運動会・修学旅行実施
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	町立保育園保育実施事業		種別	主
概要	町立保育園での保育の実施。保護者の希望及び基準により認定し子どもを預かり、3歳未満児、年少、年中、年長のクラスを編成。遊びや表現のほか、給食や園での生活全般を通じて心身の発達を助長する。保育サービスは、保護者の就労支援の大きなものだが、町では子どもの最善の利益を基本に取り組みを進める。			
根拠法令等				
上位施策	記号と名称		目的	
	A1	「みんなキラキラ」 子どもは町の主人公	保育園児が屋外での遊びや運動を中心に様々な体験を深め、自然とふれあう中で、意欲、自立心、感性など根っここの力を育む	
			小学生が「将来の夢を描く」ための基本的能力を獲得するとともに、主体性や問題解決力を身につけるようにする	
	B1	「こどもはたから」 みんなで育てる地域の子	中学生が探究的な学びを通じ、自己課題を設定し、主体的に判断・解決する力を育み、「将来の夢」が描けるようにする	
家庭が、子どもたち(家族)が安心して過ごせる居場所となる 町民が、家庭や子どもたちを支える気持ちを持つ 地域が、家庭や子どもたちを支える				
担当課	教育委員会	担当係	こども未来係	

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 子ども	心身共に健やかに育ち、遊びに夢中になれる。
(2) 保育士	子どもたちの最善の利益を考慮し、地域との連携を図りながら保護者と共に、子どものよりよく生きる力を培う。
(3)	

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 喜んで登園している園児の割合	R5:74.8%(どちらかという「はい」を含めると 95.6%) R11:85%
B 町の目指す保育を実践できた保育士の数(または割合)	R7 当初:できた 55.5%(「ややできた」を含めると 92.6%) R11:できた 80%(「ややできた」を含めると 100%)

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 喜んで登園している園児の割合	R5:74.8%(どちらかという「はい」を含めると 95.6%) R7:77%
b 町の目指す保育を実践できた保育士の数(または割合)	R7 年度末:できた 60%
c (研修受講回数)	

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
① やまほいく認定に向けた申請、各種研修受講により、保育士の保育に対する意識の向上と保育の質を高める。	第1 やまほいく認定申請(6月) 各種研修参加、町内園・小学校との情報共有・連携、保育士確保の取り組み、保育ニーズへの対応(随時)
② 町内4園の連携(年長交流会や園長協議会など情報共有、連携)と保小接続の取り組み。	第2 以下、上記同様
③ 保育士確保に向け、業務委託の導入や保育実習時の声掛け、学校への働きかけなど積極的に行う。	第3
④ 保育ニーズへの対応。(要望が多い「0 歳児養護」(産後 3 ヶ月以降 1 歳になるまでの保育預かり)の導入に向けた研究など。)	第4

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	・やまほいく申請済。TOCO-TONIによる保小接続を意識した活動を行った。 ・保育士確保のため、民間業者へ募集を実施した。
第2	・TOCO-TONIによる保小接続を意識した活動を行った。7/30に小中学校の教員が町内2園の保育活動を参観し、午後合同研修を行った。 ・民間派遣業者と保育士2名の契約を行った。
第3	・10月1日信州やまほいく園に認定。 ・小中学校との交流を定期的に実施した。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	公民館運営事業		種別	主
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館本館専門部運営と各種本館行事の企画、運営</li> <li>・支館・分館活動のサポート(交付金の支払い)</li> <li>・公民館運営審議会(年 2 回開催) ・支館長分館長主事会の年 5 回開催</li> </ul>			
根拠法令等	教育基本法、社会教育法(第 5 章公民館)、高森町公民館条例、高森町公民館規則、高森町教育大綱、公民館運営方針			
上位施策	記号と名称		目的	
	A2	「知るって楽しい」 生きるって学ぶこと	町民一人ひとりが学びを通じて、豊かで充実した人生を送る 町民が地域とかかわり、地域の原動力や活力となる人材となる	
担当課	教育委員会		担当係	公民館

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民	つどい、まなび、むすぶ
(2) 本館専門部	ニーズに沿った学習機会を主体的に作る
(3) 支・分館	自主的に運営できる

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 町が提供・推奨している学習の機会や場を充分と感じている町民の割合(町民アンケート)①満足度、②重要度	現状の実績(R5 実績):満足度 15.8%、重要度 40.7%。 R11 目標値:満足度 25%、重要度 50% 本指標が伸びれば、町として学習の機会の提供ができていると判断できるため設定。
B 公民館活動に参加している人の割合(町民アンケートより)	現状の実績(R5 実績):44.4% R11 目標値:45% 町民が各種公民館活動に参加することにより、参加者が公民館の目指す「つどい、まなび、つながる」ことに寄与するため値として設定。公民館活動を取り巻く状況を考慮し、現状維持を目指す。

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 町が主催する学習の機会の LINE での場の周知	現状:未実施→R7:月に 1 回、年 12 回の町 LINE での情報発信 町全体で考慮すれば、様々な学習の機会の場がある。したがって、公民館の行事に限らず町が主催する講演会等の学習情報を集約するページを HP 内に作成し、定期的に広報する。
b 支・分館行事への参加者数 (R5 事業報告書より算出)	R5:4,018 名→R7:4,200 名 微増を目指す。 ※R5 は 4 支・分館で参加者数未報告
c	

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 公民館報たかもりの発行 「各地区の活動の様子を町民に正確に届けること」、町の広報とは違う「町民目線での情報発信と記録」という部分に重点を置いた編集を行う。年 5 号発行。	第 1 各種公民館会議の開催(通年・随時)、支・分館活動推進交付金の交付(5 月)、公民館組織体制見直しに向けての講演会の開催(5 月)、関係者との協議(5 月～)、公民館報 644 号の発行(6 月)
② 公民館文化祭の開催 町民の文化的活動の発表の場とする。作品展発表、手作り体験教室を教養部と企画・運営する。	第 2 組織体制の方向性の決定(9 月)、公民館報 645、646 号の発行(8 月)、公民館文化祭準備(9 月)、公民館スポーツフェス準備(9 月)
③ 公民館スポーツフェスの開催 年代を超え老若男女、誰もが気軽に参加できる行事として、ニュースポーツ等を実施する。	第 3 公民館組織体制の方向性の周知(10 月～)、公民館報 647 号の発行、公民館文化祭・スポーツフェス開催(10 月)
④ 公民館組織体制見直しに向けた協議 協議を進める。また、公民館に関し生涯学習センター講座との共催講座を実施。	第 4 公民館報 648 号の発行(2 月)、R8 公民館運営方針の策定(3 月)。

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	各種公民館専門部会議及び公民館運営審議会の開催。支・分館活動推進交付金の交付(5月)、公民館組織体制見直しに向けての講演会の開催した
第2	公民館専門部員会議 教養部 2 回:4/10,9/10、体育部 2 回:4/10,8/21、編集部 1 回:4/10 支分館長主事会 4 回:4/7、5/20,7/10,9/4 支分館長主事会対象で講演会実施 5/20 公民館運営審議会の開催 1 回:4/30 支、分館活動推進交付金の交付 6/30
第3	体育部 8/21 第2回体育部員会 スポーツフェス種目決め 10/1第3回体育部員会 スポーツフェス最終打ち合わせ 10/13スポーツフェス当日 教養部 9/10 第2回教養部員会 手作り体験教室工作決め 10/7 第3 回教養部員会工作試作 10/19~25公民館文化祭 10/25手作り体験教室
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績 達成度	
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)	
2)次年度の事務事業のあり方	
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由
目的	変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 変更内容・理由
目標	変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 変更内容・理由
取り組み	変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 変更内容・理由

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	高森町コミュニティ・スクール運営事業		種別	主
概要	学校と保護者及び地域住民等との信頼関係を深め、地域の創意工夫を生かした、よりよい教育の実現に取り組むために、各学校の子どもの様子や地域学校協働活動の様子を共有し、町が目指す子ども姿実現のために考え、行動する。(高森町全体で高森の子どもを育てていく) ・学校運営協議会の設置(高森町小中学校運営協議(1)、各校運営協議会(各校 1)) ・高森町 CS 地域学校協働本部を設置し、学校支援ボランティア会議(地域コーディネーター)を開催し、学校運営を支援(計画、実行、評価、改善)する。 ・学校協働活動の推進・コミュニティ・スクール研修会 ・広報活動の拡充 ・関係者研修会			
根拠法令等				
上位施策	記号と名称		目的	
	A2	「知るって楽しい」 生きるって学ぶこと	町民一人ひとりが学びを通じて、豊かで充実した人生を送る 町民が地域とかがわり、地域の原動力や活力となる人材となる	
担当課	教育委員会		担当係	社会教育係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 学校と町民	協働して活動する
(2) 町全体	子どもの学びや成長を支える
(3)	

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 全国学力・学習状況調査 課題の解決に向けて自分で考え取り組んだ児童(6年生)の割合	R6 時点 南小 88%、北小 81.3% R11 目標 南小 90%、北小 90%
B 地域応援ボランティア数	ボランティア登録数 R6 時点 110 人、R11 目標 120 人

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 全国学力・学習状況調査 課題の解決に向けて自分で考え取り組んだ児童(6年生)の割合	R6 時点 南小 88%、北小 81.3% R7 目標 南小 89%、北小 82%
b 地域応援ボランティア数	ボランティア登録数 R6 時点 110 人、R7 目標 120 人
c	

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 地域ボランティア募集・登録	第1 ・多くの町民がボランティア登録される。 ・運営協議や学校支援ボランティア会議が開催される。ボランティアが各校の学習支援に入り、学校と共に子どもの成長を協働する。
② 高森町小中学校運営協議会及び各校運営協議、学校支援ボランティア会議の開催	第2 ・運営協議や学校支援ボランティア会議が開催される。ボランティアが各校の学習支援に入り、学校と共に子どもの成長を協働する。
③ 各校の学習支援	第3 ・運営協議や学校支援ボランティア会議が開催される。ボランティアが各校の学習支援に入り、学校と共に子どもの成長を協働する。
④	第4 運営協議や学校支援ボランティア会議が開催される。ボランティアが各校の学習支援に入り、学校と共に子どもの成長を協働する。

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

令和 7 年 12 月 31 日

1. 令和 7 年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	ボランティアとして 133 名が登録される。高森町小中学校運営協議会及び各校運営協議、学校支援ボランティア会議が開催される。また学校支援ボランティア対象にして研修会(講演会)実施した。各校授業にボランティアが支援した。
第2	高森町小中学校運営協議会(4/16,9/18)及び各校運営協議会が開催された(4 月)学校支援ボランティア対象にして研修会(講演会)実施した(4/14)
第3	高森町小中学校運営協議会(12/9)が開催された。地域コーディネーター会議を開催した(12/12)
第4	

2. 令和 7 年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)

①	
②	
③	
④	

2)目標の達成度

指標	令和 7 年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和 11 年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		

3)取り組みの効果の確認

※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。

3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)

--	--

2)次年度の事務事業のあり方

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		理由		
目的	変更の有無		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	変更内容・理由			
目標	変更の有無		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	変更内容・理由			
取り組み	変更の有無		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	変更内容・理由			

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	町立図書館管理運営事業		種別	主
概要	「町民みんなの図書館」として、誰もが自由で気軽に利用し、読書に親しみ、ほしい情報にアクセスできる環境を整える。さらに、町の情報支援拠点として、町民の生涯学習に役立てるよう、必要な資料を幅広くそろえ、全世代に向けてサービスの充実を図る。			
根拠法令等	教育基本法、社会教育法、図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、文字・活字文化振興法、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律、著作権法、図書館の設置および運営上の望ましい基準、高森町立図書館設置条例、高森町立図書館管理規則、高森町子ども読書活動推進計画、高森町立図書館サービス計画			
上位施策	記号と名称		目的	
	A2	「知って楽しい」 生きるって学ぶこと	町民一人ひとりが学びを通じて、豊かで充実した人生を送る 町民が地域とかかわり、地域の原動力や活力となる人材となる	
担当課	教育委員会		担当係	図書館

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民	欲しい情報に気軽にアクセスでき、読書や学びの機会を通じて豊かな生活を送ることができる。
(2) 資料	適切に管理されている
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 町立図書館の資料予約件数 ※個人登録者一人当たりに対する件数	現状:R6 末時点 1.96 件/年 R11 末時点:2.06 件/年(対 R6 年度比 5%増) 利用者が図書館資料を通じて、多様な情報を自ら得ようとする指標として設定
B	

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 予約件数※個人登録者一人当たりに対する件数	R7 末:1.98 件/年 (対 R6 年度比 0.9856%増)
b	
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 司書による所蔵資料紹介の記事をSNSで更新(毎月)	第1 40周年事業:絵本のお菓子づくり 予約件数 1,754 件
② 特集コーナーや図書館による企画展示などをプレスリリース(毎月)	第2 40周年事業:映画上映会 予約件数 3,509 件
③ 40周年事業の実施を通じて、図書館について町民にPR。	第3 40周年事業:先進図書館ツアー 予約件数 5,264 件
④	第4 予約件数 7,019 件

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	6/28(土)絵本のお菓子づくり実施(対象小学生親子)。定員8組24名に対し、10組26名参加。6月末時点までの予約件数1,738件。
第2	8/10(日)映画上映会「令和劇場」実施。各回定員100名に対し、午前の部参加者68名、午後の部参加者52名、計120名の参加。参加者から、新規利用登録・貸出にもつながった。9月末時点までの予約件数3,478件。
第3	11月8日(土)に「まちとしよの未来をえがこう～図書館バスツアー&ワークショップ～」にて小布施町立図書館「まちとしよテラス」への見学ツアーを行い、同月22日(土)に、事後ワークショップと報告会を実施した。定員30名に対し、22名参加。図書館の将来の在り方に対して様々な意見が積極的に出された。 12月末時点までの予約件数5,048件。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)			
①			
②			
③			
④			
2)目標の達成度			
指標	令和7年度末の状況		
	実績		達成度
a			
b			
c			
(1)～(3)平均			
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度	
A			
B			
AB 平均			
3)取り組みの効果の確認			
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。			

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)			
2)次年度の事務事業のあり方			
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	変更内容・理由		
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	変更内容・理由		
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	変更内容・理由		

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	文化財保全管理事業(町内城跡跡保全事業を統合)		種別	主
概要	<p>■町有文化財等保全管理事業 町内の主要な中世城跡(松岡城、吉田本城・古城、原城)を、地元の愛護会と協働して保存し活用する事業。4城跡のうち、松岡城跡は私有地の賃借あり。また松岡城跡・吉田古城は山林間伐整備等の委託をすると共に地元愛護会に補助金を交付。その他の城跡は愛護会への補助金交付が主体</p> <p>■指定文化財等保護管理支援事業 町内の文化財を適切に管理、活用、継承する事業。 ① 管理事業 文化財の通常管理に係る経費を補助する。 ② 保存事業 修理等の費用を補助する(国、県、町)。</p>			
根拠法令等	文化財保護法、高森町文化財保護に関する条例及び規則、要綱			
上位施策	記号と名称		目的	
	A2	「知るって楽しい」 生きるって学ぶこと	町民一人ひとりが学びを通じて、豊かで充実した人生を送る 町民が地域とかかわり、地域の原動力や活力となる人材となる	
担当課	教育委員会		担当係	社会教育係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町内の文化財	適正に指定・管理・保存される
(2) 伝統芸能	関心を高め、価値を共有し、活用・継承される
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 町等指定文化財・城跡	現状(R6):国指定2件、県指定5件、町指定37件 R11:
B 補助金交付件数	現状(R5実績):13・2件 R11:20件

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 町指定文化財・城跡件数	現状(R6):国指定2件、県指定5件、町指定37件
b 補助金交付件数	現状(R5実績):13・2件 R7:R5同様
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)		4半期ごと目指す状態(スケジュール)	
①	春・秋祭りの広報を実施する。	第1	祭りの広報 文化財が所有者や愛護会、保存会により保存される。管理・保存修繕等の補助金交付事務が適切に処理される。
②	補助金等交付申請書を受理し、補助金等交付決定通知書を発行する。 補助金等実績報告書を受理し、適正に補助金を交付する。	第2	祭りや活動の広報 文化財が所有者や愛護会、保存会により保存される。管理・保存修繕等の補助金交付事務が適切に処理される。
③		第3	祭りや活動の広報 文化財が所有者や愛護会、保存会により保存される。管理・保存修繕等の補助金交付事務が適切に処理される。
④		第4	祭りや活動の広報 文化財が所有者や愛護会、保存会により保存される。管理・保存修繕等の補助金交付事務が適切に処理される。

令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

令和7年12月31日

1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	町内の春・秋祭りの情報発信をした。
第2	町ホームページへ掲載及び町施設にチラシを置いて広報した。
第3	管理・保存修繕等補助金実績の提出があり、補助金を支出した 4 件
第4	

2. 令和7年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	平和へのかけはし事業(事業名変更:平和普及啓発事業、平和へのかけはし使節団派遣事業統合)		種別	主
概要	先の時代を見据えた平和意識の醸成を図る。また、互いの多様性を認めあい、個人の人権を尊重することにより、不当な差別や暴力等の人権侵害を容認しない地域社会を築く。 平和講演会や学習会等の開催 広島平和へのかけはし使節団の派遣 自主活動団体の事業支援			
根拠法令等	非核平和都市宣言、高森町平和へのかけはし条例、高森町平和推進会議設置要綱			
上位施策	記号と名称		目的	
	A2	「知るって楽しい」 生きるって学ぶこと	町民一人ひとりが学びを通じて、豊かで充実した人生を送る 町民が地域とかかわり、地域の原動力や活力となる人材となる	
担当課	教育委員会		担当係	社会教育係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民	戦争を知り、平和について考えると共に他者理解が深まる
(2) 町民	自主的な平和推進活動が実施される
(3) 町	平和事業を継続して推進すること

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 日常生活において『平和』について考えている町民の割合(町民アンケート)	R5:85.5%→R11:85.5%(現状維持) 高森町平和へのかけはし条例の目的実現のため。
B	

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 平和講演会への参加者数	R5:473名→R7:480名 ※小・中学校との共同開催を前提とした指標
b 平和へのかけはし使節団の参加者数(事務局等除く)	R6:14名→R7:26名 募集定員の参加者を旨す。
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)
① 平和講演会の実施 R7は戦後80年となる。戦争や人権について考えることのできる講演会を企画・実施する。
② 平和へのかけはし使節団の派遣 広島市への使節団派遣を実施する。満蒙開拓平和記念館の見学等、町や飯田下伊那地域の戦争の歴史にも触れられる機会を作る。
③ 自主活動団体の事業支援 自主的に活動している平和普及啓発団体の事業支援を行う。
④

4半期ごと目指す状態(スケジュール)
第1 平和講演会の実施(計画・広報) 自主活動団体への支援 平和推進会議へ諮問し、使節団の実施内容を確定させる。6月初旬には募集を開始する。
第2 平和講演会の実施(広報・運営) 自主活動団体への支援 7月上旬には使節団の参加者を決定する。計画したプログラムに沿って事前学習、使節団派遣を実施する。7月には報告集作成に向け、業者決定をする。
第3 8月下旬に報告会を開催する。9月下旬には報告集を作成する。 随時活動報告の機会を作る。
第4

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	平和推進会議(2回)開催し、かけはし使節団員募集し決定した。 平和公演会を開催した。
第2	平和推進会議 2回開催 6/3、6/26 平和講演会 6/29日(42名参加) 広島平和のバス結団式 7/12 第35回広島平和のバス 8/5、6、7(団員21名) 広島平和のバス報告会 8/30
第3	平和推進会議12/12
第4	

## 2. 令和7年度評価

1) R7度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①	平和推進会議 2回開催 6/3、6/26 平和講演会 6/29日(42名参加) 広島平和のバス結団式 7/12 第35回広島平和のバス 8/5、6、7(団員21名) 広島平和のバス報告会 8/30	
③	平和推進会議12/12	
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	子ども・子育て支援事業計画推進事業		種別	主
概要	・保護者の子育てニーズ把握と子育て施策への反映 ・第3期子ども・子育て支援事業計画(令和7年度から5年間)の進捗管理・評価・見直し(子ども・子育て会議の開催) ・子どもや若者の意見を取り入れた「こども計画」作成の検討			
根拠法令等	子ども・子育て支援法、子ども・子育て支援事業計画、高森町教育大綱			
上位施策	記号と名称		目的	
	B1	「こどもはたから」みんなで育てる地域の子	家庭が、子どもたち(家族)が安心して過ごせる居場所となる 町民が、家庭や子どもたちを支える気持ちを持つ 地域が、家庭や子どもたちを支える	
担当課	教育委員会		担当係	こども未来係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 子育てニーズ	把握され、事業として計画・実行される
(2) 計画(実行)された計画	客観的に評価される
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 子ども・子育て会議(委員評価)の開催回数	現状:1回 目標:2回
B 新たな子育てニーズを把握し、計画・実行した事業の数	目標:年1回

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 子ども・子育て会議(委員評価)の開催回数	現状:1回 目標:2回
b 新たな子育てニーズを把握し、計画・実行した事業の数	目標:年1回
c あらゆる場でのニーズ把握の回数	現状:1回 目標:3回

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 第3期子ども・子育て支援事業計画(R7年度から5年間)の各事業の進捗管理と評価・見直し。	第1 第3期子ども・子育て支援事業計画の広報(4月) 子育てニーズなどの把握(通年随時) 子育て情報発信(通年随時)
② 子ども・子育て会議の開催(年2回)	第2 子ども・子育て会議(9月)
③ 保護者の子育てニーズの把握、こども・若者からの意見聴取。	第3
④ 子育て情報発信(子育てアプリなど)の充実	第4 子ども・子育て会議(2月)

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	第3期子ども・子育て支援事業計画の内容を精査し、7月末に町HPにアップ。あったかてらす利用者やママ記者から意見を共有。子育てアプリにて情報発信をした。
第2	子ども・子育て会議未実施。R8年度開始に向けて「こども誰でも通園制度の研究」を行った。
第3	子ども・子育て会議(1月26日)の開催通知発送。こども誰でも通園制度をあったかてらすにて実施する方向性を決定。条例等の準備を行った。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	あつたかてらす運営事業		種別	主
概要	<p>子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場の提供、地域で子育てを支援し、各家庭の育児不安を解消、安心して自信を持って子育てができる。妊娠、出産、子育て、就労までを支援する拠点施設として運営。</p> <p>■「あつたかてらす」の運営・施設管理(民間業務委託)、各種乳幼児健診・相談                  ■家族・地域での子育ての応援 →親子の遊びの場、各種広場への参加・異世代交流                  ■利用者の主体性を持った(促す)活動を進める。⇒広場等への講師・学習会                  ■専門性を持ったスタッフによる子育て相談、子育て指導など                  ※R4.04.01～運営業務を医療法人ゆりかごに全面委託                  週6日開所(年末年始除く) 運営のための業務 1日3名(所長、子育て支援士(保育士))</p>			
根拠法令等				
上位施策	記号と名称		目的	
	B1	「こどもはたから」みんなで育てる地域の子	家庭が、子どもたち(家族)が安心して過ごせる居場所となる 町民が、家庭や子どもたちを支える気持ちを持つ 地域が、家庭や子どもたちを支える	
担当課	教育委員会		担当係	

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 施設利用者	子どもと楽しく過ごし、子育ての力を身に着けることができる
(2) 子ども	健やかに育つ
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A あつたかてらす利用平均数(開所1日当たり)	現状:25人 目標:28人
B あつたかてらすの認知度	現状:50% 目標:80%

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a あつたかてらす利用平均数(開所1日当たり)	現状:25人 目標:26人
b あつたかてらすの認知度	現状:50% 目標:60%
c あつたかてらすの満足度	現状:80% 目標:90%

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進(運営全般を民間へ業務委託。週6日の開所、安定した運営を行う。)	第1 業務委託契約。1年間の広場実施計画や方針を確認、広報。 以下、左記①～④の取り組み。 第2 第3 第4
② 子育て等に関する相談・援助、健診等の実施(日頃の子育て・育児相談の実施に加え、内容によっては町の専門相談口につなげる。町の各健診・相談を実施。)	
③ 地域の子育て関連情報の提供(SNSでの情報発信、ママ記者と連携しての広報。子育て中ママの情報発信。)	
④ 子育て及び子育て支援に関する広場・講習等の実施(各年齢、対象ごとの広場・講習の実施と内容の充実。)	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	・医療法人ゆりかごと業務委託契約済。各種広場の計画・方針の確認を行い、実施日を広報した。上記①～④を継続的に実施した。
第2	・上記①～④を継続的に実施した。 ・あったかてらす利用時間の検討を行った。
第3	・上記①～④を継続的に実施した。 ・平日の利用時間の制限を解除、再入館を可能とし、利用制限の緩和を行った。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)～(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	町立保育園保育実施事業		種別	主
概要	町立保育園での保育の実施。保護者の希望及び基準により認定し子どもを預かり、3歳未満児、年少、年中、年長のクラスを編成。遊びや表現のほか、給食や園での生活全般を通じて心身の発達を助長する。保育サービスは、保護者の就労支援の大きなものだが、町では子どもの最善の利益を基本に取り組みを進める。			
根拠法令等				
上位施策	記号と名称		目的	
	A1	「みんなキラキラ」子どもは町の主人公	保育園児が屋外での遊びや運動を中心に様々な体験を深め、自然とふれあう中で、意欲、自立心、感性など根っこを育む 小学生が「将来の夢を描く」ための基本的能力を獲得するとともに、主体性や問題解決力を身につけるようにする 中学生が探究的な学びを通じ、自己課題を設定し、主体的に判断・解決する力を育み、「将来の夢」が描けるようにする	
	B1	「こどもはたから」みんなで育てる地域の子	家庭が、子どもたち(家族)が安心して過ごせる居場所となる	
			町民が、家庭や子どもたちを支える気持ちを持つ 地域が、家庭や子どもたちを支える	
担当課	教育委員会	担当係	こども未来係	

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 子ども	心身共に健やかに育ち、遊びに夢中になれる。
(2) 保育士	子どもたちの最善の利益を考慮し、地域との連携を図りながら保護者と共に、子どものよりよく生きる力を培う。
(3)	

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 喜んで登園している園児の割合	R5:74.8%(どちらかという「はい」を含めると 95.6%) R11:85%
B 町の目指す保育を実践できた保育士の数(または割合)	R7 当初:できた 55.5%(「ややできた」を含めると 92.6%) R11:できた 80%(「ややできた」を含めると 100%)

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 喜んで登園している園児の割合	R5:74.8%(どちらかという「はい」を含めると 95.6%) R7:77%
b 町の目指す保育を実践できた保育士の数(または割合)	R7 年度末:できた 60%
c (研修受講回数)	

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
① やまほいく認定に向けた申請、各種研修受講により、保育士の保育に対する意識の向上と保育の質を高める。	第1 やまほいく認定申請(6月) 各種研修参加、町内園・小学校との情報共有・連携、保育士確保の取り組み、保育ニーズへの対応(随時)
② 町内4園の連携(年長交流会や園長協議会など情報共有、連携)と保小接続の取り組み。	第2 以下、上記同様
③ 保育士確保に向け、業務委託の導入や保育実習時の声掛け、学校への働きかけなど積極的に行う。	第3
④ 保育ニーズへの対応。(要望が多い「0 歳児養護」(産後 3 ヶ月以降 1 歳になるまでの保育預かり)の導入に向けた研究など。)	第4

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	・やまほいく申請済。TOCO-TONIによる保小接続を意識した活動を行った。 ・保育士確保のため、民間業者へ募集を実施した。
第2	・TOCO-TONIによる保小接続を意識した活動を行った。7/30に小中学校の教員が町内2園の保育活動を参観し、午後合同研修を行った。 ・民間派遣業者と保育士2名の契約を行った。
第3	・10月1日信州やまほいく園に認定。 ・小中学校との交流を定期的に実施した。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	子ども・家庭包括支援事業		種別	主
概要	<p>■乳幼児の法定外健診(相談)、妊産婦・女性の相談・健診や交付金等の財政支援                  【独自事業】R2年6月～産前産後家事支援事業。R4年11月～妊娠に関する相談事業。R6年4月～女性のこころとからだの相談事業、発達支援事業として、2歳半児相談、あそびの教室に理学療法士をスタッフとして導入                  【新規】R7年4月～10か月児相談、あそびの教室へ言語聴覚士をスタッフとして導入、乳幼児期の親子の育ち・家庭にむけた話、からだを使った遊びの機会の充実(2歳半児相談、保育園での活動)、妊婦に向けた歯科健診補助、こども家庭センター設置                  【補助金】母子衛生費国1/2 妊婦のための給付国10/10、妊婦等包括相談国1/2、県1/4                  【参考データ】出生数 R2年63人、R3年87人、R4年87人、R5年79人、R6年65人、R7年70人(見込み)</p>			
根拠法令等	母子保健法、子ども・子育て支援法第10条の2、児童福祉法第6条の3第22項			
上位施策	記号と名称		目的	
	B1	「こどもはたから」みんなで育てる地域の子	各家庭が子どもたち(家族)が安心して過ごせる居場所となり、町民全体が子育て家庭や子どもたちを支えることができる環境が築かれる。	
	D1	「こころもからだもいつまでも健康に」健康宣言	町民ひとり一人が自らの健康について主体的に考え、行動することができる。	
担当課	健康福祉課		担当係	こども家庭センター

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) こども	毎日元気に生活ができる
(2) 保護者	心身ともに健康で、子育てができる

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 2歳児相談で保護者が相談できる人がいる率	誰もが相談できる人を持つことができる。心配や不安を感じながら育児をされる方を減らす。 目標値:100% R4年度 98.8%(82人参加率 98.8%)、R5年度 97.4%(78人参加率 92.9%)
B 町の子ども子育てに関する総合相談窓口の認知率(子ども子育て支援ニーズ調査)	子ども、保護者、誰でも相談できる総合窓口が町にあることを知り、一人で悩む方を減らす。課題の解決に繋がる。 目標値:70.0% R5年度 45.9%(子ども家庭総合支援室)

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 7か月児相談で保護者が相談できる人がいる率	目標値:100% R3年度 100%、R4年度 100%、R5年度 98.7%
b 子どもの声を聴く機会の回数	目標値:12回 R6年度8回(小・中学生に直接関わる回数) 子どもの声を聴き、また、町に誰でも相談できる場所があることを伝え、一人で悩む子どもを減らす。

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)
① ～妊産婦期～ 妊娠に関する相談、母子手帳発行、低所得初回産科受診料補助、妊婦健診、妊婦歯科健診、妊婦のための支援給付、妊婦等包括相談支援、産前産後家事支援、産後ケア、産婦健診、
② ～子育て期～ 母乳育児相談、産後サポート、法定外乳幼児健診・相談(1か月、7か月・10か月・12か月・2歳・2歳半)、新生児聴覚検査、2か月訪問、あそびの教室、年中児相談、からだの発達支援
③ ～その他・全般～ 女性のこころとからだの相談
④ こども家庭センター(総合相談ワンストップ窓口)

4半期ごと目指す状態(スケジュール)
第1 事業実施 事業周知(広報、ホームページ、母子モ(アプリ)) 実績管理、支払業務、欠席者の様子確認及び参加勧奨
第2 第1期継続(年間)
第3 今年度事業の振り返り、次年度に向けての反省、新たな取り組み案の確認、事業内容の決定、見積り依頼(予算確保)
第4 年間実施日の決定、関係機関との契約、スタッフ依頼、広報(ホームページ管理、対象者への通知)、窓口等通知確認準備

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日: 令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	4月から「たかもりこども家庭センター」を設置。保育所、学校等への訪問および情報共有を進め。町民への周知、相談専用アドレスを設置。2歳児相談、2歳半児相談をリニューアル、保育所等へは「からだの使い方教室」をスタート。要保護児童対策地域協議会の要綱を制定し、代表者会の準備を進める。各種事業は、関係機関等との調整のうえ実施。
第2	各事業・相談実施(保育所等で新規「親子からだの使い方教室」実施、2歳半児相談見直し)、要保護児童対策地域協議会開催(こども家庭センターの役割、各事業等説明)、広報(HP 更新、ケーブルTV、広報あったかもり記事)
第3	今年度事業の振り返り、今後実施予定の事業確認。次年度に向けての反省、新たな取り組み案の確認、見積り依頼(予算確保)
第4	

## 2. 令和7年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)			
①			
②			
③			
④			
2) 目標の達成度			
指標	令和7年度末の状況		
	実績		達成度
a			
b			
c			
(1)~(3)平均			
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度	
A			
B			
AB 平均			
3) 取り組みの効果の確認			
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。			

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)			
2) 次年度の事務事業のあり方			
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由		
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由		
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由		

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	観光振興事業	種別	主
概要	観光を中心に高森町に魅力を感じ訪れる人を増やすため、町民・企業・周辺地域と連携しながら町外向けの観光・タウンプロモーションに取り組みます。		
根拠法令等	高森町組織規則 高森町観光協会規約		
上位施策	記号と名称		目的
	C1	「足元に魅力が」ホントはここにみんなある	高森町以外に住んでいる人が高森町を知り、高森町に魅力を感じ、訪れる 交流人口が増える 関係人口が増える
担当課	産業課	担当係	観光協会・商工観光係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町外在住者(観光)	町を来訪し満足感を得る
(2) 町外在住者(関係人口)	観光誘客の取り組みから町を知り、町・町民等と関係を築く
(3) 町民・町内事業者	観光誘客の取り組みに協力・参画・参加する

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 市町村観光来訪者数(デジタル観光統計オープンデータ)	現状 41,661人(2023)→R11 41,661人以上 現状よりも来訪者数が増えれば、タウンプロモーション等効果があったと判断できる。
B 観光振興計画に沿った事業展開	事業執行数/事業計画数 R6:0%(未計画)→R11:100% 数値が高いほど計画通り実施できていると判断できる

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 市町村観光来訪者数(デジタル観光統計オープンデータ)	現状 41,661人(2023)→R11 41,661人以上 現状よりも来訪者数が増えれば、タウンプロモーション等効果があったと判断できる。 41,661人(2023)、30,192(2022)、17,670(2021)
b 観光振興計画策定率	R6:0%→R7:100%
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 果物狩りによる観光誘客	第1 サクランボ狩り実施 灯ろう流し準備 音楽祭の取組開始 取り組みの相互の連携方法と新たな誘客施策の検討が行われている
② 市田灯ろう流し大煙火大会による観光誘客	第2 灯ろう流し開催 観光振興ビジョンのとりまとめ 音楽祭の準備をすすめる
③ 音楽祭による観光誘客	第3 シャインマスカット狩り実施 音楽祭開催 取り組みの相互の連携と新たな誘客施策を試行している
④ 取り組み相互の連携方法と新たな誘客施策の検討と試行	第4 観光振興ビジョンをまとめる

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	サクラボ狩り実施 観光協会補助金交付決定、概算支払い済み 灯ろう流し準備中 取り組みの相互の連携方法と新たな誘客施策の検討を進めている
第2	市田灯ろう流し大煙火大会実施 8/18 →商工会との連携強化 音楽祭合唱練習開始、チケット販売開始→前年度より早期に実施 シャインマスカット狩り準備、受け入れ開始
第3	音楽祭実施 →4 日間総来場者数 989 人(一般向けのみ:572 人) R4 比較:+414 人 来年度、5 回目の節目となることから当初開催目的達成を図るため小中学校公演を実施し、 観光資源としてより多くの方にこの音楽祭を知って・来てもらう取り組みを検討する。 くだもの狩り各種会計事務 商工会との市田灯ろう流し大煙火大会反省会実施 観光振興ビジョン策定ワークショップ実施
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
a~c 平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和 7 年度 事務事業マネージメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	地域人材育成事業	種別	主
概要	高森町の小学生、中学生、高校生、大学生を中心とした町民や地域の若手社会人が、地域と継続的な連携を行いながら、地域課題解決のために、地域資源を活かしたまちづくりを実践することで地元で根ざした人材の育成を行う。 未来の大人応援プロジェクト支援の下、高森町内の未来の大人が地域と連携しながら、地域の課題をまちづくりやビジネスの手法を用いて解決していく SBP の仕組みを取り入れる。		
根拠法令等	—		
上位施策	記号と名称		目的
	C2	「いいなを実現」理想のまちを自分たちで	子どもから大人まで、まちに関心を持ち、地域をよくしようと考え、取り組みをしている 自治組織が、地域の課題に気づき、解決に向けて取り組みをしている
担当課	総務課	担当係	まちづくり振興係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

	対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1)	小中学生、高校生、大学生を中心とした町民や若手社会人	地域課題解決のために地域資源を活かしたまちづくりを実践することで、地元で根ざした人材が育成される
(2)		
(3)		

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

	指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A	小中学生、高校生、大学生を中心とした町民やこの地域の若手社会人	まちに関心を持ち、地域をよくしようと考え取り組む、まちづくり活動の取組数 2以上
B		

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

	指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a	小中学生・高校生・大学生による南信州 SBP クラブ	活動により、地元のことが好きになった参加者の割合 80%
b	若手社会人による南信州みらい創生塾	活動により、地域に対する関心が高まった参加者の割合 80%
c		

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)		4 半期ごと目指す状態(スケジュール)	
①	南信州 SBP クラブの活動支援	第 1	SBP 委託契約締結が完了している 地域人材育成事業補助金交付手続きが完了している
②	南信州みらい創生塾の活動支援	第 2	SBP の活動が未来の大人応援プロジェクトの支援の下、進んでいる 南信州みらい創生塾の活動が、事業運営者の運営の下、進んでいる
③	地域人材育成事業補助金交付精算手続き	第 3	SBP の活動が未来の大人応援プロジェクトの支援の下、進んでいる 南信州みらい創生塾の活動が、事業運営者の運営の下、進んでいる
④		第 4	SBP 及び南信州みらい創生塾の取り組みについて、活動報告会が開催され、成果を発表している

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	未来の大人応援プロジェクト委託契約締結実施、地域人材育成事業補助金交付手続き済、南信州 SBP クラブキックオフ、南信州みらい創生塾スタート
第2	未来の大人応援プロジェクトにおけるアドバイスをいただきながら、地域商社の活動支援の下、南信州 SBP クラブ及び南信州みらい創生塾が活動実施
第3	未来の大人応援プロジェクトにおけるアドバイスをいただきながら、地域商社の活動支援の下、南信州 SBP クラブ及び南信州みらい創生塾が活動実施
第4	

## 2. 令和7年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	コミュニティ組織育成支援事業		種別	主
概要	令和元年から始まった事業で、個人町民税の収入額の1%の範囲内を財源とし、まちづくり活動を行うグループや地域の課題解決に取り組む地区を助成する。高校生の活動も対象。「経営型」の補助金を受ける団体が、自立の可否を判断する。他の団体が、助成を受けて地域や町の課題解決に取り組む。			
根拠法令等	・高森町町民主体のまちづくり活動支援事業補助金交付要綱 ・高森町町民主体のまちづくり活動支援事業審査委員会設置要綱			
上位施策	記号と名称		目的	
	C2	「いいなを実現」理想のまちを自分たちで	子どもから大人まで、まちに関心を持ち、地域をよくしようと考え、取り組みをしている 自治組織が、地域の課題に気づき、解決に向けて取り組みをしている	
担当課	総務課		担当係	まちづくり振興係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町内の各団体	町の課題を解決するために自主的に活動する。
(2) 町内の各団体	団体が自立し、経営していけるようにする。
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 制度の見直し数	現状:制度の見直しができている。 令和11年度末:1回以上は制度の見直しを設け、今後の制度の見直しが行われている。
B	

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 参加団体数	現状:令和6年度は31団体が活動。 令和7年度末:32団体以上が活動。
b 相談対応件数	現状:事業計画の変更や審査会の実施方法、対象経費など様々な事項に関する相談に対応。 令和7年度末:1回以上、全団体からの相談の機会を提供。
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 年度末に次年度の募集要綱を開示する。	第1 団体の相談に丁寧に応じ、審査会が完了し、審査結果が通知されている。
② 各団体への補助金の周知をするとともに、申請があった団体の情報を集約する。	第2 各団体が活動できている。
③ 審査会を実施し、申請があった団体に補助金を交付すべきか適正に判断する。	第3 各団体が活動できている。
④ 審査会を経て、補助金を交付し、各団体が滞りなく活動できるようにサポートする(必要に応じて各団体の相談に応じる)。	第4 補助金が交付できている。

令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

令和7年12月31日

1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	募集・審査会・審査結果送付、交付決定(27件)、概算払実施
第2	概算払実施(11件)、内容変更承認申請書受理(1件)
第3	実績報告(2件)、補助金精算(2件)
第4	

2. 令和7年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)			
①			
②			
③			
④			
2) 目標の達成度			
指標	令和7年度末の状況		
	実績		達成度
a			
b			
c			
(1)~(3)平均			
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度	
A			
B			
AB 平均			
3) 取り組みの効果の確認			
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。			

3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)			
2) 次年度の事務事業のあり方			
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	変更内容・理由		
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	変更内容・理由		
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	変更内容・理由		

# 令和7年度 事務事業マネージメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	自治組織運営支援事業		種別	主
概要	区長や地区長など役員体制を整え、持続的に自治会活動に取り組めるように自治組織(区・地区)の活動を支援。自治組織(町全体)の課題について検討し、自治組織の今後の在り方を検討する。 7行政区及び21地区の運営に対し、地区交付金、地区計画交付金を交付。			
根拠法令等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり基本条例</li> <li>・高森町自治組織運営交付金交付要綱</li> <li>・高森町自治会活動保険負担金交付要綱</li> </ul>			
上位施策	記号と名称		目的	
	C2	「いいなを実現」理想のまちを自分たちで	子どもから大人まで、まちに関心を持ち、地域をよくしようと考え、取り組みをしている 自治組織が、地域の課題に気づき、解決に向けて取り組みをしている	
担当課	総務課		担当係	まちづくり振興係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 自治組織	自らの地区の課題解決に取り組み、持続的に自治活動ができる。
(2) 21地区	それぞれの地区計画(活動計画)に基づいて運営できている。
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 全21地区で自治組織のDX化	現状:自治組織 DX サービス「いちのいち」の導入を検討している。 令和11年度末:町内21地区全てで導入が完了し、回覧物は全てオンライン化している。
B	

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a オンライン連携可能な区の数	現状:自治会 DX サービス「いちのいち」の導入を検討している。 令和7年度末:7区の役員の方との連携がオンラインでとれている。
b 自治組織DX化モデル地区数	令和7年度末:1地区以上
c 行政から自治組織へ依頼している業務の見直し数	現状:アンケートを実施し、現状の分析をしている。 令和7年度末:1業務以上を見直しが完了している。

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)
① 自治組織DX化に向け、「いちのいち」の導入が進んでいる。
② 配当通り、各種交付金、自治会保険負担金を交付する。
③ 自治組織の在り方に対する検討を進める。
④ 各地区が地区計画に基づき、運営できるよう支援をする。

4半期ごと目指す状態(スケジュール)
第1 新体制になった地区も滞りなく活動できている。
第2 前期分の地区交付金等が交付され、各地区とも計画に沿った活動ができている。
第3 後期分の地区交付金が交付され、各地区とも計画に沿った活動ができている。地区計画の作成がされている。
第4 地区計画に基づき、予算編成がされている。

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	「いちのいち」の導入に向けた契約手続き実施、新区長に自治組織の関連業務について説明実施、自治組織に関するHP整備、パンフレット更新に向けた準備実施
第2	「いちのいち」の導入に向けた契約の完了・説明会の実施、パンフレット更新に向けた準備実施
第3	地区運営交付金(2回目)・地区計画交付金・集落支援員報酬(2回目)の支払い、「いちのいち」の導入に向けたデモアカウントでの試験運用、パンフレット更新業務に向けた業者選定の完了、パンフレット更新業務の開始
第4	

## 2. 令和7年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	まちづくり懇談会開催事業		種別	主
概要	<p>町内各地区および各種団体が、各自の決めたテーマもしくは町が設定したテーマに沿って町長や職員と懇談する。各地区との懇談結果はまとまり次第公表する。即時対応が必要な意見等に対しては、すぐに対応する。懇談結果を職員間で共有し、町政運営に反映させる。</p> <p>町民参加・町民参画の機運が高まった昭和末期頃より開始。</p>			
根拠法令等	—			
上位施策	記号と名称		目的	
	C2	「いいなを実現」理想のまちを自分たちで	子どもから大人まで、まちに関心を持ち、地域をよくしようと考え、取り組みをしている 自治組織が、地域の課題に気づき、解決に向けて取り組みをしている	
担当課	総務課		担当係	まちづくり振興係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民	町政について知り、自分の考えを伝えることができる
(2) 町民	町との懇談を通じて、地区や自らの所属する団体等の課題解決に向けた話し合いをすることができる
(3) 町政	懇談会の結果を反映している

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 町に伝えなかった思いを伝えることはできた参加者の割合	100%
B	

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 町に伝えなかった思いを伝えることはできた参加者の割合	100%
b	
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 各区長を通じて各地区へ懇談会の開催案内及び日程調整の実施 団体向け懇談会をホームページやLINEで広報	第1 各地区懇談会の日程が調整され、団体向け懇談会の開催が周知されている
② 各地区における懇談会の実施及び各種団体等との懇談会を随時実施 懇談会で出された意見への対応	第2 各地区の懇談会の開催や希望する団体との懇談会が開催されている
③ 各地区における懇談会の結果を公表 各種団体等との懇談会を随時実施	第3 各地区の懇談会の開催や希望する団体との懇談会が開催されている
④ 各種団体等との懇談会を随時実施 懇談会で出された意見への対応及び予算への反映	第4 希望する団体に対し、懇談が開催され、結果が職員に共有されている

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

令和 7 年 12 月 31 日

## 1. 令和 7 年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	各区長を通じて各地区へ懇談会の開催案内発送、日程調整実施
第2	町内 21 地区で懇談会を実施、結果を随時公表
第3	町内 21 地区で懇談会結果を全地区分として公表 開催や希望する団体との懇談会が随時開催
第4	

## 2. 令和 7 年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和 7 年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和 11 年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	土地利用・景観対策事業		種別	主
概要	高森町景観計画の重点地域を中心として高森町の豊かな自然と歴史に育まれた良好な景観を保全するため、適切な手続きがなされたうえで、土地所有者等が効果的な土地利用ができるよう指導するとともに、届出に対し、必要に応じて土地利用調整会議や景観審議会等を開催し、法令に基づき適正に意見等を発出することで良好な景観保全を行う。			
根拠法令等	景観法・都市計画法・建築基準法・国土利用計画法 長野県屋外広告物条例 長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例 高森町土地利用の届出等に関する条例 高森町景観計画・高森町土地利用計画 山吹下河原未来ビジョン 高森町太陽光発電施設の適正導入の手引き			
上位施策	記号と名称		目的	
	C-3	魅力発信と地域づくりの実現	町の景観が良好な状態に保全されている 町内の土地が地域の特色を生かして利用されている。	
担当課	建設課		担当係	計画建設係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町の景観	良好な状態に保全されている
(2) 町内の土地	無秩序な開発等がなされることなく、地域の特色を生かして利用されている。
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 勧告書に従わない行為の件数	現状 0件 → 令和11年度末 0件 高森町景観計画に沿わない計画に対して発出する勧告書の内容に従わない行為の数が0であれば、町の良好な景観が保たれていると判断される。
B 意見書の内容が反映されなかった行為の件数	現状 0件 → 令和11年度末 0件 開発行為、太陽光発電事業などの届出を要する事業に対し町から発出した意見書の内容が反映されない行為が0であれば、秩序ある開発がなされていると判断できる。

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 勧告書に従わない行為の件数	現状 0件 → 令和7年度末 0件 高森町景観計画に沿わない計画に対して発出する勧告書の内容に従わない行為の数が0であれば、町の良好な景観が保たれていると判断される。
b 意見書の内容が反映されなかった行為の件数	現状 0件 → 令和7年度末 0件 開発行為、太陽光発電事業などの届出を要する事業に対し町から発出した意見書の内容が反映されない行為が0であれば、秩序ある開発がなされていると判断できる。

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① ・景観・土地利用・開発・建築確認等の手続きの案内(ホームページなど)の内容を精査・修正する。(法改正等による修正事項の確認)	第1 法令・条例・計画に沿った開発や建築行為がなされている。
② ・法令や計画に沿って各種届出に対する審査・指導・意見書交付等を行う。必要に応じて景観審議会や土地利用調整会議を開催する。	第2 法令・条例・計画に沿った開発や建築行為がなされている。
③ ・地元への情報発信を行い、地元からの意見を事業者に確実に伝える。	第3 法令・条例・計画に沿った開発や建築行為がなされている。
④ ・太陽光発電施設や開発行為手続きなど長野県へ行う届出について検討連携した対応を行う。	第4 法令・条例・計画に沿った開発や建築行為がなされている。

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	各種届出に対する審査・指導・意見書の交付を行い、法令・条例・計画に沿った開発や建築行為の実施を促した。 6 月末時点での届出受理件数(土地利用:4 件、景観:6 件)
第2	各種届出に対する審査・指導・意見書の交付を行い、法令・条例・計画に沿った開発や建築行為の実施を促した。 9 月末時点での届出受理件数(土地利用:5 件、景観:7 件)
第3	各種届出に対する審査・指導・意見書の交付を行い、法令・条例・計画に沿った開発や建築行為の実施を促した。 12 月末時点での届出受理件数(土地利用:5 件、景観:10 件)
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	都市計画運営事業		種別	主
概要	町のあるべき姿(人口、土地利用、主要施設等)を想定し、そのために必要な規制、誘導、整備等を行うための計画を定める。			
	都市計画事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画審議会の開催</li> <li>・都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定(R7末公表)</li> <li>・国補)都市再生整備計画事業の進捗管理(R7~12)</li> </ul> 昭和 50 年 3 月に高森町都市計画区域指定を受けたことにより、事業を開始			
根拠法令等	都市計画法、都市再生特別措置法、高森町都市計画審議会条例、高森町土地利用計画			
上位施策	記号と名称		目的	
	C3	良好な景観の保全と地域の特色を生かした土地利用の形成	町の景観が良好な状態に保全されている 町内の土地が地域の特色を生かして利用されている	
担当課	建設課		担当係	計画建設係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 都市計画区域内的の土地	均衡ある発展により、安心安全な住環境が保全されている
(2) 町民	秩序ある土地利用により、安心して生活できる
(3)	

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 都市再生整備計画により整備された事業数	現状 0 → 令和 11 年度末 6 根拠:都市再整備計画(市田駅周辺地区)記載事業数
B	

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 計画策定・公表件数	現状 0 → 令和 7 年度末 2 根拠:都市計画マスタープラン・立地適正化計画 策定数
b	
c	

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の策定を進める。	第1 ・都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定を工程に沿って進めている。 ・当年度国庫補助申請及び翌年度概算要望を終えている。 ・市町村まちづくりセミナーへ参加し、基礎的な思考を身に付ける
② 都市再生整備計画(市田駅周辺地区)を管理し、国庫補助事業の調整を図る。	第2 ・都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定を工程に沿って進めている。 ・市町村まちづくりセミナーへ参加し、技法のスキル向上が図られている。
③ UDC信州主催の市町村まちづくりスクールへ参加する。(5 月~8 月)	第3 ・都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定を工程に沿って進めている。 ・都市計画審議会を開催する。 ・翌年度国庫補助改要望を終えている。
④	第4 ・都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定が完了し、公表されている。 ・国庫補助本要望を終えている。

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	予定通り7月に第3回都市マス立適策定委員会を開催予定。計画案を策定し、出席依頼と共に各委員へ送付した。 令和7年度国庫補助申請完了。令和8年度概算要望完了。地域交流センター予定工事費の増額により、都市再生整備計画の変更手続きを開始。また第二世代交付金活用に関して県との相談を開始。 まちづくりセミナーに計画建設係1名が参加を開始した。
第2	7月に第3回、9月に第4回策定委員会を開催し、計画案について一通りの議論が終了。意見を精査し計画案を修正したのち、第3期に説明会、パブリックコメントを開催予定。また10月には都市計画審議会にて計画概要を説明予定。 矢澤主査が市町村町づくりセミナーへ参加し、スキル向上等に努めた。
第3	10月の都市計画審議会にて計画概要を説明。12月にパブリックコメントおよび住民説明会を実施。第4四半期に実施する策定委員会及び都市計画審議会の日程を調整済み。年度末に計画策定及び公表に向けて順調に進んでいる。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	山吹下河原土地利用計画策定事業		種別	主
概要	土地利用に大きな変化が想定される山吹下河原地域について、将来の地域にとって望ましい土地利用の方向を明確にする計画として「山吹下河原未来ビジョン」を策定。ビジョンに基づく施策(整備)の具現化を図るため、必要な計画策定及び都市計画決定を行う。 ・令和 4 年度から事業着手 ・令和 6 年 6 月 山吹下河原未来ビジョン公表			
根拠法令等	都市計画法、都市再生特別措置法、高森町都市計画審議会条例、高森町土地利用計画、山吹下河原未来ビジョン			
上位施策	記号と名称		目的	
	C3	良好な景観の保全と地域の特色を生かした土地利用の形成	町の景観が良好な状態に保全されている 町内の土地が地域の特色を生かして利用されている	
担当課	建設課		担当係	計画建設係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 山吹下河原地域の土地	秩序をもって有効に利用される
(2)	
(3)	

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 都市再生整備計画により整備された事業数	現状 0 → 令和 11 年度末 未定 根拠:都市再整備計画記載事業数(R7策定)
B	

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 都市再生整備計画策定数	現状 0 → 令和 7 年度末 1 根拠:都市再生整備計画(山吹下河原地区)
b 都市計画決定件数	現状 0 → 令和 7 年度末 1 根拠:令和 7 年度都市計画決定予定(特定用途制限地域)
c	

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)
① 都市再生整備計画(山吹下河原地区)を策定する。
② 特定用途制限地域を設定し、都市計画決定する。
③ 国庫補助事業(都市構造再編集中支援事業)の令和 8 年度からの事業実施に向け、手続きを進める。
④

4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
第 1 ①県との協議を進め、国へ調書を提出している。 ②条例・施行規則、用途制限の検討を進め、原案が作成されている。 ③事業がまとまり、R8 概算要望を終えている。
第 2 ①国・県からのヒアリングを重ね、整備計画を本省へ提出している。 ②地元説明会を終え、県へ事前協議書を提出、公聴会開催公告を終えている。
第 3 ①指摘事項について国の集中相談にて対応している。 ②素案閲覧、公聴会を開催し、計画案の公告・縦覧を行い、12月議会に条例を上程し、可決されている。 ③改要望を終えている。
第 4 ①協議終了し、計画が認められている。 ②都市計画審議会開催、都市計画決定告示、公表されている。 ③本要望を終えている。

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	6月末までに特定用途制限地域計画案の意見交換会を該当地区、山吹区、商工会に全町7回実施。状況を県・建設事務所へ報告し、県との事前協議へ入っていく段階となった。都市再生整備計画は、補助事業を第二世代交付金の活用の方針転換したため策定しないこととなった。第二世代交付金について県と協議開始、内閣府との相談に入っていくこととなった。
第2	計画案を精査し、8月に説明会を2回開催。8月末に長野県知事と都市計画決定のための事前協議を開始し、10月上旬に回答がある予定。公聴会開催公告を終え、その結果を踏まえ、10月に都市計画審議会にて、計画概要を説明予定。
第3	10月に都市計画審議会にて計画概要を説明。県知事との本協議を終え、12月に第2回都市計画審議会を開催し、計画決定すべきものと認められた。12月定例議会にて条例を上程し可決された。年度末に実施する計画決定を残すのみとなった。第4四半期には広報及び関係機関への周知等を行う予定。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)			
①			
②			
③			
④			
2)目標の達成度			
指標	令和7年度末の状況		
	実績		達成度
a			
b			
c			
(1)~(3)平均			
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度	
A			
B			
AB平均			
3)取り組みの効果の確認			
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。			

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)			
2)次年度の事務事業のあり方			
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由		
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由		
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由		

# 令和 7 年度 事務事業マネージメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	天竜川かわまちづくり事業		種別	主
概要	R2年に国土交通省のかわまちづくり支援制度に計画登録された「天竜川高森かわまちづくり計画」により、高森町の地域資源である天竜川を活用し、カヌーをはじめとしたウォーターアクティビティをはじめ、河川空間を活用した地域の賑わい創出を、拠点施設である MIZBE ステーション整備と合わせ実現へ取り組む。			
根拠法令等	山吹地区 MIZBE ステーション整備計画 天竜川高森かわまちづくり計画 山吹下河原未来ビジョン			
上位施策	記号と名称		目的	
	C-3	良好な景観の保全と地域の特色を生かした土地利用の形成	地域資源である天竜川とその河川空間や景観を、地域活性化や観光振興へ活用する	
担当課	建設課		担当係	計画建設係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 運営事業者	決定し、事業開始に向けて取り組んでいる
(2) 町民	河川空間を活用して楽しんでいる(賑わっている)
(3)	

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 民間団体によるかわまちづくり関連事業またはイベントの実施件数(年1件以上)	・現状→町主導のイベントのみ(民間団体によるイベント0件) ・R11 年度末→民間主導のかわまち関連の取組み(イベント等)が年 1 件以上実施される。 民間主導でかわまちづくり関連の取組み(イベント等)が実施されることで、実現に向け計画的に進んでいると判断できる。
B 河川を活用した事業運営者が決定(1社)	かわまちづくりの事業運営者が決定している。 R12 年の供用開始に向けて事業者が決定している→計画通り事業が進んでいる 事業者が決定していない→計画通り事業が進んでいない

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 民間事業者と連携した賑わい創出イベントの来場者数	R7 年度イベント来場者数 250 人 R6 年度イベント来場者数216人(延べ人数) 前年度より多い来場→かわまちづくりの取組み周知が前年度より増えたと判断する。
b 民間事業者の選定に向けた実施計画の検討(1 件)	現状→具体計画なし 民間事業者の選定に向けた R8~R11 年までの実施計画について、方針案(1 件)を示す。
c	

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
① ・かわまちづくり賑わい創出イベントの企画・計画 ・民間事業者の選定に向けた実施計画の検討	第 1 ・かわまちづくり賑わい創出イベントの企画・計画がなされている。
② ・かわまちづくり賑わい創出イベントの実施 ・民間事業者の選定に向けた実施計画の検討	第 2 ・イベントが実施される。
③ ・かわまちづくり賑わい創出イベントの検証 ・民間事業者の選定に向けた実施計画の検討	第 3 ・イベントが実施され、成果や課題点が抽出されている。 ・民間事業者の選定に向けた実施計画の検討が来年度予算要求に向けまとまっている。
④ ・次年度以降に向けた賑わい創出の実施方針の検討	第 4 ・イベントの実施結果や検証結果から、次年度以降の取り組み方針がまとめられている。

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	令和7年度 天竜川高森かわまちづくり事業賑わい創出検討支援業務委託の契約を締結。7月～8月に行うイベント(社会実験)計画の打ち合わせを完了。
第2	7/27～8/16の間、高森ドームにて、また 8/18 の市田灯ろう流しに併せ市田駅横特設会場にて、スケートボードパークの整備及び運営に関するイベント(社会実験)を実施。
第3	かわまちづくり賑わい創出イベントの成果や課題点については、12/19 の打ち合わせで抽出された。検証の実態を正確に求めるため、1/15 に成果報告を行ってもらう予定。来年度実施計画についても1/15 の打ち合わせで検討をする予定となっている。また、それらを踏まえて来年度計画を詰める運びとなっている。2 月末には、かわまちづくり協議会を開き、成果や今後の方針について、意見交換をする予定となっている。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)			
①			
②			
③			
④			
2)目標の達成度			
指標	令和7年度末の状況		
	実績		達成度
a			
b			
c			
(1)～(3)平均			
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度	
A			
B			
AB 平均			
3)取り組みの効果の確認			
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。			

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)			
2)次年度の事務事業のあり方			
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	変更内容・理由		
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	変更内容・理由		
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	変更内容・理由		

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	MIZBE ステーション整備事業		種別	主
概要	R5年に国土交通省に計画登録された「山吹地区 MIZBE ステーション」について、河川管理者である国土交通省天竜川上流河川事務所と連携して整備を行う。MIZBE ステーションは、平時は地域の賑わいの場として利用され、災害時は緊急復旧活動や水防活動の拠点として機能する施設整備を行う。「天竜川高森かわまちづくり」計画とも関連し、地域活性化や水辺空間の魅力づくりを行う。			
根拠法令等	山吹地区 MIZBE ステーション整備計画 天竜川高森かわまちづくり計画 山吹下河原未来ビジョン			
上位施策	記号と名称		目的	
	C-3	良好な景観の保全と地域の特色を生かした土地利用の形成	地域資源である天竜川とその河川空間や景観を、地域活性化や観光振興へ活用する	
担当課	建設課		担当係	計画建設係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) MIZBE ステーション	供用開始に向けて計画的に整備される。
(2) 天竜川の水辺空間	かわまちづくり計画と連動し、活用される。
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A MIZBE ステーションの整備(整備進捗90%以上)	R12年度末供用開始に向け、整備が完了している。 ●R12年度末に供用開始の見込みが立っている(進捗率90%) →計画的に整備が完了している ●見込みが立っていない →計画的に整備が進んでいない
B	

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a MIZBE ステーション進入道路の整備(整備進捗100%)	現状 0% → 令和7年度末 100% 整備完了 →計画通り事業が進んだ 整備未完了 →計画通り事業が進まなかった
b	
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)
① ・進入道路の整備に係る各種申請 ・駐車場等の設計の見直しの発注
② ・進入道路整備に向けた関係機関(国交省、広域消防、上下水道係、工事受注者等)との調整
③ ・進入道路の工事着手
④ ・進入道路整備の分筆・登記

4半期ごと目指す状態(スケジュール)
第1 ・進入道路の整備に係る道路位置指定申請や道路占用等の申請が完了している。 ・設計業務の発注が完了している。
第2 ・進入道路整備に係る上下水道工事が発注されている。 ・進入道路整備に係る関係機関との調整を実施している。
第3 ・進入道路工事が着手できるよう、各種調整が完了している。 ・進入道路整備が竣工する。
第4 ・進入道路が位置指定を受け、供用開始している。

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和 7 年12月31日

## 1. 令和 7 年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	・進入道路の整備に係る道路位置指定申請が完了し、認定を受けている。 ・設計業務の発注、契約が完了し、着手している。
第2	・進入道路整備に係る関係者協議が順調に進捗し、上下水道工事が着手された。
第3	・進入道路工事に向けた各種調整が完了し、工事着手された。工事完了時期については、国交省との調整により、第 4 四半期以降となった。
第4	

## 2. 令和 7 年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和 7 年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和 11 年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	<b>理由</b>	
<b>目的</b>	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
<b>目標</b>	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
<b>取り組み</b>	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	たかもり ACE プロジェクト事業		種別	主
概要	食育講座の実施、健康教室の実施、健康ポイントの拡充、各種イベントでの周知活動。うましおプロジェクトを推進し、尿中塩分測定会を実施したり、デジタル塩分計を使用し、日ごろの塩分摂取量の測定する機会を設けることにより、減塩に対する意識を高める。健康センターあさぎりと連携し、介護予防教室や運動教室を実施することで、健康増進、フレイル予防・認知症予防を推進する。			
根拠法令等	健康増進法、食育基本法			
上位施策	記号と名称		目的	
	D	健康の実現 「こころもからだもいつまでも健康に」健康宣言	町民が自らの健康について主体的に考え、健康づくりを実践し、心身ともに健康な生活が送れるよう、情報提供、啓発活動、環境づくりに取り組み、行動変容を促進します。	
	F	福祉の実現 「人と人との支えあい」福祉の力	町民が社会とのつながりを持ち、住み慣れた地域で生活することができる。	
担当課	健康福祉課		担当係	健康係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民、高森町で働く人	健康に生活することができる。
(2) 町民、高森町で働く人	健康についての知識や意識を高め、自身の健康のための取り組みを実践することができる。

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 平均自立期間の延伸	現状値:R3~R5 年度平均:男性 80.4、女性 86.2 男性は R5 年度の県の平均である 81.4 を目指す。 女性はすべてにおいて平均より高いので、維持を目指す。
B 適正な食塩摂取	現状値:R6 年度 平均食塩摂取量 男性 8.9g/日、女性 8.9g/日 目標値:集団として平均男性 8.5g、女性 8.1g を目指す。 ※食事摂取基準 男性 7.5g 未満 女性 6.5g 未満 WHO5g 未満
C 高血糖の割合の減少 (HbA1c5.6 以上)	現状値:R6 年度 HbA1c5.6 以上 中学生 37% 目標値: 中学生 28%

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 身体活動量の増加	歩行又はそれと同等以上の身体活動を1日1時間以上行う者の割合 R5 現状値 52.1% →R7 目標値 55%(県平均)
b 食塩摂取量 12g 以上の者の減少	現状値:R6 年度 男性 8.6%、女性 8.9% 目標量の倍以上塩分を摂取している者の割合を減らす。男女ともに 7.5%を目指す。
c 高血糖の改善 (HbA1c5.6 以上)	現状値:R5 年度 前回より高血糖の改善が見られた中学生 63% 目標値 80%

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① Action~運動によるアプローチ~ ・フレイル予防、健康づくりのための運動教室 健康センターあさぎり、インターバル速歩、アクトスペース尾陰由美子さん ・日頃の運動習慣、社会参加の推進 かきまる健康チャレンジ	第1 ・各所との打ち合わせ、準備 ・教室チラシ作成 ・セミナー募集
② Check~健診を受ける~ ・健診とりまとめ時や健診等での周知 ・教育委員会の事業と連携した周知 ・商工会と健康課題の共有	第2 ・健診の実施(尿中塩分検査) ・かきまるチャレンジの周知 ・食育会議、朝食アンケートの準備
③ Eat~食によるアプローチ~ ・うましおプロジェクトの推進 集団健診での尿中塩分測定の実施、保健指導 広報への掲載、LINE の活用、塩分計の活用 ・高血糖の改善 乳幼児健診・相談での糖のお話、展示 小中学生 生活習慣病予防の取り組み	第3 ・尿中塩分測定結果をもとに保健指導 ・朝食アンケートの実施 ・ボディメンテナンス教室実施
④	第4 ・年度の振り返り、評価 ・次年度に向けた方向性の検討

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育セミナーは打合せ実施後、6/19 から開始(親子参加 8 組)</li> <li>・健康教室に向け健康センターあさぎりとの打合せ実施。HEALTHPROJECT(インターバル速歩の実践からの健康づくりプログラム)を 5/11 から開始(19 名参加)</li> <li>・かきまる健康チャレンジの周知(6 月末 151 名参加)</li> <li>・6/30 食育推進会議を実施。</li> </ul>
第2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育アンケートに向け見直しを実施</li> <li>・健診の実施(尿中塩分検査 649 名)</li> <li>・かきまる健康チャレンジの周知(健診時、地域でのサロン)(9月末273名参加)</li> </ul>
第3	結果報告会(10月6、30、31日)では、375名に結果返却、保健指導の実施。朝食アンケートの配布完了。ボディメンテナンス教室 17 名/回を 11 月より開始。現在 2 回実施。年明けより、6 回実施予定。元気でいられる体づくり教室を11月から開始10人/回(全8回)定員すべて埋まっている。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7年2月 14日

事務事業名	総合健診事業		種別	主
概要	生活習慣病の予防と早期発見・重症化予防を目的に、健康診断・保健指導を実施する。 ヘルススクリーニング(39歳以下、75歳以上の町民健診) 歯科健診(20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳) 39歳以下の方へ生活習慣病予防の保健指導を実施する。			
根拠法令等	健康増進法、高齢者の医療の確保に関する法律			
上位施策	記号と名称		目的	
	D	「こころもからだもいつまでも健康に」健康宣言	町民が自らの健康について主体的に考え、健康づくりを実践し、心身ともに健康な生活が送れるよう、情報提供、啓発活動、環境づくりに取り組み、行動変容を促進します。	
担当課	健康福祉課		担当係	健康係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民	自分自身の健康状態を把握する。
(2)	
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 39歳以下の国保の健診受診率	現状 39.6%→令和11年度 60% 他で健診を受けると答えた方は対象から除く。 目標値:25%
B 歯科健診の受診率	歯周病によっておこる炎症は全身の様々な病気を引き起こしたり、悪化させるため定期的な歯科受診をすすめる。節目年齢で無料健診があることも定着させる。

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 健診とりまとめの回収率	現状 60.3%→62%(100戸増加)
b 歯科健診の受診率	現状値:令和5年度 21.8%(20歳、30歳は含まれていない) 目標値:21.8%(現状維持) R7年度から対象者(母数)が増え、受診率が下がることが考えられる。受診料が無料になることをアピールし、受診率維持を目指す。
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① ~ヘルススクリーニングの実施~ ・若年層の健診機会の拡充 (変更前:20歳~/変更後 19歳~)  ~健診機会の拡充~ ・健診データ(会社等実施健診)を活用し保健指導を継続	第1 4月各種健診機関との委託契約 5月お知らせと通知 歯科健診の対象者へ受診券発送 5月~歯科健診の請求書確認と支払(3月ごろまで)
② 歯科健診 健診とりまとめにチラシを封入、継続受診している方も気軽に受診券を使えるよう HP や LINE で周知する。	第2 7月佐久健康管理センターとの実施打合せ 8月通知配送準備 9月ヘルス実施、保健指導の実施
③ 健診とりまとめ票のDX化の検討(令和8年度の申込の際には実施できるように)	第3 10月ヘルス結果返却準備 11月歯科健診の受診状況の確認と1月にお知らせし未受診者へ勧奨
④ HPや広報での周知。 LINEの活用	第4 1月ヘルス実施、来年度健診とりまとめ準備 2月結果返却準備

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	4月 各健診機関と委託契約済み 5月 歯科健診受診券を郵送(863人) 6月 ヘルススクリーニング通知郵送(1378人)
第2	7月 通知発送・佐久健康管理センターとの打合せ・ヘルス実施(210人受診) 8月 ヘルス実施(340人受診) 9月 ヘルス実施(684人受診)・報告会7月分(112人保健指導実施) 来年度からの健診とりまとめのDX化にむけての準備開始(電算との打合せ)
第3	10月ヘルス結果返却済。報告会参加者375名その他面談来庁38名。 11月歯科健診受診者52名(11月末まで)
第4	12月来年度の検診とりまとめ実施(4621世帯)

## 2. 令和7年度評価

1) R7度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

令和 7 年度 事務事業マネージメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	心の健康づくり事業		種別	主
概要	精神に関する保健事業 より健やかなこころの健康と誰一人取り残すことのない生きることの包括的な支援 ・「こころの相談」民間のヘルスカウンセラーによる対面相談 ・2年に1度ゲートキーパー養成講座(対象:民生委員等) ・受診が必要な人を適切な医療機関へ(各機関との連携と受療支援)			
根拠法令等	自殺総合対策大綱 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律			
上位施策	記号と名称		目的	
	D	健康の実現	町民の健康意識を醸成し、健康寿命の延伸・健康格差の縮小を目指す。 生活習慣病の発症及び重症化予防に取り組み、国保加入者の健康保持増進を図ることで、健康寿命の延伸、ひいては医療費適正化を目指す。 町民一人ひとりが食を通じた健康づくりに対する知識を学び実践できる力を育み、自らの健康を守り豊かな人生を送り、さらには、地元農畜産物などへの理解を深めながら地産地消の推進を図る	
担当課	健康福祉課		担当係	健康係

1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民	安定した気持ちを保ち、自分らしく過ごすことができる。
(2)	
(3)	

2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 「カウンセリング」との年間の利用回数 ・カウンセリング25回	令和5年度カウンセリング21回 令和6年1月時点カウンセリング12回 自殺死亡率の直近5年の平均を指標にすることも検討したが、公開していく指標には適さないと判断し、単年度の1番目の指標と同様とする。
B	

2. 単年度計画(令和 7 年度)

1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a カウンセリングの実施回数	相談しやすい環境の整備 年 22 回
b 広報の回数	相談しやすい環境の整備と相談の場の周知 希望者の有無にかかわらず 2 か月毎発信 年 6 回
c ゲートキーパー受講者数	こころの健康に関する普及啓発と傾聴のスキルアップ隔年 26 名

2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
① <相談のための環境整備、周知> ・カウンセリング・女性相談の広報(通年)や依頼	第1 カウンセリング・女性相談の広報(通年) ・音声方法、お知らせ版、LINE(2 か月毎) ・ホームページは年 1 回更新 カウンセラーの依頼 ・令和 6 年度中に次年度の「こころの相談」の日程を確認し依頼 第2 次年度のカウンセラー等の確保
② <心の健康に関する普及啓発> ・ゲートキーパー養成講座(2年に1回) 民生委員の役員会で日程を決めて講師を手配(令和 6 年度中)	第3
③ 個別の相談対応(通年)	第4
④	ゲートキーパー養成講座 3/12 予定

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	こころの相談実施件数12回(6月時点) ホームページ更新。お知らせ版・音声放送2回実施。
第2	こころの相談実施件数 14 回(9 月時点) お知らせ版・音声放送での相談窓口の広報 3 回実施(9 月時点) 次年度以降のカウンセラーの確保に向け保健所等に継続的に相談を実施。
第3	こころの相談実施件数 17 回(1 月時点) 新たなカウンセラーについて駒ヶ根と伊那市の個人のカウンセラーへ打診するが難しいと。 お知らせ版・音声放送での相談窓口の広報 4 回実施(1月時点)
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	国保特定健康診査等事業		種別	主
概要	平成20年4月高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、40歳から74歳の保険者に対して特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付け。被保険者の健診を集団健診(町のヘルススクリーニング)と個別健診(各医療機関)で実施。 【補助金】保険者1/3、県1/3、国1/3			
根拠法令等	健康増進法、国民健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律			
上位施策	記号と名称		目的	
	D	「こころもからだもいつまでも健康に」健康宣言	町民が自らの健康について主体的に考え、健康づくりを実践し、心身ともに健康な生活が送れるよう、情報提供、啓発活動、環境づくりに取り組み、行動変容を促進します。	
担当課	健康福祉課		担当係	健康係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 被保険者	健診を受けて自身の健康状態を把握する(生活習慣病の予防)
(2)	
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 特定健診受診率	令和5年度の受診率は60.2%。国における目標値は60%であることから、まず国の目標値は最低限維持していく。 現状60.2%→目標値61%
B	

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 特定健診受診率	現状60.2%→60.4%
b	
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	
①	健診スケジュールの管理、 ・実施時期の確認(集団健診) ・HPによるお知らせ
②	集団健診の実施 ・契約内容の確認 ・佐久健康管理センターとの打合せ ・対象者の明確化(名簿作成)
③	個別健診の実施 ・受診券発行準備
④	未受診者の把握と再勧奨の実施。(キャンサースクアの未受診者対策)

4半期ごと目指す状態(スケジュール)	
第1	4月:対象者の明確化、受診券発行準備。未登録者へ健診受診勧奨 5月:個別健診者へ受診券発送 5月~:特定健診開始
第2	7月~8月集団の特定健診準備 9月集団健診の実施。
第3	10月~11月受診状況の確認と未受診者への受診勧奨。 12月:1月ヘルスの通知発送準備
第4	1月:集団健診の実施 2月:来年度の健診とりまとめ準備 3月:次年度の健診申込の状況の確認

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	個別健診の申込者へ受診券発送完了。未登録者の名簿作成。 4月から人間ドック等で個別健診開始。健診実施のためのタイムスケジュール作成完了。集団健診の通知完了。申込者 632人
第2	7月～9月集団健診実施完了(申込者632人中 534人受診 受診率 84.5%)
第3	12月末時点の受診率 40.9%(648人/1584人) 未受診者への再勧奨 774人→受診の申込があったのは 31人。 1月のヘルス準備は完了。特定健診 147人受診予定。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)～(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	介護予防普及啓発事業		種別	主
概要	介護予防のための学習、健康な体づくりを行う機会として、65歳以上の町民が集う各種団体へ講師(保健師、管理栄養士、運動指導士、歯科衛生士等)を派遣する。			
根拠法令等	介護保険法			
上位施策	記号と名称		目的	
	D1	健康の実現 「こころもからだもいつまでも健康に」健康宣言	町民ひとり一人が自らの健康について主体的に考え、行動することができる。 町民誰もが互いに尊重し、それぞれの価値観や特性、多様なあり方を受容し、理解し合える。	
	F1	福祉の実現 「人と人との支えあい」福祉の力	町民が社会とのつながりを持ち、住み慣れた地域で生活することができる。 地域で誰一人取り残されることのない、共生社会が実現される。	
担当課	健康福祉課		担当係	地域包括支援センター

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 65歳以上町民	介護予防のための学習と健康な体づくりができる。
(2)	
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 前期高齢者(65~74歳)の介護認定率	県の認定率よりも低い割合であり、維持を目指す。 R2年度:2.2%(県3.1%) R3年度:2.0%(県3.2%) R4年度:2.1%(県数値未確定) R5年度:2.2%(県数値未確定) R11年度:目標2.1% (介護保険事業年報、介護保険事業状況報告より)
B	

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 前期高齢者(65~74歳)の介護認定率	県の認定率よりも低い割合であり、今後も維持を目指す。 R5年度:2.2% R7年度:目標2.1% (介護保険事業年報、介護保険事業状況報告より)

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 事業の周知 (広報、区長会、民生児童委員会、協議体、お助けマン研修等)	第1 ・事業についての周知(支えあいネットワーク協議体、お知らせ版等)。 ・依頼のあったサロンへの講師派遣・実績の確認、講師料支払い。
② 各種団体(高齢者サロン、ふれあい広場、敬老祭等)への講師派遣 (保健師、管理栄養士、運動指導士、歯科衛生士等)	第2 ・事業についての周知(お助けマン研修)。 ・依頼のあったサロンへの講師派遣・実績の確認、講師料支払い。
③ フレイル予防、介護予防のための取り組み ・健康センターのあさぎりの運動教室 ・日頃の運動習慣、社会参加の推進	第3 ・依頼のあったサロンへの講師派遣・実績の確認、講師料支払い。
④	第4 ・依頼のあったサロンへの講師派遣・実績の確認、講師料支払い。 ・年間の振り返り、次年度に向けての打ち合わせ。

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和 7 年 12 月 31 日

## 1. 令和 7 年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	お知らせ版での周知実施。お助けマン研修への周知実施。いかまい会、吉田西サロンへの講師派遣・実績の確認、講師料支払い済。
第2	お助けマン研修実施済。 下市田区敬老祭への講師派遣・実績確認済。
第3	出砂原地区あさぎり会、吉田西、出砂原、下市田 4 区ホイ! いかまい会、下市田 1 区いかまい会サロンへの講師派遣・実績の確認、講師料支払い。
第4	

## 2. 令和 7 年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
②		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和 7 年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和 11 年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	青少年校外スポーツ活動支援事業		種別		主
概要	各種スポーツを行う小中学生期のクラブチーム(スポーツ少年団を含む)に補助金を交付する。スポーツ少年団加入チームへは、スポ少本部へ定額を交付し、スポ少事務局が各チームの団員数に応じて配分する。スポ少未加入チームへは定額を交付する。また、部活動においては、中学生がより質の高い指導が受けられるよう指導者支援を行い、地域移行に関しては、より中学生・家庭の参加意欲が向上する仕組みを導入し、中学生期の活動機会を確保する。				
根拠法令等	スポーツ基本法、スポーツ基本計画、学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン(国)、長野県地域クラブ活動推進ガイドライン				
上位施策	記号と名称		目的		
	E1	「やるのも見るのも」スポーツ・文化芸術活動を楽しむ	子どもが日常的にスポーツや文化芸術活動に取り組む。(好きな、やりたいスポーツ・文化芸術活動に出会う)		
			大人・シニアがライフスタイルや年齢、体力、興味に応じて、スポーツや文化芸術活動に取り組む、楽しむ、親しむ。		
			全世代がスポーツや文化芸術を、みる、応援する、支えることを通じて生きがいを感じる。		
担当課	教育委員会		担当係	こども未来係/スポーツ係	

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 小中学生が	やりたいスポーツ活動等を行える環境が整っている。
(2) 小中学生を対象としたスポーツ団体等が	適切・円滑・持続的に運営できている。
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 現部活動相当の活動に多くの中学生が取り組んでいる。 ※クラブチーム等含む	部活動等加入率 令和6年度 277人/399人 69%(クラブチーム等除く) 令和11年度 90%
B	

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 中学生の現状を把握するための調査実施回数	令和7年度1回 (令和6年度時点は現状を把握できていない。令和7年度は中学校と協力して、部活動等に所属していない生徒が、意欲があるのに機会がない状況が生じているのか調査し現状を把握する。)
b	
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① スポーツ少年団の運営補助。	第1 補助金申請受付・交付。 実態調査。
② 部活動の運営補助。 部活動地域移行の協議、試行運用。	第2 部活動地域移行の協議開始。 部活動地域移行の試行運用検証。 部活動地域移行の広域連携研究。
③ 中学生期の取り組み状況の把握。	第3 部活動地域移行の試行運用検証。 部活動地域移行の広域連携研究。
④	第4 部活動地域移行の本格運用準備。

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和 7 年 12 月 31 日

## 1. 令和 7 年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	新たに遠征補助金制度を構築し補助開始。実態調査は 6 月末から開始し、第 2 四半期から部活動地域展開の検討委員会にて協議を始める。
第2	部活動地域展開の検討委員会を開催。実証事業開始に向けて各部活動顧問へのヒアリングやスポーツ関連団体への協力依頼など実施。
第3	部活動地域展開の検討委員会第 2 回目を開催。11 月より任意の地域展開型クラブ活動が 4 団体開始し、うち 2 団体の実証事業開始。12/22 に国のガイドライン改定。
第4	

## 2. 令和 7 年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和 7 年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和 11 年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	やるのも見るのもスポーツ事業		種別	主
概要	町民が高森町を代表して出場する大会や町の地域資源を生かした各種スポーツ大会の運営支援。 町と繋がりのあるプロスポーツクラブやアスリートと連携したスポーツを「楽しむ」「応援する」機会の創出。 【大会名】 ・市町村対抗駅伝 みなみ信州駅伝 ・天竜川カヌー競技大会 ・島岡吉郎旗野球大会(小学生・中学生) ・町民ゴルフ大会 【ホームタウン加盟プロスポーツクラブ】 ・松本山雅 FC ・VC 長野トライデンツ			
根拠法令等	スポーツ基本法			
上位施策	記号と名称		目的	
	E1	「やるのも見るのも」スポーツ・文化芸術活動を楽しむ	子どもが日常的にスポーツや文化芸術活動に取り組む。(好きな、やりたいスポーツ・文化芸術活動に出会う) 大人・シニアがライフスタイルや年齢、体力、興味に応じて、スポーツや文化芸術活動に取り組む、楽しむ、親しむ。 全世代がスポーツや文化芸術を、みる、応援する、支えることを通じて生きがいを感じる。	
担当課	教育委員会		担当係	スポーツ係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1) 事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民が	スポーツに触れる機会が町内にある。
(2) 町民が	スポーツをやる、見ることで喜びを感じる。
(3)	

### 2) 令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A	スポーツ(やる・見る)を生きがい(幸福)の一つとしている成人の割合 令和6年度 数値無し 令和11年度 70% (暫定数値:令和7年東京都初データによる)
B	運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きな児童・生徒の割合 ①小学校平均 ②中学校平均 令和6年度実績 ①95.1%②76.7% ※調査対象を一定にして、令和6年度直近3年間の平均及び県指標を目標にする。 令和11年度目標 ①90%②80%(県指標)

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1) 単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a	スポーツを生きがい(幸福)の一つとしている成人の割合 令和6年度 数値無し 令和7年度 試行的に測定
b	運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きな児童・生徒の割合 ①小学校平均 ②中学校平均 令和6年度実績 ①95.1%②76.7% ※調査対象を一定にして、直近3年間の平均及び県指標を目標にする。 令和7年度目標 ①90%②80%(県指標)
c	

### 2) 取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)
① 各種スポーツ大会の運営支援。
② ホームタウン加盟プロスポーツクラブとの連携による事業の実施。
③ 高森町スポーツ推進計画策定。
④

4半期ごと目指す状態(スケジュール)
第1 市町村対抗駅伝 随時:ホームタウンゲームに併せたイベント等の実施 高森町スポーツ推進計画検討開始。
第2 天竜川カヌー競技大会 島岡吉郎旗野球大会 町民ゴルフ大会
第3 みなみ信州駅伝
第4 高森町スポーツ推進計画制定。

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	市町村対抗駅伝に出場。地域おこし協力隊中心に各種イベントを通じてスポーツの楽しさや魅力を発信することができた。
第2	8月に天竜川力ヌー競技大会開催。100名の選手が高森町に集い、商工会の方々や中学生の協力のもと、大会会場の賑わいを生み出すことができた。また、8月・9月には島岡吉郎旗野球大会(小学生・中学生)、町民ゴルフ大会を開催。9月には松本山雅 FC ホームタウン PR デーに参加し、南信州 SBP クラブの出店や国スポ開催 PR を実施すると共に、子どもたちが本物のプレーに触れる機会となった。
第3	11月に初の試みとして VC 長野トライデンツのホームゲームに参加し、南信州 SBP クラブの出店や高森町の PR を実施。12月のみなみ信州駅伝では一般の部1チームと小学生の部2チーム(南北小学校各1チーム)が参加した。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	スポーツ・文化支援事業		種別	主
概要	<p>平成18年度から開始。各種スポーツ・文化芸術大会等において優秀な成績を収めた者及び団体に対し、高森町からスポーツ・文化芸術に係る賞を贈り表彰する事業。各団体及び学校等の代表者に表彰対象者を照会。その後、審査委員会にて被表彰者を決定。表彰は町表彰と併せて行い、賞状・盾を贈る。</p> <p>スポーツや文化芸術活動の振興や奨励を図るため、高森町を代表して全国的な競技スポーツ大会等に出場する団体若しくは個人に対し補助金を交付。(全国大会:団体5万円・個人1万円/北信越大会:団体1万円・個人5千円等)</p>			
根拠法令等	高森町スポーツ表彰規程・要綱/高森町文化表彰規程・要綱 高森町全国大会等出場激励金交付要綱			
上位施策	記号と名称		目的	
	E1	「やるのも見るのも」スポーツ・文化芸術活動を楽しむ	<p>子どもが日常的にスポーツや文化芸術活動に取り組む。(好きな、やりたいスポーツ・文化芸術活動に出会う)</p> <p>大人・シニアがライフスタイルや年齢、体力、興味に応じて、スポーツや文化芸術活動に取り組む、楽しむ、親しむ。</p> <p>全世代がスポーツや文化芸術を、みる、応援する、支えることを通じて生きがいを感じる。</p>	
担当課	教育委員会		担当係	スポーツ係・社会教育係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民が	取り組みの成果が認められ、自信と自己肯定感を高められる。
(2)	
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 優秀な成績を納めた町民が表彰を通じて広く町民全体に知れ渡る。	表彰式を年1回実施し、町内外に広く周知する。
B	

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 優秀な成績を納めた町民が表彰を通じて広く町民全体に知れ渡る。	表彰式を年1回実施し、町内外に広く周知する。
b	
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 広く制度の周知を行う。	第1 制度の周知 激励金等随時対応
② 随時激励金の交付、表敬訪問、報告会等を実施する。	第2 被表彰者とりまとめ
③ 表彰式を執り行う。	第3 表彰式挙行
④ 成果を広く周知する。	第4 被表彰者の広報

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	対象の町民に激励金の交付と表敬訪問等随時対応。表彰対象者の情報収集を開始。
第2	対象の町民に激励金の交付と表敬訪問等随時対応。表彰対象者の情報収集継続。
第3	対象の町民に激励金の交付と表敬訪問等随時対応。11月に表彰式を実施。スポーツ分野17名、文化分野6名表彰。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネージメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	国民スポーツ大会開催事業		種別	主
概要	令和10年(2028年)開催の信州やまなみ国スポの際に、高森町会場で行われるビーチバレー競技、カヌー競技(スラローム・ワイルドウォーター)実施に向けて、会場整備やスタッフ、ボランティア育成を行う。 令和8年度 北信越国スポ開催(カヌー) 令和9年度 リハーサル大会開催(ビーチバレー・カヌー) 令和10年度 本大会開催(ビーチバレー・カヌー)			
根拠法令等	スポーツ基本法			
上位施策	記号と名称		目的	
	E1	「やるのも見るのも」スポーツ・文化芸術活動を楽しむ	子どもが日常的にスポーツや文化芸術活動に取り組む。(好きな、やりたいスポーツ・文化芸術活動に出会う) 大人・シニアがライフスタイルや年齢、体力、興味に応じて、スポーツや文化芸術活動に取り組む、楽しむ、親しむ。 全世代がスポーツや文化芸術を、みる、応援する、支えることを通じて生きがいを感じる。	
担当課	教育委員会		担当係	スポーツ係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民が	ハイレベルな技術に間近に触れ、大会運営に携わることで、スポーツを通じた感動や生きがいを感じる。
(2) 選手が	平等に100%の力を発揮できる。
(3) 大会が	円滑に運営される。

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A	多くの町民がスタッフ等として大会開催に携わる。 現状数人。 本大会開催時(令和10年度)には延べ1,000人の参加を目標とする。
B	

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a	小中学生が長野国スポ開催のことを知る。 小中学生全員に対して長野国スポの周知を行う。 令和6年度には展開できず。 令和7年度対象者1,000人。
b	
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)		4半期ごと目指す状態(スケジュール)	
①	小中学校の授業や校内放送などを活用し、国スポに関するPR・周知を行う。	第1	高森の時間でカヌーの学習を深める。 設計発注(カヌー・ビーチバレー) ※発注タイミングは方向性が固まり次第。
②	中学生と連携して、カヌーの魅力を全町に向けて発信する。(高森の時間)	第2	町カヌー大会に合わせて、中学生と共にPR活動を行う。 先催県視察。
③	競技場の整備を進める。	第3	小中学校でのPR。 カヌー競技場の工事発注。 実行委員会立ち上げ。 先催県研修会参加。
④	先催県視察や県各競技団体と連携を図り、大会開催に向けて準備を進める。	第4	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	中学校3年2組の高森の時間の授業で町カヌークラブの協力を受けながらカヌー体験の実施等学習を深めた。カヌー競技場の実施設計は県補助金交付決定がされていないため未実施。ビーチバレーは仮設でのコート整備という方向性を固めた。第2 四半期で発注予定。
第2	町カヌー大会時にカヌレの販売と国スポ PR ブース(VR 体験)を中学生と一緒に実施。町のホームページや SNS(インスタ・X)のアカウントを開設し、周知強化を開始。また、滋賀国スポの視察を実施。ビーチバレー(長浜市)とカヌー(大津市)をそれぞれ視察し、競技会場設営と運営の理解を深めた。県カヌー協会と月1で定例会議を実施。
第3	カヌー競技場とビーチバレーボール競技場の実施設計を発注。宮崎県(競技会場は鹿児島県湧水町)でのカヌー担当者研修会、滋賀県大津市での自治体職員事務研修会に参加し、理解を深めた。ふるさと祭りでは中学校3年2組と再度連携してカヌー体験ブースを、ほたるパークイベントでは国スポ PR ブースを出展して広報活動を実施した。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	体育協会活動支援事業	種別	主
概要	高森町体育協会は昭和56年4月1日発足。町は高森町体育協会の活動に対する財政的・人的支援を行うことにより、町の生涯スポーツ振興の一翼として期待。協会主体で各団体の計画に基づく年間リーグ戦等を実施のほか、協会主体運営「きんもくせいスポーツ大会」「駅伝大会」等が行われており、町はその事前準備や運営補助を行う。また、下伊那郡体育協会への負担金を支弁。		
根拠法令等	スポーツ振興法／補助金等交付規則(昭和43年高森町規則第7号)		
上位施策	記号と名称		目的
	E1	「やるのも見るのも」スポーツ・文化芸術活動を楽しむ	子どもが日常的にスポーツや文化芸術活動に取り組む。(好きな、やりたいスポーツ・文化芸術活動に出会う) 大人・シニアがライフスタイルや年齢、体力、興味に応じて、スポーツや文化芸術活動に取り組む、楽しむ、親しむ。 全世代がスポーツや文化芸術を、みる、応援する、支えることを通じて生きがいを感じる。
担当課	教育委員会	担当係	スポーツ係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民	日常的にスポーツに親しむことができる。
(2) 体育協会 (またはそれに代わる組織)	町のスポーツ団体等を束ね、町民に向けてスポーツに親しむ機会・環境を提供する。
(3)	

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 加入団体・会員数	現状は9団体が加盟しているが、令和11年度末には町内すべてのスポーツ団体が加盟する。
B 次世代の後継の育成及び持続可能な組織運営がなされている。	すべての加盟団体が、競技・種目ごとに子どもから大人まで縦のつながりを持って組織されている。

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 体育協会が町スポーツ振興を推進するうえでの立ち位置を明確化する	体育協会の在り方を協議する会議を 3 回実施する。
b	
c	

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
① その他のスポーツ組織(スポーツ少年団、柿の里 SC 等)との意見交換の機会を持つ。	第 1 補助金交付
② 次世代の育成・循環という視点で、スポーツ(・文化芸術)振興を統括していく組織体制の在り方を協議する。	第 2 【通年】 組織の枠を超えた意見交換の場づくり
③	第 3
④	第 4 補助金精算

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	体育協会理事会において既存組織の課題等について協議。スポーツ少年団、柿の里 SC の状況についても共有し、新たな組織体制の構築に向けて動くことを共通認識として確認。
第2	11月に開催される駅伝大会に代わるウォーキングフットボール大会に向けた体験会等を企画・運営。町内から多くの参加者が集った。
第3	11月初旬にウォーキングフットボール大会をほたるパークで開催。初めての試みであったが、総勢50名が参加。幅広い世代が一同に介し、スポーツを楽しみ、交流を深めることができた。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
②		
③		
④		
⑤		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		理由
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	地域ケア会議推進事業		種別	主
概要	地域包括ケアシステムの推進、共生社会の実現を目指し、地域ケア会議、個別地域ケア会議、人生会議講演会、健康福祉の日(あい LaBo)を開催する。 個別の課題から地域課題を整理し、課題の解決方法のための取り組みを町民と共に考える。 地域のネットワークづくり、個人や地域の意識醸成につながるような機会を提供する。			
根拠法令等	介護保険法、地域支援事業実施要項、高森町地域ケア会議設置要綱			
上位施策	記号と名称		目的	
	F1	「人と人との支えあい」福祉の力	誰もが互いに尊重し、それぞれの価値観や特性、多様なあり方を受容し、理解し合える。 社会とのつながりを持ち、住み慣れた地域で生活することができる。 誰一人取り残されることのない、共生社会が実現される。	
担当課	健康福祉課		担当係	地域包括支援センター

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民	健康について知識や意識を高め、自身で健康のための取り組みを実践することができる。
(2) 参加者	意識の変容につながった。
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 平均自立期間の延伸	現状値:R3~R5 年度平均:男性 80.4 歳、女性 86.2 歳 男性は R5 年度の県の平均である 81.4 歳を目指す。 女性はすべてにおいて平均より高いので、維持を目指す。
B	

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 身体活動量の増加 特定健診問診より	歩行又はそれと同等以上の身体活動を1日1時間以上行う者の割合 R5年度 52.1% R7年度 55%(県平均)
b 地域ケア会議と人生会議の満足度	人生会議に参加後に安心ノートを作成した割合 80% 地域ケア会議参加後アンケートで満足と答えた割合 80%
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

	取り組み(具体的手段)
①	社会参加、健康づくり、共生社会の実現 ・人生会議の開催 ・地域ケア、あい LaBo の開催
②	地域の課題を解決する ・個別地域ケア会議の開催 ・地域ケア会議の開催
③	個人・地域の意識の醸成 ・あい LaBo、地域ケア会議の開催
④	

	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
第1	講師と打ち合わせが終わり、人生会議を開催する。
第2	あい LaBo、地域ケア会議開催にむけて事前準備
第3	あい LaBo、地域ケア会議開催
第4	人生会議参加者にアンケートの実施 地域ケア会議、あい LaBo 実施後、来年度の開催についてまとめをする。

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	人生会議講師と打合せを実施(4/21・6/5) ポスター作成・広報(お知らせ版・tetoru・LINE・音声放送にて) 人生会議講演会開催(6/14) 下伊那厚生病院と地域ケア会議 あいLabo打ち合わせ実施 個別地域ケア会議開催(6/5) 2事例検討
第2	地域ケア会議 あいLabo開催(7/26) 個別地域ケア会議開催(9/4) 2事例検討 下伊那厚生病院と地域ケア会議の反省と次年度に向けての方向性の確認(9/10)
第3	個別地域ケア会議開催(10/23)→これまでのまとめと今後の方向性を確認 介護予防事業への展開を提案
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		理由
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	介護予防普及啓発事業		種別	主
概要	介護予防のための学習、健康な体づくりを行う機会として、65歳以上の町民が集う各種団体へ講師(保健師、管理栄養士、運動指導士、歯科衛生士等)を派遣する。			
根拠法令等	介護保険法			
上位施策	記号と名称		目的	
	D1	健康の実現 「こころもからだもいつまでも健康に」健康宣言	町民ひとり一人が自らの健康について主体的に考え、行動することができる。 町民誰もが互いに尊重し、それぞれの価値観や特性、多様なあり方を受容し、理解し合える。	
	F1	福祉の実現 「人と人との支えあい」福祉の力	町民が社会とのつながりを持ち、住み慣れた地域で生活することができる。 地域で誰一人取り残されることのない、共生社会が実現される。	
担当課	健康福祉課		担当係	地域包括支援センター

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 65歳以上町民	介護予防のための学習と健康な体づくりができる。
(2)	
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 前期高齢者(65~74歳)の介護認定率	県の認定率よりも低い割合であり、維持を目指す。 R2年度:2.2%(県3.1%) R3年度:2.0%(県3.2%) R4年度:2.1%(県数値未確定) R5年度:2.2%(県数値未確定) R11年度:目標2.1% (介護保険事業年報、介護保険事業状況報告より)
B	

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 前期高齢者(65~74歳)の介護認定率	県の認定率よりも低い割合であり、今後も維持を目指す。 R5年度:2.2% R7年度:目標2.1% (介護保険事業年報、介護保険事業状況報告より)

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 事業の周知 (広報、区長会、民生児童委員会、協議体、お助けマン研修等)	第1 ・事業についての周知(支えあいネットワーク協議体、お知らせ版等)。 ・依頼のあったサロンへの講師派遣・実績の確認、講師料支払い。
② 各種団体(高齢者サロン、ふれあい広場、敬老祭等)への講師派遣 (保健師、管理栄養士、運動指導士、歯科衛生士等)	第2 ・事業についての周知(お助けマン研修)。 ・依頼のあったサロンへの講師派遣・実績の確認、講師料支払い。
③ フレイル予防、介護予防のための取り組み ・健康センターのあさぎりの運動教室 ・日頃の運動習慣、社会参加の推進	第3 ・依頼のあったサロンへの講師派遣・実績の確認、講師料支払い。
④	第4 ・依頼のあったサロンへの講師派遣・実績の確認、講師料支払い。 ・年間の振り返り、次年度に向けての打ち合わせ。

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和 7 年 12 月 31 日

## 1. 令和 7 年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	お知らせ版での周知実施。お助けマン研修への周知実施。いかまい会、吉田西サロンへの講師派遣・実績の確認、講師料支払い済。
第2	お助けマン研修実施済。 下市田区敬老祭への講師派遣・実績確認済。
第3	出砂原地区あさぎり会、吉田西、出砂原、下市田 4 区ホイ! いかまい会、下市田 1 区いかまい会サロンへの講師派遣・実績の確認、講師料支払い。
第4	

## 2. 令和 7 年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
②		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和 7 年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和 11 年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	認知症総合支援事業		種別	主
概要	認知症初期段階への適切な対応により、適切な支援を行う。 認知症の方やその家族が地域で安心して暮らしていけるよう、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、本人とその家族をサポートできる認知症サポーターを養成する。また、認知症ケアパスの周知活用を行う。			
根拠法令等	認知症基本法			
上位施策	記号と名称		目的	
	F1	福祉の実現 「人と人との支えあい」福祉の力	町民誰もが互いに尊重し、それぞれの価値観や特性、多様なあり方を受容し、理解し合える。 町民が社会とのつながりを持ち、住み慣れた地域で生活することができる。 地域で誰一人取り残されることのない、共生社会が実現される。	
担当課	健康福祉課	担当係	地域包括支援センター	

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 地域	認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族をサポートすることができる。
(2) 町民	認知症になっても地域で安心して生活ができる。

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 町民に占める認知症サポーター割合	R4年度8.9%(1,136/12,811名)、R5年度10.1%(1,286/12,686名)、R6年度11.4%(1,441/12,606名)※R7.1.14時点、R11年度18.1%(2,241/12,362名) 【全国:R4.3.31時点10.4% R6.3.31時点11.9%(2年で1.5%増) R11年度目標15.2%】 新規介護保険申請者のうち「認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ」以上の割合 R3年度99/192名(51.6%)、R4年度105/197名(53.3%)、 R5年度95/186名(51.1%)、R6年度67/126名(53.2%)R7.1.14時点

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 町民に占める認知症サポーター割合	R7年度12.7%(1,601/12,606名) 【全国: R7年度目標12.15%】

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)		4半期ごと目指す状態(スケジュール)	
①	認知症についての周知・啓発 ・認知症サポーター養成講座の実施(小学生、成人、地域や各団体へのアプローチ) ・世界アルツハイマー月間に合わせた、ケーブルTV放送。	第1	・サポーター養成講座のうちあわせ、日程、内容の決定。 ・サポーター養成講座案内作成、周知。 ・認知症初期集中支援契約、
②	認知症初期集中支援チームとの連携、活用 ・必要に応じて初期集中支援チームへ繋ぐ。 ・初期集中支援チーム内連携会議の開催。	第2	・小学校でサポーター養成講座の実施、事前事後アンケートまとめ。
③	認知症ケアパスの周知、活用 ・高齢者訪問、地域の集まり等で周知	第3	
④		第4	・次年度に向けて内容や時期等検討、チーム内連携会議の開催。

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日: 令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーター養成講座の打合せ実施。南小 6/12 北小 6/26、内容の決定。</li> <li>・サポーター養成講座の広報。(お知らせ版、LINE、tetoru、音声放送)</li> <li>・認知症初期集中支援の契約を厚生病院と締結。</li> <li>・各サロン等へ認知症ケアパスの周知 (いかまい会・吉田西サロンへの参加周知)</li> <li>・認知症サポーター養成講座開催(南小 6/27)</li> </ul>
第2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座開催(北小 7/3)</li> <li>・世界アルツハイマー月間に合わせた、ケーブル TV 放送(9/20~9/26)</li> </ul>
第3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出砂原地区(笑楽交)サロンにて(10/22)</li> <li>認知症ケアパスを用いて認知症の相談窓口、地域包括支援センターの周知</li> <li>・認知症サポーター養成講座開催(びすけっと職員 11/8)</li> </ul>
第4	

## 2. 令和7年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	障がいへの理解促進事業		種別	主
概要	啓発活動等を通じ、町民が、障がいや障がい者を理解する機会を提供することで、誰もが個人の尊厳を重んじられ、地域で同じように生活できるようにする。 あいサポーター研修や健康福祉の日を実施することによって、共生社会実現に向けた理解促進を図る。			
根拠法令等	障害者権利条約、障害者基本法、障害者差別解消法			
上位施策	記号と名称		目的	
	F1	福祉の実現 「人と人との支え合い」福祉の力	誰もが互いに尊重し、それぞれの価値観や特性、多様なあり方を受容し、理解し合える。 社会とのつながりを持ち、住み慣れた地域で生活することができる。 誰一人取り残されることのない、共生社会が実現される。	
担当課	健康福祉課		担当係	福祉係

1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民	障がいや障がい者を理解する。
(2)	
(3)	

2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 町民生活意識調査 「障がいのある人も無い人も、職場や地域で一緒に活動したり、過ごしたりすることができると思う町民の割合」	R4 年度 50.8%、R5 年度 44.6%、R6 年度 50.0% R11 年度 53.36%
B 町民に占めるあいサポーター割合	R4 年度 1.63%(210/12,811 名)、R5 年度 1.86%(237/12,686 名・27 増)、R6 年度 2.11%(266/12,606 名・29 増)※R7.1.29 時点、R11 年度 3.36%(416 /12,362 名) 【長野県:】R5.3.31 時点 3.57%(71,724 /2,007,647 名) R6.3.31 時点 3.67%(73,162 /1,991,977 名)

2. 単年度計画(令和 7 年度)

1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a あいサポーター意識調査	あいサポーターとして意識した行動ができた人の割合 80%
b 町民に占めるあいサポーター割合	R6 年度 2.11%(266/12,606 名・29 増)※R7.1.29 時点、 R7年度 2.34%(296 /12,606 名・30増)
c あいサポーター研修等開催回数	あいサポーター研修等2回開催。(健康福祉の日と併せて実施。)

2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	
①	理解促進の機会提供、周知、啓発。 ・健康福祉の日実施(健康係と連動) ※町内企業への働きかけを検討
②	あいサポーター研修 ・あいサポーター研修の実施 ・あいサポーター受講者意識調査
③	インクルーシブ遊具の設置検討。 ※建設課で予算措置。
④	

4 半期ごと目指す状態(スケジュール)	
第 1	あいサポーター研修等準備調整。 健康福祉の日の計画調整。 インクルーシブ遊具意見聴取。(随時)
第 2	あいサポーター研修等実施(随時) ※アンケート依頼
第 3	あいサポーター研修等実施(随時) ※アンケート依頼
第 4	次年度へ向けた内容の見直し検討

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	健康福祉の日「あい LaBo」(7/26 開催)の計画調整。 インクルーシブ遊具意見聴取。
第2	健康福祉の日「あい LaBo」(7/26 開催)
第3	インクルーシブ遊具の視察。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネージメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	タクシーを利用した外出支援事業		種別	主
概要	地域で同じように生活できるようタクシー利用の経済的に補助を行う。 (対象) ① 寿タクシー事業:令和元年に施行し、77歳(※)以上又は身障1.2級の方で運転免許証のない方の外出支援 (※)免許返納(おおよそ80歳)の促進をするため ② おでかけタクシー券支給事業:平成30年6月に施行し、65~77歳で家族全員免許がない、事業対象者~要介護者の方の外出支援 ③ 介護タクシー補助:令和元年7月に施行し、65歳以上で要介護4・5若しくは車椅子利用者の方の外出支援			
根拠法令等	高森町寿タクシー事業実施要綱 外出支援おでかけタクシー券交付事業実施要綱			
上位施策	記号と名称		目的	
	F	「人と人との支えあい」福祉の力	町民(誰もが互いに尊重し、それぞれの価値観や特性、多様なあり方を受容し、理解し合える。)	
			町民(社会とのつながりを持ち、住み慣れた地域で生活することができる。)	
		地域(誰一人取り残されることのない、共生社会が実現される。)		
担当課	健康福祉課	担当係	福祉係	

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 77歳以上のシニア(寿タクシー)	運転免許の有無や身体の状態に関わらず外出できる。
(2) 65歳以上で事業対象者~要支援者で外出手段がないシニア(おでかけタクシー)	身体的・経済的理由で外出ができない方が地域で同じように外出ができる。
(3) 重介護者(要介護4.5)とその家族(介護タクシー)	医療機関への受診と介護福祉サービスが受給できる。

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 75歳以上の自動車運転免許の返納者率(「期限失効」は含まない)	【実績】R3:1.8% R4:1.6% R5:2.1% 【指標】R11:2.6% 【算出方法】毎年0.1%の返納者率増
B	

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 自動車運転免許の返納数(「期限失効」は含まない)	「介護事業所や高齢者訪問と連携した対象者」の把握を行うことで必要な免許返納を促し、「タクシーが必要な人」が利用できる環境をつくる。指標値:免許返納者率0.1%増
b	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① ケアマネ連絡会での周知協力	第1 ケアマネ連絡会での周知協力(6月)
② おでかけタクシー券から寿タクシーへの引継ぎ	第2 おでかけタクシー券発行業務(6月) 寿タクシーへの引継ぎ業務(6月)
③ 利用実績まとめ予算検討アンケートの実施	第3 予算化(12月)
④ 各種支払い業務(毎月)	第4

# 令和 7 年度 事務事業マネージメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日: 令和 7 年 12 月 31 日

## 1. 令和 7 年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	4月18日開催のケアマネ連絡会にて周知を行い、第 1 期で新規申請者が 17 人となった。適正にタクシー利用が必要な方に利用いただけるよう取り組む。
第2	おでかけタクシー更新による年齢到達の方について、迅速に寿タクシーへの切り替えをおこなった。
第3	寿タクシー新規申請者数が 8 人となり、移動手段の確保につながっている。次回ケアマネ連絡会で再度周知を行う。
第4	

## 2. 令和 7 年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和 7 年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和 11 年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	たかもり ACE プロジェクト事業		種別	主
概要	食育講座の実施、健康教室の実施、健康ポイントの拡充、各種イベントでの周知活動。うましおプロジェクトを推進し、尿中塩分測定会を実施したり、デジタル塩分計を使用し、日ごろの塩分摂取量の測定する機会を設けることにより、減塩に対する意識を高める。健康センターあさぎりと連携し、介護予防教室や運動教室を実施することで、健康増進、フレイル予防・認知症予防を推進する。			
根拠法令等	健康増進法、食育基本法			
上位施策	記号と名称		目的	
	D	健康の実現 「こころもからだもいつまでも健康に」健康宣言	町民が自らの健康について主体的に考え、健康づくりを実践し、心身ともに健康な生活が送れるよう、情報提供、啓発活動、環境づくりに取り組み、行動変容を促進します。	
	F	福祉の実現 「人と人との支えあい」福祉の力	町民が社会とのつながりを持ち、住み慣れた地域で生活することができる。	
担当課	健康福祉課		担当係	健康係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民、高森町で働く人	健康に生活することができる。
(2) 町民、高森町で働く人	健康についての知識や意識を高め、自身の健康のための取り組みを実践することができる。

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 平均自立期間の延伸	現状値:R3~R5 年度平均:男性 80.4、女性 86.2 男性は R5 年度の県の平均である 81.4 を目指す。 女性はすべてにおいて平均より高いので、維持を目指す。
B 適正な食塩摂取	現状値:R6 年度 平均食塩摂取量 男性 8.9g/日、女性 8.9g/日 目標値:集団として平均男性 8.5g、女性 8.1g を目指す。 ※食事摂取基準 男性 7.5g 未満 女性 6.5g 未満 WHO5g 未満
C 高血糖の割合の減少 (HbA1c5.6 以上)	現状値:R6 年度 HbA1c5.6 以上 中学生 37% 目標値: 中学生 28%

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 身体活動量の増加	歩行又はそれと同等以上の身体活動を 1 日 1 時間以上行う者の割合 R5 現状値 52.1% →R7 目標値 55%(県平均)
b 食塩摂取量 12g 以上の者の減少	現状値:R6 年度 男性 8.6%、女性 8.9% 目標量の倍以上塩分を摂取している者の割合を減らす。男女ともに 7.5%を目指す。
c 高血糖の改善 (HbA1c5.6 以上)	現状値:R5 年度 前回より高血糖の改善が見られた中学生 63% 目標値 80%

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
① Action~運動によるアプローチ~ ・フレイル予防、健康づくりのための運動教室 健康センターあさぎり、インターバル速歩、アクトスペース尾陰由美子さん ・日頃の運動習慣、社会参加の推進 かきまる健康チャレンジ	第1 ・各所との打ち合わせ、準備 ・教室チラシ作成 ・セミナー募集
② Check~健診を受ける~ ・健診とりまとめ時や健診等での周知 ・教育委員会の事業と連携した周知 ・商工会と健康課題の共有	第2 ・健診の実施(尿中塩分検査) ・かきまるチャレンジの周知 ・食育会議、朝食アンケートの準備
③ Eat~食によるアプローチ~ ・うましおプロジェクトの推進 集団健診での尿中塩分測定の実施、保健指導 広報への掲載、LINE の活用、塩分計の活用 ・高血糖の改善 乳幼児健診・相談での糖のお話、展示 小中学生 生活習慣病予防の取り組み	第3 ・尿中塩分測定結果をもとに保健指導 ・朝食アンケートの実施 ・ボディメンテナンス教室実施
④	第4 ・年度の振り返り、評価 ・次年度に向けた方向性の検討

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育セミナーは打合せ実施後、6/19 から開始(親子参加 8 組)</li> <li>・健康教室に向け健康センターあさぎりとの打合せ実施。HEALTHPROJECT(インターバル速歩の実践からの健康づくりプログラム)を 5/11 から開始(19 名参加)</li> <li>・かきまる健康チャレンジの周知(6 月末 151 名参加)</li> <li>・6/30 食育推進会議を実施。</li> </ul>
第2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育アンケートに向け見直しを実施</li> <li>・健診の実施(尿中塩分検査 649 名)</li> <li>・かきまる健康チャレンジの周知(健診時、地域でのサロン)(9月末273名参加)</li> </ul>
第3	結果報告会(10 月 6、30、31 日)では、375 名に結果返却、保健指導の実施。朝食アンケートの配布完了。ボディメンテナンス教室 17 名/回を 11 月より開始。現在 2 回実施。年明けより、6 回実施予定。元気でいられる体づくり教室を11月から開始10人/回(全8回)定員すべて埋まっている。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	農地維持活動支援事業		種別	主
概要	町内農地の多面的機能維持・増進、また条件不利農地の維持及び荒廃化の抑制等のため取組活動を行う組織に対し補助金を交付。農用地・水路・農道の維持活動に係る経費を支援。 (地域計画)地域の大切な農地をどうやって守り、次の世代につないでいくかを地域の皆さんと話し合い、農業の将来を描いた計画である。計画の実現に向けて関係者及び各機関と連携し必要な事業、取り組み、支援を行う。			
根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律			
上位施策	記号と名称		目的	
	G1	「おいしい高森！」よろこび育む農業	農業の担い手が所得目標(農業従事者一人あたり450万円/新規就農者250万円)を達成する経営体となる 子どもが職業としての農業に魅力を感じることができる 農地が耕作されている、耕作できる状態にある	
担当課	産業課		担当係	営農支援センター

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 日本型直払協定農地	農地が適正に保全されている
(2) 補助金を活用し地域で活動する農業組織	補助金の交付を受けることができる
(3) 地域計画	適切に管理・運用され、必要な事業・支援が実施されている

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 補助事業を活用し地域で活動する農業組織の補助金受給率	現状:100%(計 48 組織) 目標:100% 各組織が活動できていることで、多くの農地が管理されていると判断できる。
B 地域計画の大規模見直しを終了した地区数	7 行政区(15 地域) 5 年に1度大規模見直しを行うこととされており、全計画地域である 7 行政区(15 地域)で大規模見直しを終了すれば、適切に管理・運用されている状態といえる。
C 地域計画策定農地で 10 年後の耕作者が未定の農地割合	現状 集計中 →令和 11 年度末 0% 地域計画内の全ての農地の 10 年後の耕作者がマッチングできた状態になれば地域計画に基づき農業が出来ていると判断できる。

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 補助事業を活用し地域で活動する農業組織の補助金受給率	現状:100%(計 48 組織) 目標:100% 各組織が活動できていることで、多くの農地が管理されていると判断できる。
b 地域計画協議の場開催回数	7 行政区(15 地域)において年 1 回。 最低年 1 回協議の場を開催し見直しが行われれば適切に管理・運用されている状態と言える。
c 地域計画策定農地で 10 年後の耕作者が未定の農地割合	現状 集計中 →令和 7 年度末 現状維持 耕作者未定の農地の割合が増加しない事は、新たな遊休農地が発生していない状態と言える。

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	
①	補助金手続き 農地の管理状況について現地確認の実施
②	交付金の使途や手続きについての相談受 情報共有(組織向けの研修会の実施等)
③	農業委員会、地域、農業者、農業生産組合など 関係者との話し合いなどを実施
④	農地中間管理事業による農地の貸借

4 半期ごと目指す状態(スケジュール)	
第 1	実施計画策定 計画の認定 地域計画が町民、農業関係者に周知されている。
第 2	多面的広域協定運営委員会の開催 返還事前協議(多面的)
第 3	補助金交付事務、返還協議(多面的・中山間) 利用権の更新案件が、農地中間管理事業に移行出来ている。
第 4	補助金交付事務、返還手続き、現地確認 7 行政区(15 地域)で協議の場が開催され計画の見直しが出来ている。

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	・多面的機能支払 総会を開催。・耕作放棄地再生補助金 申請1件。 ・地域計画の協議の場を農閑期(1~2月頃)での実施決定。区長会通じて日程調整。
第2	・多面的機能支払:技術研修会及び第2回運営委員会開催、各組織へ第1回交付(9月中旬) ・中山間直接支払:各集落個別説明会(7月下旬)、協定書提出取りまとめ(8月末まで)
第3	・中山間直接支払:県抽出検査(10月14日)、対象農地現地確認(10月中旬) ・地域計画:協議の場開催に向けて実施方法を検討、農業委員会へ協議(12月総会時)
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和 7 年度 事務事業マネージメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	青年就農者定着支援事業	種別	主
概要	担い手不足の解消や農業活性化を図るため、新規就農者(特に若手農業者)確保を目的として重点的な支援を行う。		
根拠法令等	農業経営基盤強化促進法／農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想／高森町青年等就農計画認定委員会設置要領／高森町新規就農者育成総合対策事業費交付要綱		
上位施策	記号と名称		目的
	G1	「おいしい高森！」よろこび育む農業	農業の担い手が所得目標(農業従事者一人あたり450万円／新規就農者250万円)を達成する経営体となる 子どもが職業としての農業に魅力を感じることができる 農地が耕作されている、耕作できる状態にある
担当課	産業課	担当係	営農支援センター

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 新規就農者	必要な補助事業を活用できる／所得目標 250 万円を実現する
(2) 就農希望者	高森町を含む南信州で就農ができる
(3) 農地	新規就農者により耕作され、農地の維持が行えている

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 補助事業を活用する(した)新規就農者(累計)	現状／26名 目標／31名(1年に+1名以上) 補助事業を活用することが、新規就農者の安定した農業経営の下支えとなると判断できる。
B 農業研修生(累計)	現状／6名 目標／11名(1年に+1名以上) 計画的な農業研修生の受け入れにより、新規就農者の継続した確保が行える。

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 補助事業を活用する(した)新規就農者(年度末累計)	現状／26名 目標／28名(新規2名) 補助事業を活用することが、新規就農者の安定した農業経営の下支えとなると判断できる。
b 農業研修生(年度末累計)	現状／6名 目標／7名(新規採用1名) 計画的な農業研修生の受け入れにより、新規就農者の継続した確保が行える。
c	

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 補助事業の活用希望者を把握し、可能な補助事業を案内、要望する	第1 農経協総会
② 新規就農者との連絡相談窓口となり、適切な補助金等の交付や地域計画に基づく農地あつ旋を行う	第2 補助金交付 就農相談会への参加
③ 地域おこし協力隊(農業研修生)が必要な活動が行えるよう支援する	第3 青年等就農計画作成支援(就農予定者) 次年度研修生(地域おこし協力隊)募集
④ 南信州担い手プロデュースに参画し、継続した新規就農者の確保に努める	第4 次年度要望把握 補助金交付

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和 7 年 12 月 31 日

## 1. 令和 7 年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	・新規研修生 1 名を受入。・新規就農相談案件 6 件。・農経協総会開催(4/18) ・令和 7 年度新規就農者への補助事業採択 3 件。
第2	・就農相談会(7/6 東京)参加。・来年度新規研修希望者との面談(担い手P1 名、里親 1 名) ・新規就農相談案件 4 件。
第3	・青年等就農計画認定 新規申請受理 2 件(第 4 四半期で、更に新規 1 件を予定) ・新規就農相談案件 1 件。・R8 年度協力隊(農業研修生)募集開始
第4	

## 2. 令和 7 年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和 7 年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和 11 年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和 7 年度 事務事業マネージメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	市田柿振興事業		種別	主
概要	高森町固有の価値である「市田柿発祥の里」としての知名度向上、市田柿の普及促進、加工品の普及支援等を図る。 R7 年度より、町単補助「農業振興補助金(仮称)」を創設し、更新時期を迎える柿むき機の補助を予定。			
根拠法令等	高森町市田柿発祥の里活用推進協議会規約			
上位施策	記号と名称		目的	
	G1	「おいしい高森！」よろこび育む農業	農業の担い手が所得目標(農業従事者一人あたり450万円/新規就農者250万円)を達成する経営体となる	
			子どもが職業としての農業に魅力を感じることができる	
		農地が耕作されている、耕作できる状態にある		
担当課	産業課		担当係	営農支援センター

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民	市田柿が町の特産として、誇りに思うことができる
(2) 市田柿	市田柿の産地・発祥の里が南信州・高森町であると認知される
(3)	

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 協議会事業執行率	現状/100%(5件) → 目標/100% 協議会事業が行われることで、市田柿の普及促進につながると判断できる。
B	

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 協議会事業執行率	現状/100%(5件) → 目標/100% 協議会事業が行われることで、市田柿の普及促進につながると判断できる。
b	
c	

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 協議会の開催	第1 総会の開催 補助事業の制度設計
② 協議会事業の運営	第2 協議会事業の実施 補助事業の交付決定
③ 農業振興補助金(仮称)の制度化。 補助手続きを行う。	第3 協議会事業の実施
④	第4 協議会事業の実施 補助事業の交付完了

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	・市田柿発祥の里活用推進協議会の幹事会開催。課題の解決に至らず総会は未開催。 ・補助事業の制度設計未完。早急な対応が必要。
第2	・市田柿発祥の里活用推進協議会 総会開催(9月末)、本年度PR等の取り組みスタート。 ・町補助事業の制度化と周知開始(9月)→農業用機械施設等全般を対象とした制度へ拡充 ・国産パワ事業(柿剥き機導入支援)着手に向けた関係市町村協議(8月)
第3	・協議会事業執行:2026 市田柿カレンダー発行、市田柿フォトコンテスト(応募総数 40点)、 12月1日市田柿の日 PR
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	有害鳥獣駆除等事業		種別	主
概要	本事業は、有害鳥獣による農作物被害や生活環境被害を軽減し、地域の住民生活および農業の安定に寄与することを目的としています。また、駆除活動を通じて地域の生態系バランスの維持を図り、持続可能な自然環境の保全を目指します。			
根拠法令等	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律(鳥獣保護法)</li> <li>長野県鳥獣被害防止計画</li> <li>高森町鳥獣被害防止計画</li> </ul>			
上位施策	記号と名称		目的	
	G1	「おいしい高森！」よろこび育む農業	農業の担い手が所得目標(農業従事者一人あたり450万円/新規就農者250万円)を達成する経営体となる 子どもが職業として農業に魅力とやりがいを感じることができる 農地が耕作されている(耕作できる状態にある)	
担当課	産業課		担当係	営農支援センター

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 農地、森林	農林業の被害軽減
(2) 住民	安全・安心な生活の確保
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 有害鳥獣被害	農作物被害額の減少 R5:257万円→R11:227万円(5万円/年の減少)
B 有害鳥獣対策従事者数	R6:猟友会人数 28人 →R11:28人(新規加入を促進しつつ現状を維持する)

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 有害鳥獣被害	農作物被害額の減少 R5:257万円→R7:247万円
b 有害鳥獣対策従事者数 →周知の回数	R6:猟友会人数 28人 →R7:28人
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 動物駆逐用煙火使用講習会	第1 狩猟免許取得案内 町有害鳥獣対策協議会の実施 有害鳥獣侵入防止柵維持管理会議の実施
② 有害鳥獣侵入防止柵維持管理会議	第2 動物駆逐用煙火使用講習会の実施
③ 有害鳥獣対策協議会事務局	第3 有害鳥獣対策協議会補助金交付 狩猟免許取得案内
④ 狩猟免許取得案内	第4 国県補助事業精算収入事務 有害鳥獣対策協議会年度締め事務

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	狩猟免許の取得案内実施(農家組合会議時) 有害鳥獣侵入防止柵維持管理会議を実施 町有害鳥獣対策協議会の開催準備中(7月下旬実施予定)
第2	・町有害鳥獣対策協議会を開催(7月23日) ・鳥獣等駆逐用煙火講習を実施(1回目:9月26日)
第3	・ツキノワグマゾーニング管理導入に向けて、ゾーニング案作成に着手 ・緊急銃猟制度への対応(マニュアル作成等に向けた情報収集・準備) ・各種補助事業(物品調達等)の発注、契約
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	商工会による商工業振興活動支援事業		種別	主
概要	商工会の健全な運営を支援し、地域産業の活性化を行います。 商工会の活動に補助金を交付する事務を行います。 高森町商工会商工業振興事業 目的:新たな事業所の増加、雇用の増加、納税金額の増加 事業内容:経営改善普及事業、地域振興事業			
根拠法令等				
上位施策	記号と名称		目的	
	G2	「栄える、引きつぐ営み」 「働く=楽しい」みんなが働きやすい町へ	商工業者(経営者)が雇用を確保し、安定して事業を継続できる 勤労者がこの地域で安心して働き続けることができる 自分の夢を描きキャリアに関して自己実現できる 求職者がこの地域でなりたい職業の選択肢がある	
担当課	産業課	担当係	商工観光係	

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 商工会員	商工会活動を通じて事業を継続できる
(2) 商工業者	商工会を通じて健全に運営されている
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 商工会の事業者に対するフォローアップ数	44者(R7度~R11度実績の合計)
B 売上高増加事業者数	44者(R7度~R11度実績の合計)

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 商工会の事業者に対するフォローアップ数	7者(認定経営発達支援計画より)
b 売上高増加事業者数	3者(認定経営発達支援計画より)
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 前年度事業の町監査委員監査	第1 補助金の交付が決定している
② 次年度取組みに向け商工会との意見交換	第2 補助金の概算払いが完了している
③ 補助金支払い事務	第3 次年度に向け、商工会の実施事業が精査されている
④ 町と商工会との共同事業に関する検討	第4 補助金の精算払いが完了している

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	補助金の交付が決定している 補助金の概算払いが完了している 市田灯ろう流しに向け盛り上がっている
第2	補助金の概算払いが完了している 市田灯ろう流しで、商業部会・壮青年部が事業を展開し大変盛り上がった
第3	補助金の概算払いが完了している 新年度予算要求を受け付けた
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
a~c 平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	創業・企業支援事業		種別	主
概要	町内への企業立地を促進 ・企業立地促進条例の運用 ※予算なし ・先端設備導入計画の認定 ※予算なし ・空き店舗等活用事業補助 ・創業支援(アントレプレナー) ※予算なし			
根拠法令等	・産業競争力強化法 ・産業競争力強化法施行規則 ・中小企業等経営強化法 ・高森町企業等立地の促進に関する条例 ・高森町企業等立地の促進に関する条例施行規則 ・認定創業支援等事業計画 ・導入促進基本計画			
上位施策	記号と名称		目的	
	G2	「栄える、引きつぐ営み」 「働く＝楽しい」みんなが 働きやすい町へ	商工業者(経営者)が雇用を確保し、安定して事業を継続できる 勤労者がこの地域で安心して働き続けることができる 自分の夢を描きキャリアに関して自己実現できる 求職者がこの地域でなりたい職業の選択肢がある	
担当課	産業課		担当係	商工観光係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 商工業者	高森町へ立地し事業を営むことができる
(2) 創業希望者	高森町で創業し、事業を営むことができる
(3)	

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 創業支援対象者数	R5:6 件(受付件数)→R11:50 件(R7-12 の計) 認定創業支援等事業計画目標より
B 実際の創業者数	R5:4 件(創業支援得ての創業)→R11:15 件(R7-12 の計) 認定創業支援等事業計画目標より

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 創業支援対象者数	R5:6 件(受付件数)→10 件 認定創業支援等事業計画目標より
b 実際の創業者数	R5:4 件(創業支援得ての創業)→3 件以上 認定創業支援等事業計画目標より
c	

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
① ・創業者への支援実施 商工会・保証協会・金融機関等による支援	第1 創業希望者への支援ができている 創業希望者が実際に創業する
② ・空き店舗等活用事業補助業務	第2 創業希望者への支援ができている 創業希望者が実際に創業する
③	第3 創業希望者への支援ができている 創業希望者が実際に創業する
④	第4 創業希望者への支援ができている 創業希望者が実際に創業する

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	支援者3名、認定者1名(累計) 随時アントレプレナー支援会議を実施
第2	支援者4名、認定者2名(累計) 随時アントレプレナー支援会議を実施
第3	支援者6名、認定者3名(累計) 随時アントレプレナー支援会議を実施
第4	

## 2. 令和7年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)

①

②

③

④

2) 目標の達成度

指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
a~c 平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		

3) 取り組みの効果の確認

※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)

2) 次年度の事務事業のあり方

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	地球温暖化防止推進事業		種別	主
概要	令和3年3月、高森町と高森町議会は共同で長野県高森町ゼロカーボンシティ宣言を表明。町民・事業者・民間団体・行政等が、地球温暖化に対して防止対策を実践する。町内の関係者が情報共有する場として、R5年に協議会を発足。			
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律			
上位施策	記号と名称		目的	
	H1	今より優しい生活「未来へつなぐ自然環境」	町民・事業者がゼロカーボンへの関心を持ち、取り組みをする	
			町民がごみに関心を持ち、排出を減らす	
		子ども(町民)が環境分野に関心を持つ		
担当課	環境水道課		担当係	環境係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民・事業者	ゼロカーボンへの関心を持ち、取り組みをする
(2) 町民・事業者・行政	地球温暖化対策を推進し、温室効果ガスを削減する
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 太陽光発電導入量	R6:348.86kW。R11:1,500kW。根拠 300kW×5年。R6は大規模事業所に補助したため、通常の導入量を見込む。町内小中学校・クラブハウスに電気を供給できる量を想定。
B 蓄電池導入量	R6:157.5kW。R11:600kW。根拠 120kW×5年。R6は大規模事業所に補助したため、通常の蓄電量を見込む。電気の自家消費率を上げることで、CO2発生量を減らす。

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 太陽光発電導入量	R6:348.86kW。R7:300kW。R6は大規模事業所に補助したため、通常の発電量を見込む。概ね町内小学校・クラブハウスに電気を供給できる量を想定。
b 蓄電池導入量	R6:157.5kW。R7:120kW。R6は大規模事業所に補助したため、通常の蓄電量を見込む。電気の自家消費率を上げることで、CO2発生量を減らす。
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 企業CO2見える化支援	第1 4月に企業CO2見える化支援のプロポーザルに取り組む。補助制度の受付開始。5月までに協議会を開催。
② 太陽光発電・蓄電池補助	第2 7月までに企業CO2見える化支援の企業を募集。環境メッセ・ふるさと祭りに申し込む。
③ ふるさと祭り・南信州環境メッセに出展	第3 10月までに企業CO2見える化支援の取り組み開始。ふるさと祭り・環境メッセに出展。11月までに協議会を開催。
④ カーボンニュートラル推進連絡協議会開催	第4

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	4月に CO2 見える化のプロポーザル、補助制度の受付を開始した。協議会は、CO2 見える化に関連して、7月に開催予定。
第2	CO2 見える化に3社の申し込みがあり、取り組みを開始。補助制度は受付中。7月8日に協議会を開催して、情報を共有した。ふるさと祭り・環境メッセに申し込みをした。
第3	CO2 見える化の取り組みを開始。ふるさと祭り・環境メッセに出展した。11月20日にカーボンニュートラル推進連絡協議会を開催した。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a	ゼロカーボン補助金申請者数(太陽光発電) R6:19 件。R11:100 件。毎年 20 件の導入を見込む。町内小中学校・クラブハウスに電気を供給できる件数を想定。	
b	ゼロカーボン補助金申請者数(蓄電池) R6:14 件。R11:75 件。電気の自家消費率を上げることで、CO2 発生量を減らす。毎年 15 件の導入を見込む。	
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A	ゼロカーボン補助金申請者数(太陽光発電) R6:19 件。R7:20 件。前年度よりも導入件数を増やす。町内小中学校・クラブハウスに電気を供給できる件数を想定。	
B	ゼロカーボン補助金申請者数(蓄電池) R6:14 件。R7:15 件。前年度よりも導入件数を増やす。電気の自家消費率を上げることで、CO2 発生量を減らす。	
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネージメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	一般廃棄物収集処理事業		種別	主
概要	町内から出る一般廃棄物を町が収集・処理する。資源ごみ及び埋め立てごみは、37箇所のステーションから、毎月1回収集。プラスチック資源ごみは37箇所の収集ステーションから、毎週収集。燃やすごみは、172箇所のステーションから週3回収集する。その他、小型家電・粗大ごみや有害ごみ、古着などの収集をしている。			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
上位施策	記号と名称		目的	
	H1	今より優しい生活「未来へつなぐ自然環境	町民・事業者がゼロカーボンへの関心を持ち、取り組みをする	
			町民がごみに関心を持ち、排出を減らす	
		子ども(町民)が環境分野に関心を持つ		
担当課	環境水道課		担当係	環境係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民	ごみを適切に排出する
(2) 一般廃棄物	適切に収集・処理される
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 町民1人1日当たりのごみ排出量	R5:460g。R11:454g。現状でも非常に少ない数値であり、世帯数増加・世帯人数減少により、大幅な削減は難しい。現状よりも減らすことを目標とする。
B 町民1人1日当たりのごみ排出全国順位	R5:12位。R11:10位。現状でも非常に高い順位であるため、今よりも順位を上昇させることを目標とする。
C ごみ分別促進アプリ「さんあ〜る」※の登録者数(年度末3月31日の数)	R6.1.9 現在 2,244人。R11:2,554人。1ヶ月に5人の登録を見込む。町民の20%が導入していることを目指す。

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 町民1人1日当たりのごみ排出量	R5:460g。R7:458g。現状でも非常に少ない数値であり、世帯数増加・世帯人数減少により、大幅な削減は難しい。現状よりも減らすことを目標とする。
b 町民1人1日当たりのごみ排出全国順位	R5:12位。R7:12位。現状でも非常に高い順位であるため、現状を維持する。
c ごみ分別促進アプリ「さんあ〜る」※の登録者数(年度末3月31日の数)	R6.1.9 現在 2,244人。R7:2,314人。1ヶ月に5人の登録を見込む。

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① ごみの収集	第1 通年、一般廃棄物の収集運搬、処分をする。4月に環境保全委員会を開催する。
② 環境保全委員会開催	第2 生ごみ処理実証実験の申し込みを受け付ける。
③ ごみ収集カレンダー作成	第3 10月に第2回環境保全委員会を開催する。生ごみ処理実証実験を開始。
④ 生ごみ処理実証実験	第4 ごみ収集カレンダーを作成し、年度内に全戸配布する。年度内に燃やすごみステーションの賃借料を支払う。

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	計画に基づいて、一般廃棄物の収集運搬、処分をした。4月11日に環境保全委員会を開催。
第2	計画に基づいて、一般廃棄物の収集運搬、処分をした。7月に生ごみ処理実証実験の申し込みを受け付け、実施するための準備をした。
第3	10月9日に環境保全委員会を開催。11月25日から生ごみ処理実証実験を開始した。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	環境学習推進事業		種別	主
概要	豊かな自然や地球温暖化防止、環境について学び、関心を持つため、啓発や学習会等を実施する。子どもを中心に幅広い年代を対象とする。広報高森やホームページ等を用いて情報を提供する。			
根拠法令等	環境基本法、地球温暖化対策の推進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律			
上位施策	記号と名称		目的	
	H1	今より優しい生活「未来へつなぐ自然環境	町民・事業者がゼロカーボンへの関心を持ち、取り組みをする 町民がごみに関心を持ち、排出を減らす 子ども(町民)が環境分野に関心を持つ	
担当課	環境水道課		担当係	環境係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 子ども(町民)	環境分野に関心を持つ
(2)	
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 小学校で実施する授業時間	高森南小学校2時間(2コマ)・高森北小学校1時間(1コマ) ゼロカーボンに関する授業時間
B イベント開催回数	R5:6回。R11:7回。ふるさと祭り、環境メッセ、小学校ゼロカーボン授業(各校1回:計2回)、生きものしらべ2回、ゼロカーボン学習会1回を想定。

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 小学校で実施する授業時間	高森南小学校2時間(2コマ)・高森北小学校1時間(1コマ) ゼロカーボンに関する授業時間
b イベント開催回数	R5:6回。R7:7回。ふるさと祭り、環境メッセ、小学校ゼロカーボン授業(各校1回:計2回)、生きものしらべ2回、ゼロカーボン学習会1回を想定。※環境メッセが開催されない場合、1回減らす。
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)		4半期ごと目指す状態(スケジュール)	
①	広報高森へのゼロカーボンたかもり掲載	第1	広報高森へのゼロカーボンたかもり掲載を毎月する。
②	たかもり生きものしらべの実施	第2	夏を中心にたかもり生きものしらべを実施。
③	小学校ゼロカーボン学習会	第3	12月までを目安に小学校ゼロカーボン学習会・親子向けゼロカーボン学習会を実施。
④	親子向けゼロカーボン学習会	第4	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	毎月、広報高森にゼロカーボンたかもりを掲載した。
第2	毎月、広報高森にゼロカーボンたかもりを掲載。7月12日生きものしらべ(魚とり)、8月8日(水生生物観察会)、9月15日ゼロカーボン学習会を開催。小学校授業の段取りをした。
第3	10月に小学校のゼロカーボン授業、9月15日にゼロカーボン学習会を実施した。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	私有林整備支援事業		種別	主
概要	<p>本事業は、私有林の適切な管理・整備を推進することで、森林資源の持続可能な利用を図り、地域の環境保全および災害防止に寄与することを目的としています。あわせて、森林所有者の意識啓発や技術支援を通じて、地域経済の活性化を目指します。</p>			
根拠法令等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林法</li> <li>・森林環境税および森林環境譲与税に関する法律</li> <li>・地域でおこなう竹林整備事業補助金要綱</li> <li>・高森町支障木伐採除去事業補助金要綱</li> </ul>			
上位施策	記号と名称		目的	
	H2	「緑はいのちの源」森と林のメンテナンス	<p>町内森林が高森町森林整備計画に基づき整備(伐採、維持管理等)されている</p> <p>段丘林が防災減災、景観、環境面などから問題のある場所が整備(伐採、植林、維持管理等)されている</p> <p>山林所有者が所有森林を放置することなく適切に維持管理する。</p>	
担当課	産業課		担当係	農林業係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 整備が必要な私有林(個人有林) 面積:496.93ha	整備され景観が良くなる、安全性が確保される
(2)	
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 整備された竹林面積	竹林の比率 令和5年度 0.26% → 令和11年度 1.82% (全体面積に対する整備割合)
B	私有林全体の面積に対して整備した竹林の面積 12,950㎡

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 整備された竹林面積	竹林の比率 令和5年度 0.26% → 令和7年度 0.88% (全体面積に対する整備割合)
b	私有林全体の面積に対して整備した竹林の面積 43,950㎡
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 支障木伐採除去事業補助金交付	第1 交付確定者へ補助金の支払いができています。
② 地域でおこなう竹林整備事業補助金交付	第2 交付確定者へ補助金の支払いができています。
③ 森林造成事業の嵩上補助、林床整理伐支援事業	第3 交付確定者へ補助金の支払いができています。
④	第4 交付確定者へ補助金の支払いができています。

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和 7 年 12 月 31 日

## 1. 令和 7 年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	町単各種補助事業の申請受理から、事業実施等確認、補助金交付確定、支払いまでの事務手続を実施
第2	町単各種補助事業の申請受理から、事業実施等確認、補助金交付確定、支払いまでの事務手続を実施
第3	町単各種補助事業の申請受理から、事業実施等確認、補助金交付確定、支払いまでの事務手続を実施 森林経営管理制度に伴う意向調査業務実施中
第4	

## 2. 令和 7 年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和 7 年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和 11 年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)			
2)次年度の事務事業のあり方			
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由		
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由		
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由		
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由		

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年2月 14 日

事務事業名	町有林保育事業		種別	主
概要	高森町森林整備計画に基づき、町有林の適正な保育事業を実施します。担当者は保育が必要な林分を把握し、必要な施業(間伐、下刈等)を計画。森林組合に事業委託し、施工監理を行います。設計・施工監理から補助金申請事務について担当します。令和 6 年度からは、森林整備事業(国県補助)、森林環境譲与税活用事業、町有林保育事業(分収造林)が統合されました。 2050 年カーボンニュートラルアクションプランによる取り組みとして森林吸収対策及び災害防止対策として、町有林の施業の集約化、森林整備を通じて健全な森林づくりに着実に取り組みます。			
根拠法令等	森林法第 5 条・第 10 条の 5、森林・林業基本法第 2 条・9 条、高森町森林整備計画 第 3 次高森町環境基本計画、2050 年カーボンニュートラルアクションプラン			
上位施策	記号と名称		目的	
	H2	「緑はいのちの源」森と林のメンテナンス	町内森林が高森町森林整備計画に基づき整備(伐採、維持管理等)されている 段丘林が防災減災、景観、環境面などから問題のある場所が整備(伐採、植林、維持管理等)されている 山林所有者が所有森林を放置することなく適切に維持管理する。	
担当課	産業課		担当係	農林業係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町有林	継続して維持管理されている。
(2) 登山道	安全に利用できる。
(3)	

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 森林造成事業等(実績面積/計画面積)%	R6:100%→R11:100% 年次ごと計画的に事業執行されれば適切に事業執行されていると判断できる。
B	

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 森林造成事業(経営計画)(実績面積/計画面積)%	R6:100%→R7:100% 年次ごと計画的に事業執行されれば適切に事業執行されていると判断できる。
b 森林整備事業(国県事業)(実績/計画)%	R6:100%→R7:100% 計画数に対し実績(継続)数が伴っていれば適切に事業執行されていると判断できる。
c	

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 森林造成事業(経営計画)	第 1 各種事業を事業執行する
② 森林環境譲与税活用事業	第 2 登山道維持管理事業を発注する。
③ 市町村森林整備支援事業(県森林税事業)	第 3 次年度予算編成に向けて準備する
④ 町有林等保育事業(分収造林) R7 は未実施	第 4 予算編成が完了する 執行中事業が完了する

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	森林経営計画に基づく森林造成事業の申込み済(施業者は森林組合)
第2	森林経営計画に基づく森林造成事業の申込み済(施業者は森林組合) 登山道維持管理事業の発注完了し施工中 町有林保育事業 宮坂地区、小原唐沢地区の刈払第1回目完了
第3	森林経営計画に基づく森林造成事業の実施中(施業者は森林組合で一部完了) 登山道維持管理事業完了 町有林保育事業 宮坂地区、小原唐沢地区の刈払等各2回完了 市町村森林整備支援事業実施中(森林づくり県民税活用事業)
第4	

## 2. 令和7年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	防災・減災対策事業	種別	主
概要	<p>《開始動機・時期》 全国的に大規模な自然災害が多発する中、高森町も他人事ではない。いざという時に町民や自主防災組織が「自分達の命を自分達で守る」ことができるよう、町民は平時は防災訓練や講演会等を自発的に企画し参加することで「自助・共助」力を向上させる。また、町は町民に訓練の企画支援や学習機会を提供するほか、有事には災害対策本部の指揮で「公助」による支援が適切に機能する体制の構築を目指す。</p> <p>《事業概要》 ・災害有事対応 ・各種防災関連計画策定 ・ハザードマップ整備 ・災害応援協定 ・防災士養成 ・防災関連システム維持管理 ・防災学習機会の提供 ・町防災備蓄 他</p>		
根拠法令等	<p>・災害対策基本法 ・防災基本計画 ・長野県地域防災計画 ・高森町地域防災計画(平成12年策定・令和6年4月改訂)</p>		
上位施策	記号と名称		目的
	I1	「いつも備えて」災害に強いまちづくり	<p>町民が自然災害や火災から自分と家族を守る(自助)</p> <p>地域が自然災害や火災から地域住民を守る(共助)</p> <p>町が自然災害や火災に備える(公助)</p>
担当課	総務課	担当係	防災安全係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民	自助意識が高まり自分や家族の命を守る防災行動がとれる
(2) 地域	自助力を基盤として共助の力で住民を守り支える
(3) 町	備蓄や計画(仕組み)で災害に備え町民を守り支える

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 3日分程度の食料備蓄をしている町民の割合:66%	<p>家庭単位で取り組む防災行動のうち、食料等の備蓄が最も取り組み易い※ことから、あらゆる防災行動に繋がる入口(きっかけ)と位置づけ推進する。最新の R6 町民意識調査の結果は50.8%で、H28 時点の38.8%から8年間で12%(年平均1.5%)しか増加していないことから、その倍に当たる年平均3%(5年間で15%)の増加を目指す。</p> <p>※全国的にも取組割合が最も高い項目。(防災に関する世論調査)</p>
B 町防災備蓄目標に対する充足率:100%	町直営避難所を3日間運営するのに必要な備蓄品の数量目標に対し100%充足を目指して毎年10%ずつ計画的に上積み。

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 3日分程度の食料備蓄をしている町民の割合:54%以上	R6 町民意識調査の結果(50.8%)から3%増加。
b 自主防災組織への防災士配置率:100%(全21地区)	R6年12月時点の防災士資格保有者の居住地に基づき、防災士が1人以上いる地区の割合は76%(16地区)。
c 町防災備蓄目標:充足率60%	年次的に10%増を目指すことにより目標達成を目指す。

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① マイ・タイムラインやハザードマップを使い、家族で災害への対策や具体的な防災行動について、定期的に話し合う機会を用意する。(例:毎月●日は「我が家の防災デー」)	第1 ①「我が家の防災デー」の素案作成
② 備蓄品の状態を定期的に確認し、ローリングストックされる仕組みとして「我が家の防災デー」を活用。(防災行動の習慣化)	第2 ①「我が家の防災デー」試行 ③防災士派遣を防災士会で検討 ④「防災備蓄計画(仮称)」の素案完成
③ 防災士会から自主防災組織に防災士を派遣し連携する対組織同士の仕組みを構築。(防災士個人に過度に責任や負担を集中させないルール作りとセット)	第3 ③防災士派遣の仕組み(素案)完成 ④「防災備蓄計画(仮称)」完成
④ 「防災備蓄計画(仮称)」を策定し、R11末までの購入及び更新スケジュールを作成する。	第4 ③防災士と自主防災組織の連携開始 ④防災備蓄計画に基づく備蓄品の購入

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	未実施
第2	・「我が家の防災デー」…未試行 ・防災士会による防災士の地域派遣…地区担当制の検討に着手済み ・「防災備蓄計画(仮称)」…計画の基となる基準やルール等は作成済み
第3	・「我が家の防災デー」…素案完成 ・防災士会による防災士の地域派遣…具体的な運用方法を防災士会運営委員会で検討。 ・「防災備蓄計画(仮称)」…素案完成
第4	

## 2. 令和7年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和 7 年度 事務事業マネージメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	地域消防施設整備支援事業		種別	主
概要	《開始動機・時期》 地域の消防力強化のため、地域が自ら管理する消防施設の整備費用について、町が支援を行う。  《事業概要》 消防施設補助金交付要綱に基づき自主防災組織から申請があった事業に対して、内容を審査し適正であれば補助金を支給する。			
根拠法令等	・消防施設補助金交付要綱			
上位施策	記号と名称		目的	
	I1	「いつも備えて」災害に強いまちづくり	町民が自然災害や火災から自分と家族を守る(自助)	
			地域が自然災害や火災から地域住民を守る(共助)	
		町が自然災害や火災に備える(公助)		
担当課	総務課		担当係	防災安全係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民(地域)	地区計画を通じた一定の裁量の中で、町の支援を受けながら安定的かつ継続的に地域が自ら管理する消防施設の整備を行うことができる。
(2)	
(3)	

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 地域管理の消防施設のうち町ヒアリングを経た地区計画による整備計画に基づいて行った整備に対する支援:100%	地区計画を通じた一定の裁量の中で、地域が自ら管理する消防施設の整備を安定的かつ継続的に進めるよう支援する。
B	

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 地域管理の消防施設のうち町ヒアリングを経た地区計画による整備計画に基づいて行った整備に対する支援:100%	地区計画を通じた一定の裁量の中で、地域が自ら管理する消防施設の整備を安定的かつ継続的に進めるよう支援する。
b	
c	

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 地域が自ら管理する消防施設の整備について意向を確認	第1 ③予算執行
② 把握した意向を元に事業費を積算し予算化	第2 ③予算執行
③ 事業の実施(予算執行)	第3 ①地区計画ヒアリングにより消防施設整備に係る地域の意向を把握 ②ヒアリング結果を元に必要に応じて予算化
④	第4

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	・地元代表者(区長)に対して資料を用いて事業概要を説明。 ・補助金交付申請受付及び交付決定数…1件、補助金実績報告受付及び額確定数…0件
第2	・補助金交付申請受付及び交付決定数…1件、補助金実績報告受付及び額確定数…0件
第3	・各区にヒアリングを実施し地域の意向を把握。必要性等を勘案しR8 予算に計上。 ・補助金交付申請受付及び交付決定数…1件、補助金実績報告受付及び額確定数…1件
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)	
①	
②	
③	
④	
2)目標の達成度	
指標	令和7年度末の状況
	実績
a	達成度
b	
c	
(1)~(3)平均	
指標	令和7年度末実績
A	令和11年度末実績・達成度
B	
AB 平均	
3)取り組みの効果の確認	
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。	

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)	
2)次年度の事務事業のあり方	
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由
目的	変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 変更内容・理由
目標	変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 変更内容・理由
取り組み	変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 変更内容・理由

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	消防施設整備事業		種別	主
概要	<p>《事業概要》 町民(地域)が地区計画を通じた一定の裁量の下で、町の支援を受けながら安定的かつ継続的に地域内の消防施設の整備を行うことを目的とし、主に次の3点を実施。 ①町が保有し消防団が管理する消防施設(小型ポンプ付積載車、消防自動車、消防団車庫)の購入及び工事発注等の業務。 ②地元が保有する消防施設(消防団詰所、消防水利としての防火水槽)を新設する場合の工事発注等の業務。 ③公共上水道を供給水源とする消火栓の設置。</p>			
根拠法令等	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防組織法(昭和22年法律第226号)</li> <li>消防水利の基準(昭和39年12月10日 消防庁告示第7号)</li> <li>高森町消防団規則(昭和39年3月25日規則第4号)</li> </ul>			
上位施策	記号と名称		目的	
	I1	「いつも備えて」災害に強いまちづくり	町民が自然災害や火災から自分と家族を守る(自助)	
			地域が自然災害や火災から地域住民を守る(共助)	
町が自然災害や火災に備える(公助)				
担当課	総務課	担当係	防災安全係	

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民(自主防災組織)	一定の裁量の下、町の支援等を受けながら安定的かつ継続的に、地域の実情に応じた消防施設の整備を行うことにより、地域内の防災体制の維持を図ることができる。
(2)	
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 安定的な消防設備・水利の確保(有事の使用不能件数:0件)	地域等の協力により設備の状態を適宜確認し、その結果を随時または地区計画を通じて町は把握する。緊急性等により対応方法を検討し、修繕や設備更新等の対応を実施する。(ただし、耐震強度を上回る巨大地震や武力攻撃で設備が倒壊する等、不可抗力による場合を除く。)
B	

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 安定的な消防設備・水利の確保(有事の使用不能件数:0件)	地域等の協力により設備の状態を適宜確認してもらい、その結果を随時または地区計画を通じて把握する。緊急性等により対応方法を検討し、修繕や設備更新等の対応を実施する。(ただし、耐震強度を上回る巨大地震や武力攻撃で設備が倒壊する等、不可抗力による場合を除く。)
b	
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 消防施設整備等に係る状態の把握	第1 予算執行
② 把握した状態に応じて… ・緊急性の高い案件等は即時対応(応急含む) ・緊急性の低い案件等は次年度以降対応(事業化検討)	第2 予算執行
③ 事業実施(予算執行)	第3 11月 地区計画ヒアリングにより消防施設整備に係る地域の意向を把握 12月 ヒアリング結果を元に必要に応じて予算化・要求
④	第4

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	※第1四半期に実施すべき執行案件なし
第2	※第2四半期に実施すべき執行案件なし(環境水道課発注の消火栓工事は10月入札予定)
第3	11月 各区にヒアリングを実施し要望を把握 12月 要望に基づき負担金を予算化
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	地域防災組織支援事業		種別	主
概要	《開始動機・時期 及び 事業概要》 2011年の東日本大震災以降、全国的に地震や風水害等の大規模な自然災害が多発する中、大規模災害発生直後は約1週間に渡って公助による支援が機能しないことが明らかになりつつある。また、その半面、避難所の開設・運営をはじめ、安否確認等の自主防災組織を中心とした「共助」が担う役割の重要性が注目されている。こうした共助を核とした地域防災力が適切に機能するよう、本事業では自主防災組織が行う設備や資機材類の整備に対して、町が柔軟かつ適切な支援(情報提供、補助金支給等)を行う。			
根拠法令等	・自主防災組織施設整備事業費補助金交付要綱(高森町) ・コミュニティ助成事業実施要綱(一般財団法人 自治総合センター)			
上位施策	記号と名称		目的	
	I1	「いつも備えて」災害に強いまちづくり	町民が自然災害や火災から自分と家族を守る(自助)	
			地域が自然災害や火災から地域住民を守る(共助)	
		町が自然災害や火災に備える(公助)		
担当課	総務課		担当係	防災安全係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民(自主防災組織)	町の支援により「共助」に基づく地域防災力強化に必要な設備や資機材類の整備を図り災害に備えることができる。
(2)	
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 各自主防災組織が地区内人口等を元に算出した備蓄目安量を17%充足	南海トラフ地震発生後3日間の支援物資を、公助(県)と公助(町)が1/3ずつ、残りを共助(自主防災組織)と自助(町民)が1/6ずつ担う計算。(最大想定避難者数1570人を基準に目安量を算出。)
B	

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 21地区が備蓄目標量を設定する:100%	人口等から算出した目安量を最低限の目標値とし、各地区防災計画等に基づいて自主防災組織ごとに補正した値を目標量として設定してもらう。
b	
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 行政が自主防災組織ごとに備蓄目安量を算出し提示。	第1 左記①
② 自主防災組織は提示された目安量を元に地区防災計画等と整合を図りつつ目標量を決める。	第2 左記②
③ 自主防災組織が、自ら決めた目標量に対して令和11年までの整備計画(ロードマップ)を考える。	第3 左記③
④	第4

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日: 令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	・行政が保有する TKB 備蓄資機材について、7つの区に分散保管する数量を算出。 ・21ある自主防災組織単位での備蓄目安量については未完成。
第2	・行政が保有する TKB 備蓄資機材について、7つの区に分散配備完了。 ・21ある自主防災組織単位での現有備蓄量の把握に向けて調整中。
第3	・21ある自主防災組織単位での現有備蓄量の把握調査を実施。 ・町全体の備蓄の指針となる「防災備蓄計画」の素案を策定。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	「とうかい」防止対策事業【社会資本整備交付金】		種別	主
概要	高森町耐震改修促進計画(第Ⅲ期)に基づき、地震に対する建築物の安全性の向上を図ることにより災害に強いまちづくりの推進を図ることを目的に、高森町木造住宅耐震補強補助事業を実施する者に対し、補助金を交付する。			
根拠法令等	高森町耐震改修促進計画(第Ⅲ期)。建築物の耐震改修の促進に関する法律(平成7年法律第123号。以下「法」という。)第6条第1項の規定により策定			
上位施策	記号と名称		目的	
	I1	「いつも備えて」災害に強いまちづくり	町民が自然災害や火災から自分と家族を守る(自助)	
			地域が自然災害や火災から地域住民を守る(共助)	
		町が自然災害や火災に備える(公助)		
担当課	建設課		担当係	維持管理係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民	地震による家屋災害から身を守る
(2)	
(3)	

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 耐震診断実施件数	50 件
B 耐震改修実施件数	25 件

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 耐震診断実施件数	10 件(R6 18 件)
b 耐震改修実施件数	5 件(R6 1 件)
c	

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)		4 半期ごと目指す状態(スケジュール)	
①	耐震診断対象に、耐震診断を申請してもらえるよう通知を出す。	第 1	耐震診断の申請を受け付ける。
②	耐震診断を受付け、協会に耐震診断を依頼する。	第 2	協会と契約する。
③	耐震診断後、改修の意向を聞き、翌年度以降の耐震改修の申し込みを受ける。	第 3	耐震診断、耐震改修ともに、補正を行う必要があれば補正を行う。
④	耐震改修を受付け、県、国へ補助金の申請を行う。	第 4	耐震診断対象に、耐震診断を申請してもらえるよう通知を出す。

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	広報たかもり4月号にて、住宅耐震化促進について広報・周知を実施。 耐震診断:受付受理 15件 耐震改修:受付受理 2件 6月末に、音声放送にて広報・周知を再度実施。
第2	長野県建築士事務所協会と委託契約済(当初:6/5 変更:9/9) 耐震診断:受付受理 18件 耐震改修:受付受理 2件 ブロック塀撤去:受付受理 1件
第3	長野県建築士事務所協会と委託契約済(当初:6/5 変更:9/9 再変更 12/9) 耐震診断:受付受理 19件 耐震改修:受付受理 2件 ブロック塀撤去:受付受理 1件 12/23 旧耐震基準住宅所有者へ通知発送(建築年度昭和51年~昭和53年)
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	消防団運営事業		種別	主
概要	《開始動機・時期》 消防組織法(昭和 22 年法律第 226 号)第 18 条第1項の規定により設置。  《事業概要》 町消防団本部員として団運営を支援する。			
根拠法令等	・消防組織法(昭和 22 年法律第 226 号) ・高森町消防団の設置に関する条例(昭和 42 年8月 10 日条例第 18 号) ・高森町消防団員の定員・任免・給与・服務等に関する条例 (昭和 42 年8月 10 日条例第 19 号) ・高森町消防団員等公務災害補償条例 (昭和 41 年4月5日条例第9号) ・高森町消防団規則 (昭和 39 年3月 25 日規則第4号) ・高森町消防団機能別団員に関する要綱 (令和6年3月4日要綱第7号) ・非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例 (昭和 39 年8月 12 日条例第 21 号) ほか			
上位施策	記号と名称		目的	
	I1	「いつも備えて」災害に強いまちづくり	町民が自然災害や火災から自分と家族を守る(自助)	
			地域が自然災害や火災から地域住民を守る(共助)	
		町が自然災害や火災に備える(公助)		
担当課	総務課		担当係	防災安全係

1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民(消防団員)	消防行政に参画し、団の活動を通じて消防や防災の知識を身に着けることで、身近な人や地域を災害から守ることができる。
(2) 町民(消防団員以外)	消防団員を地域ぐるみで支え、消防団の活動によって地域が災害から守られることで、安心して生活することができる。
(3)	

2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 普通団員数:120人	現状98人。3分団(1分団5班、2分団3班、3分団3班)体制により、火災及び自然災害等から町を守るために最低限必要な人数の確保を目指す。
B 定員充足率:100%	機能別団員を含め、定員200人を充足する。

2. 単年度計画(令和 7 年度)

1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 退団者数≦入団者数	勧誘活動や啓発活動により、現状よりも団員数を減少させないよう新入団者の獲得を目指す。
b 勤務優良で定年退団した団員の機能別団員移行率:9割	退団者の経験値を機能別団員として活かしてもらえるよう、退団後の協力を依頼し承諾を得る。
c 団員の訓練参加率:6割以上	現状の訓練参加率は6割程度。それ以上を目指し、団員に訓練の目的や意義を明確化して伝え、振り返りによって訓練内容の見直しを行う。

2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 町民に消防団や団員を身近に感じてもらうためのイベント開催や広報の実施。	第1 4月 春季訓練実施 6月 消防・防災フェス開催
② 新入団者獲得に向けた勧誘活動の実施。	第2 9月 総合防災訓練
③ 消防団員の消防及び災害対応力を向上させるため各種訓練の実施。	第3 10月 秋季訓練実施 10月 ふるさと祭り参加 12月～(始)新入団者勧誘活動
④	第4 1月 出初式 2月 新幹部訓練実施 2月 退団予定者への機能別移行依頼 ～3月(至)新入団者勧誘活動

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	・4月 6日 春季訓練(参加率:62%) ・6月14日 高森町消防・防災フェス(参加率:65%)
第2	・9月 7日 総合防災訓練(参加率:57%) ・10月19日 秋季訓練(参加率:60%)
第3	・10月25日 ふるさと祭り(参加率:92%) ※勧誘活動については、過去の実績から戸別訪問は効果が低く、逆に過去の入団者の大半が友人・知人からの誘いで入団している経過から、団全体での統一的な訪問活動を廃止し、団員個々で知人や友人への勧誘を中心に取り組むよう見直した。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)	
①	
②	
③	
④	
2)目標の達成度	
指標	令和7年度末の状況
	実績
a	
b	
c	
(1)~(3)平均	
指標	令和7年度末実績
A	
B	
AB 平均	
3)取り組みの効果の確認	
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。	

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)	
2)次年度の事務事業のあり方	
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由
目的	変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 変更内容・理由
目標	変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 変更内容・理由
取り組み	変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 変更内容・理由

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	水道維持管理事業		種別	主
概要	水道施設の適切な管理・運用・保守を行い、利用者へ安全で安定した水道水を供給します。定期的な施設点検、漏水調査、水質検査を実施し、トラブルの早期発見・対応を徹底します。また、災害時に迅速かつ適切に対応できる体制の構築を進め、施設の信頼性向上と持続的な運用を目指します。			
根拠法令等	水道法、地方自治法、建築基準法、災害対策基本法、環境基本法、水循環基本法、水道施設技術基準、水道事業ガイドライン、災害時の水道事業対応指針			
上位施策	記号と名称		目的	
	I2	水道水の安全・安定供給と施設の強靱化	水道施設が適正に管理され、計画的に修繕・更新を行い、安定した給水環境が整う	
			水道使用者が安心・安全に水をいつでも使える	
		水道事業が適切な費用負担で効率的な運営が確保される		
担当課	環境水道課		担当係	上下水道係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 水道機器	適切に維持管理され、計画的に修繕・更新が行われ、安定した給水環境が整う。
(2) 水質	水道法第 4 条に基づく水質基準に常に適合する
(3) 水道事業	適切な費用負担と効率的な運用が確保される

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 施設機器トラブル件数	現状 14 件、令和 11 年度末 7 件 常日頃からの管理、定期的、臨時的な点検により、機器トラブルを未然に防ぐ。
B 水質検査適合率	現状 100%、令和 11 年度末 100% 水道法に基づく毎月検査(基本項目)、定期検査(全項目)を実施し、安全性を確保する。
C 経営指標(未定)	使用料改定検討の後に適当な経営指標を設定する。

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 施設機器トラブル件数	現状 14 件、令和 7 年度末 10 件 常日頃からの管理、定期的、臨時的な点検により、機器トラブルを未然に防ぐ。
b 水質検査適合率	現状 100%、令和 7 年度末 100% 水道法に基づく毎月検査(基本項目)、定期検査(全項目)を実施し、安全性を確保する。
c 使用料改定検討	現状 着手済、令和 7 年度末 完了

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

	取り組み(具体的手段)
①	日常的・定期的・臨時的な設備保守点検の実施
②	漏水調査の実施
③	水質検査の継続的实施
④	

	4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
第 1	①保守点検スケジュール確定 ③水質(毎日・毎月・定期)検査開始
第 2	①半数以上の保守点検を実施 ②漏水調査スケジュール確定 ③水質(毎日・毎月・定期)検査実施
第 3	①全施設の保守点検を完了 ②漏水(音調)調査開始 ③水質(毎日・毎月・定期)検査実施
第 4	①早急対応が必要な設備の修繕完了 ②漏水調査終了、漏水箇所精査 ③水質(毎日・毎月・定期)検査実施

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日: 令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	①浄水場巡回メンテナンス、堂所電気保安点検、施設ポンプ保守点検、堂所・割岩水質計器点検、深井戸水源保守点検、全てスケジュールは確定している。 ③水質検査(毎日、毎月、定期)は検査を開始できている。
第2	①半数以上保守点検を実施できている。 ②漏水調査のスケジュールは確定できていないが、12月～1月で行う見通し。
第3	①施設ポンプ保守点検、深井戸水源保守点検は2回/年のうち残り1回を2月中に実施予定 ②1/6から漏水(音調)調査開始予定 ③水質検査(毎日、毎月、定期)は実施できている。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)～(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和 7 年度 事務事業マネーメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	水道施設整備更新事業		種別	主
概要	上水道施設の更新を計画的に進め、施設の耐久性と信頼性を向上させます。地震や大雨などの災害時における水道供給の継続を確保できるようにします。また、漏水事故の減少と効率的な施設運用を目指します。			
根拠法令等	水道法、地方自治法、建築基準法、災害対策基本法、環境基本法、水循環基本法、水道施設技術基準、水道事業ガイドライン、災害時の水道事業対応指針			
上位施策	記号と名称		目的	
	I2	水道水の安全・安定供給と施設の強靱化	水道施設が適正に管理され、計画的に修繕・更新を行い、安定した給水環境が整う	
			水道使用者が安心・安全に水をいつでも使える	
		水道事業が適切な費用負担で効率的な運営が確保される		
担当課	環境水道課		担当係	上下水道係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 水道施設	計画的に更新・改修されることで、耐震性が確保され強靱化される
(2) 水道利用者	将来にわたり安心・安全な水がいつでも使える。
(3)	

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 配水管耐震化率	現状 5.2%、令和 11 年度末 6.3% 配水管を計画的に更新し、耐震化率を上げることで漏水トラブルを減らし、水道水供給の安定性向上を図る。(有収率の向上を目指す)
B 施設耐震化率	現状 27.0%、令和 11 年度 61.2% 水道施設の耐震化を進めることで、災害時における安定供給を確保する。

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 配水管耐震化率	現状 5.2%、令和 7 年度末 5.5% 配水管更新を計画的に実施し、耐震性をあげ漏水事故リスクを減らす。
b 配水管漏水件数	現状 4 件、令和 7 年度 3 件 アセットマネジメントにより、漏水リスクの高い場所の配水管を事前に布設替えることにより、漏水を減らす。
c 施設耐震化率	現状 27.0%、令和 7 年度 28.5% 浄水池・配水池の更新を実施し、耐震化率を向上させことで災害時における施設の信頼性を高める。

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	
①	山吹新田の配水管更新(布設替)工事の実施
②	現在工事中の新川配水池を完成させ、既存の配水池から切り替える
③	
④	

4 半期ごと目指す状態(スケジュール)	
第 1	①配水管更新工事着手 ②新川配水池築造工事進捗 50%
第 2	②新川配水池築造工事進捗 70%
第 3	①配水管更新工事しゅん工 ②新川配水池築造工事進捗 90%
第 4	②新川配水池築造工事しゅん工

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日: 令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	①6/27 入札により請負人決定、7/30 地元説明会予定 ②新川配水池築造工事の進捗は R6 年度に着手している土木工事が 78%、機械電気工事が 50%、今年度着手の場外配管工事の進捗は 0%
第2	②新川配水池築造工事の進捗は、土木工事=92%、機械電気=68%、場外配管=36% 全体では 65%
第3	①配水管更新工事の進捗は 97% ②新川配水池築造工事の進捗は、土木工事=98%、機械電気=90%、場外配管=94% 全体では 94%
第4	

## 2. 令和7年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	下水道維持管理事業		種別	主
概要	下水道管を通して集めた汚水を終末処理場できれいにして川へ放流します。また、下水道事業の運営に必要な費用を下水道使用料として使用者から集めます。			
根拠法令等	下水道法、下水道法施行令、下水道法施行規則、下水の処理開始の公示事項等に関する省令、下水の水質の検定方法等に関する省令、下水道法施行令の一部を改正する政令附則第二条第二項及び第五条の面積を定める省令			
上位施策	記号と名称		目的	
	I3	持続可能な下水道事業の運営	汚水が適切に処理され、生活環境が衛生的に保たれる。 下水道施設が、効率よく長く使えるようになる。 下水道事業が、健全で持続可能な形で実施される。	
担当課	環境水道課		担当係	上下水道係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 生活環境	汚水が適切に処理され、衛生的に保たれる。
(2) 下水道施設	効率よく長く使えるようにする。
(3) 下水道事業	健全で持続可能な形で実施される。

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 水質基準超過件数	現状 0 件、令和 11 年度末 0 件
B 経営指標(未定)	使用料改定検討の後に適当な経営指標を設定する。

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 水質基準超過件数	現状 0 件、令和 7 年度末 0 件
b 使用料改定検討	現状 着手済、令和 7 年度末 完了
c	

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 処理場・MP場の適切な管理	第1 ①委託先業者との契約 ①処理場管理状況の確認(毎月) ①MP場管理状況の確認(第 1 四半期) ②使用料改定検討、料金審議会
② 下水道使用料の改定検討	第2 ①処理場管理状況の確認(毎月) ①MP場管理状況の確認(第 2 四半期) ②使用料改定検討、料金審議会
③	第3 ①処理場管理状況の確認(毎月) ①MP場管理状況の確認(第 3 四半期) ②使用料改定検討、料金審議会
④	第4 ①処理場管理状況の確認(毎月) ①MP場管理状況の確認(第 4 四半期) ①委託先業者への精算 ②使用料改定内容決定

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和 7 年 12 月 31 日

## 1. 令和 7 年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	①委託先業者(長野県下水道公社)と契約を締結した。 ①月報により管理状況を確認した。 ②第 2 回水道及び下水道料金審議会を 6 月に実施し、料金算定期間を 5 年とし、令和 8 年 4 月から上下水道料金を 15%程度引き上げる方向で検討することを決定。
第2	①月報及び第 1 四半期の報告により管理状況を確認した。 ②第 3 回水道及び下水道料金審議会を 9 月に実施し、令和 8 年度からこれまでの料金から平均 11%程度引き上げる方向で答申を進めることを決定。上下水道料金の見直しについて、広報等で周知した。また、7月~9月に開催された各区・地区でのまちづくり懇談会において、上下水道料金の見直しについての周知と町民の皆様からの意見集約を実施した。
第3	①月報及び第 2 四半期の報告により管理状況を確認した。 ②第 4 回水道及び下水道料金審議会を 10 月に実施し、同月審議会から町長に答申書が提出された。答申内容を踏まえ上下水道料金改定案を作成し、11月に町民向け説明会を 5 会場にて実施した。12 月議会に上下水道料金改定の条例案を上程し、可決された。
第4	

## 2. 令和 7 年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和 7 年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和 11 年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	下水道整備更新事業		種別	主
概要	汚水を処理するための施設を新しく作ったり(整備)、修理できなくなった施設を取り替えたり(更新)する事業です。 また、整備や更新に必要な資金を調達します。			
根拠法令等	下水道法、下水道法施行令、下水道法施行規則、下水の処理開始の公示事項等に関する省令、下水の水質の検定方法等に関する省令、下水道法施行令の一部を改正する政令附則第二条第二項及び第五条の面積を定める省令			
上位施策	記号と名称		目的	
	I3	持続可能な下水道事業の運営	生活環境が、汚水が適切に処理され、衛生的に保たれる。 下水道施設が、効率よく長く使えるようになる。 下水道事業が、健全で持続可能な形で実施される。	
担当課	環境水道課		担当係	上下水道係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 下水道施設	統合され、効率的に運用される。
(2) 下水道施設	長寿命化される
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 施設利用率 ※処理能力(3,800 m <sup>3</sup> /日)	現状 :63.94%(現在晴天時平均処理水量 2,191+239 m <sup>3</sup> /日) 11 末:77.18%(現在晴天時平均処理水量 2,933 m <sup>3</sup> /日)
B	

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 主な取り組みの着手数	現状:0/5 年度末:5/5
b	
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① ①-1 農集牛牧地区統合管路工事その①(1) ①-2 浄化センター脱水機増設工事(1)	第1 ①-1 起工～発注。施工監理を公社委託 ①-2、③下水道事業団とともに進める ②起工～発注 ④起工～発注(下水道事業団)
② 農集統合実施設計(1) (出原・新田基本、出原詳細、耐震化実施設計)	第2 ①-1 公社とともに施工監理 ①-2、③下水道事業団とともに進める ②受注業者とともに進める ④下水道事業団とともに進める
③ 浄化センターSM更新工事(2)	第3 ①-1 公社とともに施工監理 ①-2、③下水道事業団とともに進める ②受注業者とともに進める ④下水道事業団とともに進める
④ SM第2期実施計画策定(2)	第4 ①-1 公社とともに施工監理～精算 ①-2、③下水道事業団とともに進める ②受注業者とともに進める～精算 ④下水道事業団とともに進める～精算

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	①-1 補助金が要望通りの内示とならなかったことで財源の調整に時間を要し計画に遅れが生じているものの、起工はできており発注の見通しがたっている。 ①-2、③6/3 工程会議で進捗状況を確認した。 ②④補助金が要望通りの内示とならなかったことで財源が確保できず着手できていない状況。現在、追加要望により財源確保の調整中。
第2	①-1 工事に着手し順調に工事が進捗している。 ①-2、③7/18 打合せで進捗状況を確認した。 ②補助金の内示変更(追加)があり財源を確保できたため事業に着手した。 ④補助金の内示変更には至らず財源が確保できないため事業に着手できていない状況。次年度の実施に向け事業要望を行っている。
第3	①-1 順調に工事が進捗している。 ①-2、③11/21 工程会議で進捗状況を確認した。12/24 出来高検査(R6 繰越分)を実施。 ②受注業者と協議する中で順調に事業が進捗している。 ④財源が確保できず今年度の実施は厳しい状況であるため、来年度に実施に切り替え、補助金要望及び新年度予算計上に努める。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	農集排維持管理事業		種別	主
概要	排水管を通して集めた汚水を農業集落排水施設できれいにして川へ放流します。また、農業集落排水事業の運営に必要な費用を処理施設使用料として使用者から集めます。			
根拠法令等	浄化槽法、水質汚濁防止法、高森町農業集落排水事業特別会計設置条例、高森町農業集落排水事業分担金徴収条例、高森町農業集落排水処理施設条例、高森町農業集落排水処理施設条例施行規則、高森町農業集落排水処理施設使用料のコンビニエンスストア等収納事務委託に関する規則			
上位施策	記号と名称		目的	
	I3	持続可能な下水道事業の運営	汚水が適切に処理され、生活環境が衛生的に保たれる。 下水道施設が、効率よく長く使えるようになる。 下水道事業が、健全で持続可能な形で実施される。	
担当課	環境水道課		担当係	上下水道係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 生活環境	汚水が適切に処理され、衛生的に保たれる。
(2)	
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 水質基準超過件数	現状0件、令和11年度末0件
B 経営指標(未定)	使用料改定検討の後に適当な経営指標を設定する。

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 水質基準超過件数	現状0件、令和7年度末0件
b 使用料改定検討	現状着手済、令和7年度末完了
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)		4半期ごと目指す状態(スケジュール)	
①	農業集落排水施設・MP(マンホールポンプ)場の適切な管理	第1	①委託先業者との契約 ①排水施設管理状況の確認(毎月) ①MP場管理状況の確認(第1四半期)
②		第2	①排水施設管理状況の確認(毎月) ①MP場管理状況の確認(第2四半期)
③		第3	①排水施設管理状況の確認(毎月) ①MP場管理状況の確認(第3四半期)
④		第4	①排水施設管理状況の確認(毎月) ①MP場管理状況の確認(第4四半期) ①委託先業者への精算

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和 7 年 12 月 31 日

## 1. 令和 7 年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	①委託先業者(長野県下水道公社)と契約を締結した。 ①月報により管理状況を確認した。
第2	①月報及び第 1 四半期の報告により管理状況を確認した。
第3	①月報及び第 2 四半期の報告により管理状況を確認した。
第4	

## 2. 令和 7 年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和 7 年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和 11 年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	農集排建設改良事業		種別	主
概要	汚水を処理するための施設で、修理できなくなった施設を取り替える(更新する)事業です。(更新する施設は、排水管とMP(マンホールポンプ)場。農業集落処理施設は公共下水道への統合により段階的に廃止されるため、基本的には更新はしない。)			
根拠法令等	浄化槽法、水質汚濁防止法、高森町農業集落排水事業特別会計設置条例、高森町農業集落排水事業分担金徴収条例、高森町農業集落排水処理施設条例、高森町農業集落排水処理施設条例施行規則、高森町農業集落排水処理施設使用料のコンビニエンスストア等収納事務委託に関する規則			
上位施策	記号と名称		目的	
	I3	持続可能な下水道事業の運営	生活環境が、汚水が適切に処理され、衛生的に保たれる。 下水道施設が、効率よく長く使えるようになる。 下水道事業が、健全で持続可能な形で実施される。	
担当課	環境水道課		担当係	上下水道係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 下水道施設	統合され、効率的に運用される。
(2) 下水道施設	長寿命化される
(3)	

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 公共下水道への統合施設数	現状:3 施設/予定 6 施設 令和 11 年度末:6 施設/6 施設
B	

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a MP場設備更新 5 箇所	現状:0/5 箇所 令和 7 年度末:5/5 箇所
b	
c	

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
① MP場設備の必要な更新	第1 ①委託先業者による更新工事進捗状況の確認 ②該当場所確認
② 公共下水道への統合に向け、民地布設管の地役権の設定	第2 ①委託先業者による更新工事進捗状況の確認 ②地権者への説明
③	第3 ①委託先業者による更新工事進捗状況の確認 ②該当土地の測量
④	第4 ①委託先業者による更新工事進捗状況の確認 ②地権者との契約、地役権登記依頼(建設課管理係へ)

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	①月報の中で更新計画を確認した。 ②該当箇所を現地で確認した。
第2	①月報及び第1四半期の報告により実施状況を確認した。 ②地役権の設定にあたり、該当箇所では地権者が亡くなっている土地の登記・連絡先の確認に時間を要し、すべての地権者の合意には至っていないが、測量に入るための目途はたっている。
第3	①月報及び第2四半期の報告により実施状況を確認した。 ②すべての地権者の合意を得て、測量業者との契約も締結し、測量の準備が整った。年明けから順次測量を予定。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	浄化槽補助事業		種別	主
概要	浄化槽施設が、設置整備されることで公共用水域等の保全等の観点から浄化槽によるし尿及び雑排水の適正な処理を図り、生活環境の保全及び公衆衛生が向上する。浄化槽整備区域に設置された浄化槽の利用者が、浄化槽の清掃や修繕の経費の補助を受けることで、公共用水域等の水質保全等の観点から、浄化槽によるし尿及び雑排水の適正な処理を図り、生活環境の保全及び公衆衛生が向上する。			
根拠法令等	浄化槽法、水質汚濁防止法、高森町浄化槽設置整備事業補助金交付要綱、高森町浄化槽事務要綱、高森町浄化槽清掃経費補助金交付要綱、高森町浄化槽修繕等経費補助金交付要綱			
上位施策	記号と名称		目的	
	I-3	持続可能な下水道事業の運営	汚水が適切に処理され、生活環境が衛生的に保たれる。	
			下水道施設が、効率よく長く使えるようになる。	
		下水道事業が、健全で持続可能な形で実施される。		
担当課	環境水道課		担当係	上下水道係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 浄化槽	適切に管理される
(2)	
(3)	

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 浄化槽法定検査受検総数に占める検査結果ア(適正)及びイ(おおむね適正)の割合	現状:90.1%(令和 5 年度末実績) 令和 11 年度末:93.0%
B	

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 浄化槽法定検査受検総数に占める検査結果ア(適正)及びイ(おおむね適正)の割合	現状:90.1%(令和 5 年度末実績) 令和 7 年度末:91.0%
b	
c	

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 要望どおり、各種補助金を交付する。	第 1 ①各種補助金の交付申請審査～交付 ②国費及び県費の交付申請
② 設置補助金の財源である国費と県費の確保。	第 2 ①各種補助金の交付申請審査～交付 ②必要により国費県費の追加要望
③	第 3 ①各種補助金の交付申請審査～交付 ②必要により国費県費の追加要望
④	第 4 ①各種補助金の交付申請審査～交付 ①補助金予算額の確認 ②必要により国費県費の追加要望 ②完了実績報告

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和 7 年 12 月 31 日

## 1. 令和 7 年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	①設置補助 0 件、清掃補助 51 件、修繕補助 8 件交付。 ②国費及び県費の交付申請を提出した。
第2	①設置補助 3 件、清掃補助 46 件、修繕補助 5 件交付。 ②想定以上の設置要望があり、国費を追加要望し、変更内示を受け、変更交付申請を行った。
第3	①設置補助 4 件、清掃補助 40 件、修繕補助 8 件交付。 ②国費に併せ県費の追加要望を行った。
第4	

## 2. 令和 7 年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和 7 年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和 11 年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	町道維持修繕事業		種別	主
概要	地区計画の要望等に基づき、町道の維持・補修工事を施工する。地区とのヒアリングにより工事実施箇所の選定を行ない、年度当初に一括で発注し、年度内に工事を完了させる。また、当初計画にはないものの、危険性が高いと判断した場合は応急工事を施工する。町の基準に適合しないものは地元が施工し、町は材料の補助を行う。漬地等が発生している場合は登記依頼を行なう。			
根拠法令等	道路法第 42 条			
上位施策	記号と名称		目的	
	I-4	「安全・便利で心地よい」 いつも快適住環境	町内の道路・水路・公園の利用者が便利で安全に利用できる 道路・水路・公園が計画等に基づき、着実な事業進捗が図られる	
担当課	建設課		担当係	計画建設係・維持管理係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町道	適切に維持管理される
(2)	
(3)	

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 5カ年の累計実施率;100%	町が管理する町道であるため計画箇所は毎年確実に維持修繕工事が完了している。
B	

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 単年の実施率;100% 修繕計画 33 箇所 修繕実績 33 箇所	R6 年度実績⇒修繕計画 44 箇所(内 41 箇所実施) 修繕実績 46 箇所(実施率;112%) (振替 1 箇所、とりやめ 3 箇所、応急 5 箇所) 町が管理する町道であるため計画箇所は確実に維持修繕工事が完了している。
b	
c	

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 地区計画の要望に基づき計画した修繕工事が完了する。	第 1 ・指名業者に工事を振り分け発注されている。 ・受注業者の工程に基づき順次工事が行われている。
②	第 2 ・受注業者の工程に基づき順次工事が行われている。
③	第 3 ・受注業者の工程に基づき順次工事が行われている。(用水が関係する工事) ・地区計画のヒアリングに基づき翌年度の工事が計画されている。
④	第 4 ・受注業者の工程に基づき順次工事が行われている。(用水が関係する工事) ・地区計画のヒアリングに基づき翌年度の工事が計画されている。

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和 7 年 12 月 31 日

## 1. 令和 7 年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	4 月に発注者会議開催し、工事を振り分け発注が完了した。 4 月から 6 月にかけて必要に応じて業者ごと発注箇所の現場確認を実施した。 地元説明会を適宜開催し、受注業者の工程に基づき順次工事が行われている。
第2	7 割程度の事業に着手、5 割程度の事業が完了した。引き続き工事を進める。工事未着手箇所については、12 月末を期限に発注業者と調整を行う。
第3	8 割程度の事業に着手、発注済み事業は概ね完了した。引き続き工事を進める。工事未着手箇所も発注業者と概ね調整済みのため、第4四半期中に適正に工事を実施する見込み。
第4	

## 2. 令和 7 年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和 7 年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和 11 年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	町道 I -6 号線拡幅改良事業		種別	主
概要	社会資本整備総合交付金事業を活用し、道路ビジョンに基づく幹線道路の整備を行う。 工事場所;町道 I -6 号線 八日市場線(やすらぎ荘交差点~竜西線交差点) 事業期間;令和 7~12 年度			
根拠法令等	道路法、社会資本整備総合交付金要綱、整備計画			
上位施策	記号と名称		目的	
	I4	「安全・便利で心地よい」 いつも快適住環境	町内の道路・水路・公園の利用者が便利で安全に利用できる 道路・水路・公園が計画等に基づき、着実な事業進捗が図られる	
担当課	建設課		担当係	計画建設係

1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町道 I -6 号線	整備計画に基づいた改良がされる
(2)	
(3)	

2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 道路改良 計画 L = 740m/実績 L = 500m(進捗率;68%)	R10 年度⇒L = 250m(進捗率;34%) R11 年度⇒L = 250m(進捗率;68%) R12 年度⇒L = 240m(進捗率;100%)
B	

2. 単年度計画(令和 7 年度)

1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 詳細設計 1.0 式 (進捗率;100%) 道路改良 計画 L = 740m/実績 L = 0m (進捗率;0%)	R5 年度⇒概略設計(進捗率;100%) R6 年度⇒地権者&地元説明 R7 年度⇒詳細設計(進捗率;100%)
b	
c	

2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)
① 概略設計に基づき詳細設計が完成する。
② 詳細設計の内容を地権者及び地元説明し合意を得る。
③
④

4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
第 1 ・請負契約が締結されている。 ・翌年度事業の概算要望が完了している。
第 2 ・業務に着手している。
第 3 ・詳細設計が完成している。 ・翌年度事業の改要望が完了している。
第 4 ・詳細設計の内容を地権者及び地元説明し合意を得ている。 ・補助金の支払いを受け事業が完了している。

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	交付金内示が大幅に減額となり、予定規模で発注が困難となった。6月議会にて債務負担行為の承認を受け、6月末に道路詳細設計業務委託を起案。実施期間は令和8年4月30日まで。7月に入札を実施することとなった。 令和8年度概算要望については予定通り実施。令和7年度内示割れ分も含めて要望した。
第2	7月に契約締結。債務負担行為により業務期間は令和8年4月まで。交付金は第1回内定変更により、増額となる見込み。9月には令和8年度改要望を実施し、不足額を含めて要望した。 地権者、関係者へ通知のうえ、9月より現地の測量に着手した。
第3	10月に国費増額の内定変更があり、令和7年度の支払い限度額を増額した。設計業務は委託業者にて現地測量、詳細設計をすすめている。年度内に設計概要が示される見込み。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	町道 I-1~230 号線拡幅改良事業		種別	主
概要	道路安全対策(地区内連携)事業を活用し、道路ビジョンに基づく幹線道路の整備を行う。 工事場所;町道 230 号線 認定こども園ぱどま~中央線 小池興業交差点【完】 町道 I-1 号線 小池興業交差点~瀬高辻 事業期間;令和 3~7 年度			
根拠法令等	道路法、社会資本整備総合交付金要綱、整備計画			
上位施策	記号と名称		目的	
	I4	「安全・便利で心地よい」 いつも快適住環境	町内の道路・水路・公園の利用者が便利で安全に利用できる 道路・水路・公園が計画等に基づき、着実な事業進捗が図られる	
担当課	建設課		担当係	計画建設係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町道 230 号線	歩道設置等により交通安全対策が図られる
(2) 町道 I-1 号線	歩道設置等により交通安全対策が図られる
(3)	

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 歩道設置 計画 L = 840m/実績 L = 840m(実施率;100%)	~R6 年度⇒L=695m/840m完了(実施率;83%) R7 年度⇒L=145m(840m/840m)
B	

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 歩道設置 計画 L = 145m/実績 L = 145m(実施率;100%)	~R6 年度⇒L=695m/840m完了(実施率;83%) R7 年度⇒L=145m(840m/840m)
b	
c	

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	
①	■歩道整備 ⇒計画に基づき歩道整備が完了する。
②	◆物理的デバイスの設置 ゾーン30 プラス整備計画に基づき物理的デバイスの設置が完了する。
③	
④	

4 半期ごと目指す状態(スケジュール)	
第1	■議会の議決を経て請負契約が締結されている。
第2	■工事に着手している。 ◆物理的デバイスの設置に着手している。
第3	■出来形に基づく変更契約が締結されている。 ◆物理的デバイスの設置が完了している。
第4	■工事が完了し引渡を受けている。 ■◆補助金の支払いを受け事業が完了している。

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和 7 年 12 月 31 日

## 1. 令和 7 年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	予定通り 6 月議会にて請負契約の議決を経て契約を締結した。請負者は(有)小池興業。7 月に起工測量後、JA に施工に関する着工前協議、地元への工事説明会、南小・中学校と協議に入る。
第2	歩道整備については、地元説明会、南小・中学校との協議を経て 7 月末より現地着手した。概ね予定通り進行している。 物理的デバイスの設置については、地元立会、警察との協議済。発注のための積算に着手済。
第3	歩道整備は JA 高森支所 ATM 以南の工事完了。第4四半期にて ATM~農協高森信号まで施工予定で概ね予定通り進行している。 物理的デバイス設置は設計書完成に不測の時間を要し12/11 契約となった。3月中旬に完成予定。
第4	

## 2. 令和 7 年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和 7 年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和 11 年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	橋梁整備事業		種別	主
概要	地区計画及び橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の維持・補修工事を行う。各橋梁は5年に1回の法廷点検を実施し、結果に基づき橋梁長寿命化修繕計画の見直しを行う。 橋梁;224橋 計画期間;令和6年~令和10年(第2期;令和5年度策定)			
根拠法令等	道路法、町道新設改良及び維持管理規程、橋梁長寿命化修繕計画			
上位施策	記号と名称		目的	
	I4	「安全・便利で心地よい」 いつも快適住環境	町内の道路・水路・公園の利用者が便利で安全に利用できる 道路・水路・公園が計画等に基づき、着実な事業進捗が図られる	
担当課	建設課		担当係	計画建設係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 橋梁	安全に通行できるようになる
(2)	
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 点検 計画224橋/実績224橋(実施率;100%)	橋梁長寿命化計画に基づく (第2期修繕計画に基づきすべての橋梁が点検される)
B 修繕(レベルⅢ) 計画4橋/実績4橋(実施率;100%)	橋梁長寿命化計画に基づく (第2期修繕計画に基づきレベルⅢの橋梁の修繕がされる)

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 更新 1橋(上部工) 100%	R5~6年度に下部工【完】、R6年度より上部工に着手
b 修繕 4橋 100%	R6年度に補修設計4橋を実施
c 点検 32橋	5年に1回の法廷点検(橋梁長寿命化計画より)

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① ■更新 城岸橋が完成する。	第1 ■城岸橋が供用開始している。 ◆請負契約が締結されている。 ●委託契約が締結され業務に着手している。 ◆●翌年度事業の概算要望が完了している。
② ◆修繕 4橋の修繕が完了する。	第2 ■補助金の支払いを受け事業が完了している。 ◆工事に着手している。 ●委託業務が完了している。
③ ●点検 定期点検32橋の点検が完了する。	第3 ◆修繕工事が完了している。 ●直営点検に着手している。 ◆●翌年度事業の改要望が完了している。
④	第4 ●直営点検が完了している。 ◆●補助金の支払いを受け事業が完了している。

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	<ul style="list-style-type: none"> <li>■城岸橋は6/1から供用が開始された。</li> <li>◆7月以降に発注予定。</li> <li>●4月に業務委託を依頼し、7月以降に契約予定。</li> </ul>
第2	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆2橋は9月に発注まで完了。10月に契約予定。残り2橋も順次発注予定。</li> <li>●7月に委託契約を締結。10月から点検に着手予定。</li> </ul>
第3	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆3橋は10月、11月にそれぞれ契約が完了。残り1橋は1月に発注予定。</li> <li>●12月に直営点検に着手。</li> <li>◆●10月に翌年度事業の改要望が完了。</li> </ul>
第4	

## 2. 令和7年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和 7 年度 事務事業マネージメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	公園管理事業	種別	主
概要	①町内都市公園とマレットゴルフ場を利用者が安全で快適に利用できるよう管理を行う。②清掃、草刈、遊具点検・補修等の委託業務。ごみ拾い、遊具等の日常点検、公園愛護会等への謝礼支払い業務、公園団体利用者、マレットゴルフ場団体利用者の受付事務。③指導員謝礼、需用費、委託料、賃借料、団体交付金ほか		
根拠法令等	都市公園法、都市公園条例、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー新法)		
上位施策	記号と名称		目的
	I4	「安全・便利で心地よい」 いつも快適住環境	町内の道路・水路・公園の利用者が便利で安全に利用できる 道路・水路・公園が計画等に基づき、着実な事業進捗が図られる
担当課	建設課	担当係	維持管理係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町内の都市公園、マレットゴルフ場	適切に維持管理されることにより安全・快適に利用される
(2)	
(3)	

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 事故件数	遊具の劣化や不備が原因で起きた事故発生件数 (R6 実績:0 件)
B	

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 事故件数	遊具の劣化や不備が原因で起きた事故発生件数 (R6 実績:0 件)
b	
c	

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 各委託業務の発注	第1 利用者が最も多くなる時期の為、公園、マレットゴルフ場の状態の把握、使用の把握を行う。また、年間を通した契約も行う。
② 町民から出てくる公園芝生、雑草、ハチなどへの対応	第2 草の状態やハチなどの問い合わせが多くなるため、状態の把握、早急な対応を行う。また灯籠流しの前には親水公園マレットゴルフ場のトイレ汲み取りを行う。
③ 遊具点検の発注、対策	第3 例年行っている遊具の点検を実施し、現在の遊具の状態について把握し、必要な箇所には必要な対応をとる。また、公園の水栓の閉栓も行う。
④ 遊具点検結果を基に遊具修繕の発注	第4 前四半期に出てきた修繕の必要のある公園遊具について修繕を行い翌年度、遊具に危険がない状態で迎えられるようにする。

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	マレットゴルフ場の利用について、団体名や使用日、貸し出し等十分に把握している。また、定期的に枝葉の回収を行っている。公園に関しても、定期的にゴミ回収、点検を行っている。また、4月に貸借地契約を結んだ。また、各委託業務も遅滞なく委託済みである。
第2	公園維持管理(除草、芝生、樹木剪定、トイレ清掃等)については、第1四半期に引き続き、適期管理を実施。突発対応事案については、補正予算を計上し、必要な対応を行った。
第3	12/12 公園遊具修景施設点検業務完了。点検報告では、緊急で行わなければいけない遊具はなかった。4/4 半期で、C 判定だった遊具の修繕を行う予定。また、水道の閉栓は12/2 に実施済み。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	交通防犯指導員会運営事務		種別	主
概要	高森町交通防犯指導員会の運営を行う。 S50年代後半より交通安全及び防犯に対する町民の意識の高揚を図るとともに、町ぐるみで交通事故、交通違反、犯罪等を町内から追放するために設置された組織。警察(高森駐在所)と連携し、効果的な交通事故防止、犯罪抑止のための活動を実施する。  《事業内容》 定例指導員会の開催、交通安全・防犯に係る啓発活動の実施(街頭指導、青色防犯パトロール、各種イベント交通誘導等)、報酬支払、委嘱事務			
根拠法令等	高森町交通防犯指導員会設置要綱			
上位施策	記号と名称		目的	
	I5	「わたしが守る、みんなで守る。」安全で安心して暮らせるまち	交通事故が少なく治安も保たれ、安全な環境で安心して暮らせる。 町や警察等と協力して、町内の交通安全や防犯に対する意識を高めつつ、持続可能な体制維持・組織運営を実現している。 地域の協力を得て交通安全及び防犯に寄与する施設を整備・維持管理する。	
担当課	総務課		担当係	防災安全係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民	交通防犯指導員会の活動を通じて、交通安全意識が高まり、歩行者が交通事故(危険)から身を守り、安全に道路を横断、通行することができる。
(2) 町民	交通防犯指導員会の活動を通じて、防犯意識が高まるとともに、犯罪抑止効果によって安心して暮らすことができる。
(3) 交通防犯指導員会	警察と連携し交通事故、犯罪の発生抑止に繋がる活動が行える。

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 一般公募による指導員の割合 1割(11人中1人)	R6:0人 R11:1人
B 小中学生の通学中の事故、犯罪被害件数0件	R6:0件 R11:0件

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 65歳以上町民の指導員会の認知度40%以上(1,618人/4,045人) ※R7.4.1時点	指導員として早朝や休日の活動に参加しやすい比較的時間に余裕のある世代である65歳以上を対象として、認知度の向上を図る。シニア大学の受講対象にアンケート(紙媒体+イベント等での聞き取り)を実施し、認知度を測定する。
b 小中学生の通学中の事故、犯罪被害件数0件	R6:0件 R7:0件

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 指導員会活動への参加 ・街頭指導と青色防犯パトロール(月2回) ・各種交通安全指導(年数回) ほか	第1 ・委嘱事務が完了(規定数の委員確保) ・その他年間計画通りの活動の実施
② 組織運営事務 ・委嘱事務(任期:R7~8年度) ・定例指導員会の資料作成 ・交通誘導を要する行事主催者等との調整 ・指導員報酬の支払い(年2回)	第2 ・報酬支払(1回目)が完了 ・活動報告チラシの発行(1回目) ・その他年間計画通りの活動の実施
③ 交通事故・犯罪抑止や発生対策検討 ・交通事故や犯罪の発生状況を共有し対策検討	第3 ・その他年間計画通りの活動の実施
④ 広報活動 ・年2回活動報告チラシを発行し常会文書、シニア大学、保育園、小中学校等で配布 ・ホームページでも情報発信	第4 ・報酬支払(2回目)が完了 ・活動報告のチラシ発行(2回目) ・認知度アンケートの実施および集計 ・その他年間計画通りの活動の実施

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日: 令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	・指導員の委嘱完了(規定数の11人確保) ・活動の実施およびイベントへの参加(4月 小・保交通安全教室、6月 ほたる祭り)
第2	・報酬支払(1回目)→訂正:10月支払いは第3四半期が正規 ・活動報告チラシ(1回目)発行…未実施 ・活動の実施およびイベントへの参加(8月灯ろう流し、9月秋の交通安全運動)…完了 《指標》小中学生の通学中の事故、犯罪被害件数0件(R7年9月末時点)
第3	・報酬支払(1回目)済 ・活動報告チラシ(1回目)発行…未実施 《指標》小中学生の通学中の事故、犯罪被害件数0件(R7年12月末時点)
第4	

## 2. 令和7年度評価

1) R7年度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	交通安全協会運営支援事務		種別	主
概要	高森町交通安全協会の運営支援を行う。 S45 頃全国において交通死亡事故が多発し、国の施策として、免許証を所有する者の交通安全意識の高揚と運転技術の向上を目的として高森町交通安全協会が発足 S54 高森町交通安全協会発足  《業務内容》 高森町交通安全協会の運営支援、町補助金交付申請事務			
根拠法令等	・高森町交通安全条例 ・高森町交通安全協会規約			
上位施策	記号と名称		目的	
	I-5	「わたしが守る、みんなで守る。」安全で安心して暮らせるまち	交通事故が少なく治安も保たれ、安全な環境で安心して暮らせる。 町や警察等と協力して、町内の交通安全や防犯に対する意識を高めつつ、持続可能な体制維持・組織運営を実現している。 地域の協力を得て交通安全及び防犯に寄与する施設を整備・維持管理する。	
担当課	総務課	担当係	防災安全係	

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 高森町交通安全協会	自らが掲げる使命や目的の達成に向けて、効果的な活動を行う。
(2) 高森町交通安全協会	町民に活動を広く認知され理解を得ることで、持続可能な組織運営を実現している。
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 16歳以上の会員対象年齢人口(10月1日時点)に対する会員の割合	R6:52.3%(5,708人/10,898人) R11:48.5%(5,100人/10,520人) 直近5年で7.5%(年平均1.5%)減少しているため、減少率を5年間で半分の3.75%(年平均0.75%)減まで抑える。
B 会員総数に占める自治会未加入者の会員割合0.5%	R6:0% R11年度会員目標数5,100人の0.5%(約25人)

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 16歳以上の会員対象年齢人口(10月1日時点)に対する会員の割合	R6:52.3%(5,708人/10,898人) R7:51.5%(5,573人/10,822人)
b 会員総数に占める自治会未加入者の会員割合0.1%	R6:0%(0人) R7:約0.1%(5人/5,580人)
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 組織運営事務 ・支部長会(隔月開催)の通知発行、資料作成 ・交通安全運動人波作戦の支援 ・交通誘導を要する行事主催者との調整	第1 ・春の交通安全運動実施 ・安協だよりの発行 ・町民向けに会費の協力依頼が完了 ・その他年間計画通りの活動の実施
② 会計管理	第2 ・夏の交通安全運動実施 ・町から協会への交付金の支払い完了 ・その他年間計画通りの活動の実施
③ 広報活動 ・年に2回チラシを発行し活動報告を行う ・常会文書、シニア大学、保育園、小中学校等で配布 ・ホームページでも情報発信	第3 ・秋の交通安全運動実施 ・年末の交通安全運動実施 ・シニア交通安全教室の実施 ・交通安全施設の点検活動完了 ・安協だよりの発行 ・その他年間計画通りの活動の実施
④ 交付金の支払い	第4 ・1年間の振り返りと次年度事業計画の作成 ・その他年間計画通りの活動の実施

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	春の交通安全運動(4月6日~15日)期間中に人波作戦実施 安協だよりの発行済、会費の協力依頼済、各種活動が滞りなく実施されている。(支部長会4.6月)
第2	・夏の交通安全運動(7月11日~20日)、秋の交通安全運動(9月21日~30日)期間中に人波作戦の実施 ・町から協会への交付金…交付申請の完了(町からの交付金支払い時期は年度末に訂正) ・シニア交通安全川柳の募集開始~応募受付(募集期間:9月末まで)
第3	・年末の交通安全運動(12月15日~31日)期間中に人波作戦実施 ・シニア交通安全教室の実施…7名参加 ・交通安全施設の点検活動完了 ・安協だよりの発行…未実施
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		理由
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和 7 年度 事務事業マネージメントシート(計画)

作成日:令和7年 2月14日

事務事業名	交通安全住民大会開催事業		種別	主
概要	S62 年に高森町内で交通事故が多発し、全町を挙げて住民主体による交通事故防止を図ることを目的として開催。 《業務内容》 ・交通安全住民大会の開催支援(主催は区、安協) ・補助金の交付			
根拠法令等	高森町交通安全条例、高森町交通安全協会規約			
上位施策	記号と名称		目的	
	I5	「わたしが守る、みんなを守る。」安全で安心して暮らせるまち	交通事故が少なく治安も保たれ、安全な環境で安心して暮らせる。 町や警察等と協力して、町内の交通安全や防犯に対する意識を高めつつ、持続可能な体制維持・組織運営を実現している。 地域の協力を得て交通安全及び防犯に寄与する施設を整備・維持管理する。	
担当課	総務課		担当係	防災安全係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民	運転や交通マナーを見直し、自ら交通事故防止のための行動がとれるようになる
(2) 町民(安協、区)	地域の交通安全の意識の向上を目的としてイベントを開催する
(3)	

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 住民主体による交通安全啓発イベントの実施 1回	現状:年 1 回実施⇒R11 年度末:年 1 回実施(継続開催)
B	

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 住民主体による交通安全啓発イベントの実施 1回	現状:年 1 回実施⇒R7 年度末:年 1 回実施(継続開催)
b 参加者数 80 名以上	上市田区人口の1割(R6.12 末時点:820 人) (H29 年上市田開催参加人数 77 人)
c	

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 事前打合せ会議の開催	第 1
② 大会開催に向けた準備(準備品の調達、開催通知発送、広報等)	第 2 ・開催日の決定 ・大会内容の検討、決定
③ 大会開催運営	第 3 ・大会開催に向けた広報、準備 ・補助金の交付申請受付～交付決定
④ 補助金交付事務 ・主催者からの申請受付～交付決定 ・主催者からの実績報告受付～額確定	第 4 ・住民大会の開催(開催日によって前後する可能性あり) ・補助金の支払い完了

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	上市田区長、安協上市田支部長と開催の意向を確認
第2	・関係者打合せ会議を10月中で日程調整中(当該会議にて開催日や内容を検討)
第3	・大会開催日の決定 ・大会開催に向けた広報、準備 ・補助金の交付申請受付～交付決定・・・未実施
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)～(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	交通安全施設維持管理整備事業		種別	主
概要	住民が安全に町内の道路を通行できるよう、関係機関や地域と連携し町内の交通安全施設を適切に維持管理、または新たに設置する。 《業務内容》 ・地区計画を通じて把握した交通安全上の課題に対する対策の実施 ・安協による交通安全施設の点検に係る資材購入 ・交通回転灯の電気料支払い			
根拠法令等	高森町交通安全条例			
上位施策	記号と名称		目的	
	I5	「わたしが守る、みんなを守る。」安全で安心して暮らせるまち	交通事故が少なく治安も保たれ、安全な環境で安心して暮らせる。 町や警察等と協力して、町内の交通安全や防犯に対する意識を高めつつ、持続可能な体制維持・組織運営を実現している。 地域の協力を得て交通安全及び防犯に寄与する施設を整備・維持管理する。	
担当課	総務課		担当係	防災安全係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民(ドライバー)	交通安全施設が適切に維持管理、設置されることにより、交通事故(危険)を回避するための運転操作をすることができ、安全に道路を運転することができる。
(2) 町民(歩行者)	交通安全施設が適切に設置・維持管理されることにより、交通事故に巻き込まれることなく、安全に道路を通行利用することができる。
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 交通安全施設の整備率(交通危険個所の解消)	R6:33.3%(8件/24件) R11:50% 整備率:整備実施件数/ヒアリング結果に基づき整備が必要と判断される危険箇所件数
B	

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 交通安全施設の整備率(交通危険個所の解消)	R6:33.3% R7:36.7%(3.4%増) 整備率:整備実施件数/ヒアリング結果に基づき整備が必要と判断される危険箇所件数
b	
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 地区計画、小学校通学路点検に係る懇親会で挙げられた交通安全施設に係る地域要望を把握し、対応を検討する。	第1 ・小学校通学路点検の懇親会実施 ・高森安協へカーブミラーの清掃・点検資材の配布
② 交通安全施設の新設、維持に係る工事の発注	第2 ・小学校通学路点検の懇親会実施 ・交通安全施設工事の実施
③ 関係機関(道路管理者、警察)と連携し対応を要望	第3 ・交通安全施設工事完了 ・県、公安に交通安全施設要望が完了している
④ 交通安全の啓発を促す住民組織(交通防犯指導員会、高森町安協)と連携をとり、交通安全施設点検や青色防犯パトロールの実施により修繕が必要な交通安全施設の早期発見に努める。	第4

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日: 令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	高森安協へカーブミラーの清掃・点検資材の配布
第2	・小学校通学路点検の懇親会実施 →地区計画策定に向けて教委から自治会に情報共有済み
第3	・交通安全施設工事…未発注
第4	・交通安全施設工事…未発注

## 2. 令和7年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)			
①			
②			
③			
④			
2) 目標の達成度			
指標	令和7年度末の状況		
	実績		達成度
a			
b			
c			
(1)~(3)平均			
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度	
A			
B			
AB 平均			
3) 取り組みの効果の確認			
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。			

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)			
2) 次年度の事務事業のあり方			
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	変更内容・理由		
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	変更内容・理由		
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	変更内容・理由		

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	防犯施設維持管理整備事業		種別	主
概要	町民が安心して安全に暮らすことができるよう、防犯施設の維持管理、新設する。各区で実施する防犯施設等の維持管理を支援するため、補助金を交付。 《防犯灯の管理》 S58 までは全て町が設置、管理。 S59 から地元(区)が地区計画により設置、管理する方法に変更。 町は新設工事費に対して地元へ補助実施。 R5～から1級町道または県道沿いに設置された防犯灯は町で管理し、その他は区で管理。新設も同様。 《事務内容》 防犯施設(防犯灯、公共施設に係る防犯カメラ)の維持管理(修繕、電気料支払)、防犯施設の設置、各区への交付金支払、青色防犯パトロールの実施			
根拠法令等	高森町生活安全条例、高森町防犯及び交通安全推進交付金交付要綱			
上位施策	記号と名称		目的	
	I5	「わたしが守る、みんなで守る。」安全で安心して暮らせるまち	交通事故が少なく治安も保たれ、安全な環境で安心して暮らせる。 町や警察等と協力して、町内の交通安全や防犯に対する意識を高めつつ、持続可能な体制維持・組織運営を実現している。 地域の協力を得て交通安全及び防犯に寄与する施設を整備・維持管理する。	
担当課	総務課		担当係	防災安全係

1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民	防犯灯があることで防犯意識が高まるとともに、犯罪抑止効果により夜間でも安全に道路を通行することができる。
(2) 町民	青色防犯パトロールの実施によって防犯意識が高まるとともに、犯罪抑止効果により安心して暮らすことができる。
(3) 交通防犯指導員会	警察署と連携した防犯活動を実施し、町の治安を維持することができる。

2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 防犯灯設置基準に準じた防犯灯の設置率 100%	防犯灯の適切な維持管理に向けて、設置基準に照らして数量及び設置位置の適正化を図る。新設ばかりでなく不要な防犯灯は廃止が必要な場所への移設を検討する。
B 防犯灯の完全 LED 化 100%	2027 年末蛍光灯の製造中止による LED 化完全移行完了

2. 単年度計画(令和 7 年度)

1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 防犯灯等の設置基準の作成 100%	現状基準はなく地元が必要と感じるところに町からの交付金を活用して設置している。地域の主観ではなく、客観的かつ効果的な防犯施設の設置・管理がなされるよう新たに基準を設ける。
b 新設・修繕に伴う防犯灯(町管理に限る)の LED 化 100%	R6:防犯灯の新設、修繕時の LED 化は徹底されていない。 R7:防犯灯の新設、修繕時の LED 化 100%
c 各区に支給する交付金額の見直しの実施 100%	現交付金額には根拠がなく、防犯施設の適切な維持管理と効果的な活用のために、必要経費等の積み上げを以って算出する。(LED 化、設置場所の見直し等に係る経費等)

2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	
①	青色防犯パトロール ・小中学校職員または PTA と職員による青色防犯パトロールの実施 ・青色防犯パトロール実施者講習会の実施 (対象:役場職員、学校職員・PTA、指導員会)
②	防犯灯の LED 化 ・新設、修繕のタイミングで LED 化 ・防犯灯の LED 化状況の実態調査
③	高森町防犯及び交通安全推進交付金 ・交付金の交付 ・交付金額の見直し
④	防犯灯等の設置基準の作成

4 半期ごと目指す状態(スケジュール)	
第 1 期	・高森町防犯及び交通安全推進交付金の交付 ・青色防犯パトロール実施者講習会実施 (対象:役場職員)
第 2 期	・防犯灯の設置基準の作成 ・青色防犯パトロール実施者講習会実施 (対象:小中学校職員、PTA、指導員会)
第 3 期	・防犯施設新設工事完了 ・防犯及び交通安全推進交付金の金額見直し
第 4 期	・町防犯灯の修繕対応(随時)

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	・防犯灯の修繕対応…実績(報告:1件、対応済:1件) ・防犯及び交通安全交付金支払い済み。 ・役場職員向け青色防犯パトロール講習の実施済
第2	・防犯灯の設置基準の未実施 ・青色防犯パトロール実施者講習会(対象:小中学校職員、PTA、指導員会)…未実施
第3	・防犯灯の設置基準の未実施 ・青色防犯パトロール実施者講習会(対象:小中学校職員、PTA、指導員会)…令和8年度実施 ・防犯施設新設工事完了…未実施 ・防犯及び交通安全推進交付金の金額見直し…実施済
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネージメントシート(計画)

作成日:令和7年12月31日

事務事業名	広報誌発行事業		種別	主
概要	町民に行政情報を伝え、情報共有を図る目的で、昭和46年から「広報たかもり」を、昭和63年から「お知らせ版」を発行した。ごみ、健診、イベント情報など生活情報は分かり易く「お知らせ版」に分割。 町の行政情報・話題などを収集・編集し、広報などの紙媒体で発行し、情報を町民に伝える事業。「広報たかもり」(月1回)「お知らせ版」(月2回)約4千部を全世帯に配布。広報は関係機関、マスコミ、コンビニ、高森会、周辺自治体等にも配布。原稿作成後、業者にレイアウト・印刷委託。お知らせ版は役場の印刷機で作成。			
根拠法令等	高森町情報公開条例第3条第2項			
上位施策	記号と名称		目的	
	J1	町の情報が町民に伝わり、町民の思いが届くまち	町民がいつでも町へ想いを届けることができる 町民が必要な町の情報を知ることができる	
担当課	総務課		担当係	まちづくり振興係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民	町の動向について興味を持ち、広報誌から知ることができる
(2)	
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 広報アンケート 広報「あったかもり」/満足度	【現状】令和6年度実施 町民アンケート 満足・やや満足・どちらともいえない 91.8%(除不%) 令和11年度 満足・やや満足・どちらともいえない 95.0%(除不%)
B	

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 広報アンケート 広報「あったかもり」/満足度	【現状】令和6年度実施 町民アンケート 満足・やや満足・どちらともいえない 91.8%(除不%) 令和7年度 満足・やや満足・どちらともいえない 92.5%(除不%)
b	
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 広報アンケートの実施(毎月)	第1 広報アンケートが始まっている
② 第1回目の新聞媒体による発行を行う	第2 随時アンケート結果を集計している
③ 第2回目の新聞媒体による発行が行われ、効果が検証されている	第3 アンケート結果をもとに改善案が考えられている
④ 年間2回の広報誌全戸郵送で、町民の情報取得がスムーズに行える。	第4 次年度の広報誌の改善案ができている

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	広報アンケートを毎月実施、新聞紙面への広報誌掲載に向けた準備実施
第2	広報アンケートを毎月実施、新聞紙面への広報誌掲載(9月)
第3	広報アンケートを毎月実施、町内全戸配布(10月)、新聞紙面への広報誌掲載(11月)、
第4	

## 2. 令和7年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年12月31日

事務事業名	ホームページ管理運営事業		種別	主
概要	<p>平成16年度にホームページ開設。平成20年度にホームページ支援システム(CMS)を導入。令和5年10月にCMSの入れ替えを行った。 職員1人1人のページ作成が可能となり、より多くの情報を公開することを進めている。</p> <p>町のホームページの管理などを行う。担当者はアップされた記事のチェックや更新されないなどのトラブルの対応を行う。また町の条例や主要な情報ページなどの更新を行う。事業費はホームページ作成支援システム(CMS)リース料・同システム保守料</p>			
根拠法令等	—			
上位施策	記号と名称		目的	
	J1	町の情報が町民に伝わり、町民の思いが届くまち	町民が必要な町の情報を知ることができる	
担当課	総務課		担当係	まちづくり振興係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民	時間や場所を選ばず、必要な町の情報を得ることができる
(2) 職員	最新かつ適正な情報を掲載・配信する
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 広報アンケート 町の公式ホームページ/満足度	【現状】令和6年度実施 町民アンケート 満足・やや満足・どちらともいえない 90.0%(除不%) 令和11年度 満足・やや満足 95.0%(除不%)
B	

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 広報アンケート 町の公式ホームページ/満足度	【現状】令和6年度実施 町民アンケート 満足・やや満足・どちらともいえない 90.0%(除不%) 令和7年度 満足・やや満足・どちらともいえない 91.0%(除不%)
b	
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 新規採用職員を含む、操作に不安のある職員に対する操作研修の実施	第1 全職員が基本的操作を把握している
② 他自治体のCMS運用ルールを参考に運用ルールの作成	第2 CMSの運用ルールを作成している
③ 適切なページのみが掲載されているように職員に周知	第3 CMSの運用ルールが周知されている
④ 不要なページが適切に処理されている	第4 適切なページが公開されている

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	職員に対しての操作研修の実施、CMS 運用ルール策定中
第2	CMS 運用ルール策定中、HP 管理運営システムのバージョンアップの準備実施
第3	CMS 運用ルール策定中、HP 管理運営システムのバージョンアップの準備実施
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①	4月9日、新規採用職員向けに操作研修を実施。	
②	保守委託業者と協議しながら運用ルールの内容検討を実施。	
③	運用ルールの周知は未実施。 運用ルールに基づくシステム支援の内容検討を実施。(公開期間の設定漏れアラートなど)	
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		理由
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 12 月 31 日

事務事業名	SNS管理運営事業		種別	主
概要	高森町から発信する情報を町内外へ効率的に発信するために 2011年にX(旧Twitter)のアカウントを開設。 2017年にInstagramのアカウントを開設。 2018年にLINEのアカウントを開設。 ※Facebookは開設時期不明。かつ、現在アカウント凍結に伴い、ログイン不可。  LINEを中心にSNSを活用した情報配信を実施。			
根拠法令等	—			
上位施策	記号と名称		目的	
	J1	町の情報が町民に伝わり、町民の思いが届くまち	町民が必要な町の情報を知ることができる	
担当課	総務課	担当係	まちづくり振興係	

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民や町外者	SNSを通じてほしい情報を入手することができる
(2) 町	SNSで伝えたい情報を発信できる
(3)	

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 高森町公式 LINE の登録者数	【現状】4,413 人 7,000 人 ※(令和 7 年 1 月 1 日時点)18歳~84歳 9,741 人の 70%
B	

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 高森町公式 LINE の登録者数	【現状】4,413 人(令和7年1月20日時点)(LINE 表示上) 5,000 人 ※年間 500 人ほど増やして、令和 11 年末の目標を目指す
b 誤った情報の配信数	【現状】2 件 0 件
c	

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)
① 投稿する際のダブルチェックを実施し、誤った情報の投稿を減らす
② 登録者数の母数を増やすため、広報誌へ毎月アンケートを掲載し、LINE からのみの回答として、登録者増へつなげる
③ 他の配信システムとの住み分けを整理する
④ LINE の検証を行い、次年度以降の改修について検討がされている

4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
第 1 LINE の登録者 4,600 人
第 2 LINE の登録者 4,750 人
第 3 LINE の登録者 4,900 人
第 4 LINE の登録者 5,000 人

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	LINE を通じた配信を適宜実施、誤配信件数 0 件、LINE の登録者数 4,707 人
第2	LINE を通じた配信を適宜実施、誤配信件数 0 件、LINE の登録者数 4,789 人、LINE 登録者数を増やすために各種イベント(わかもの、男女共同参画等)の申込を LINE のみとした
第3	LINE を通じた配信を適宜実施、誤配信件数 0 件、LINE の登録者数 4,862 人(12/12 時点)、LINE 登録者数を増やすために各種イベント(男女共同参画)の申込を LINE のみとした ふるさと祭りでも、アンケート回答をLINEのみとした。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)			
2)次年度の事務事業のあり方			
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	変更内容・理由		
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	変更内容・理由		
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	変更内容・理由		

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年12月31日

事務事業名	自主放送番組制作事業		種別	主
概要	<p>自主放送番組の編成および企画・制作(取材・編集)等をしてコミュニティチャンネルで放送する。その他、文字放送や音声放送で告知や行政情報の発信を行う。入学式、運動会、卒業式などの大規模行事の番組制作は外部へ委託。</p> <p>平成15年10月、有線の老朽化に伴いケーブルテレビの新規設置をしたところ、町の問題を映像で見たいといった多くの要望に基づき、自主放送を開始。</p>			
根拠法令等	放送法、高森町ケーブルテレビ放送番組審議会規則			
上位施策	記号と名称		目的	
	J1	町の情報が町民に伝わり、町民の思いが届くまち	町民が、いつでも町へ想いを届けることができる 町民が、必要な町の情報を知ることができる	
担当課	総務課		担当係	まちづくり振興係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

	対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1)	ケーブルテレビ加入者含む、コミュニティチャンネルが視聴可能な町民	映像や音声放送から地域の出来事や町の情報を得ることができる
(2)		
(3)		

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

	指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A	放送日数	365日
B	CATV	方針に基づき新たな仕組みで運営されている

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

	指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a	放送日数	365日
b	企画番組制作本数	200本(R5:191本(ニュース49本、企画・スポット142本))
c		

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)		4半期ごと目指す状態(スケジュール)	
①	イベントや学校行事の取材、通信員からの素材提供、企画番組の制作をする	第1	作成された番組により、町の出来事や情報を得られている
②		第2	作成された番組により、町の出来事や情報を得られている
③		第3	作成された番組により、町の出来事や情報を得られている
④		第4	作成された番組により、町の出来事や情報を得られている

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	企画番組制作本数 77 本(ニュース 46 本、企画・スポット 31 本)、地区通信員会議実施
第2	企画番組制作本数 113 本(ニュース 68 本、企画・スポット 45 本)
第3	企画番組制作本数 103 本(ニュース 44 本、企画・スポット 59 本)
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)

①

②

③

④

2)目標の達成度

指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		

3)取り組みの効果の確認

※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)

2)次年度の事務事業のあり方

拡充  維持  理由

縮小  廃止

目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	文書発送事務	種別	主
概要	(開始動機・時期) 高森町文書取扱規程(昭和44年4月1日規程第1号) 適切な方法で、適時かつ効率的に文書を発送(送達)することができるため。  (事業概要) ・役場から発出される郵便や配送物が、適時適切な送り先に届く ・常会文書の配布にむけた準備及び郵便料・運搬料の支払い ・常会文書の効率的な配布方法について、検討をすすめる		
根拠法令等			
上位施策	記号と名称		目的
	J1	町の情報が町民に伝わり、町民の思いが届くまち	町民が、いつでも町へ想いを届けることができる 町民が、必要な町の情報を知ることができる
担当課	総務課	担当係	総務係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 役場から出る郵便・配送物	適時・適切な送り先に届く。
(2) 毎月の文書配布	文書の配布と、常会長手当の支払いが滞りなく行われる。
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 毎月の文書の発送が間違いなく届いている。 過不足の問合せ件数:0件	毎月の文書発送が滞りなく完了しているが、より効率的な配布が課題。電子化の推進、HP・SNS等の活用により文書配布の量を減らす、もしくは配布しなくてもよい仕組みを作ることが目標。
B	

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 毎月の文書の発送が間違いなく届いている。 過不足の問合せ件数:0件	毎月の文書発送が滞りなく完了しているが、より効率的な配布が課題。配布物の量を減らすため、発信者の精査をする。役場発信のもの、高森町後援・協賛のお知らせ等以外の外部のものは受け付けないことにより、配布物を減らす。
b	
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	
①	毎月2回の文書配布(部数確認作業) 棚入れの際に間違いがないよう、毎回事前に各常会の配布数を確認しておく。常会の加入脱退届出の状況を把握しておく。
②	前月分の余り(戻ってくる配布物)の数を確認し、施設ごとに配布数を見直すことで、印刷部数を減らし無駄を無くす。
③	翌年度常会編成表の取りまとめ (毎年度編成表を更新、各地区・常会と戸数など状況を確認・共有し、必要な分の配布物を準備。配布漏れや無駄を無くす。)
④	配布物の精査 (外部の配布物の割合、お知らせ版の内容と配布物の重複の確認などをし、不要な配布物を無くす。)

4半期ごと目指す状態(スケジュール)	
第1	・毎月の文書の発送、郵便・運搬料の支払いが滞りなく行われている。 ・4月発送のエリアメールの送達完了している。
第2	・毎月の文書の発送、郵便・運搬料の支払いが滞りなく行われている。 ・10月発送のエリアメールの配達準備が完了している。
第3	・毎月の文書の発送、郵便・運搬料の支払いが滞りなく行われている。 ・10月発送のエリアメールの送達完了している。
第4	・毎月の文書の発送、郵便・運搬料の支払いが滞りなく行われている。 ・常会長手当の支払いが完了している。

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	毎月の文書発送、郵便・運搬料の支払い完了。 4月発送エリアメール(広報全戸配布)の送達完了。
第2	毎月の文書発送、郵便・運搬料の支払い完了。 10月発送エリアメール(広報全戸配布)の配達準備完了。
第3	毎月の文書発送、郵便・運搬料の支払い完了。 10月発送エリアメール(広報全戸配布)の送達完了。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①	毎月2回の文書配布(部数確認作業)実施。	
②	毎月2回の文書配布(部数確認作業)実施。	
③	毎月2回の文書配布(部数確認作業)実施。	
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	予算の編成と執行管理事務		種別	主
概要	一年間の行動計画を金額であらわした「予算」の執行方針を示し、各会計予算がそれに則り執行されるための環境を整える。また、予算決定後生じた変更の必要に応じ、補正予算を編成する。次年度に向け、国の地方財政計画、町の現状を踏まえ編成方針を示し、それに則り各課要求と財源を調整し、予算を編成する。			
根拠法令等	地方自治法第211、218、220条、地方財政法、高森町財務規則第2章第1,2節			
上位施策	記号と名称		目的	
	J2	「充実した暮らしのために」健全で安定した財政運営	町の財政が計画的・効率的に運営される	
担当課	総務課	担当係	財務係	

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 職員	適正に予算を編成する
(2) 職員	適正に予算を執行する
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 実質公債費比率	R5:8.3% R11:18%以下 国が示す財政健全化の指標として採用。
B 単年度収支黒字化	R5:赤字(▲46,159千円) R11:黒字 赤字が複数年継続すると財政的に注意が必要なため指標として採用。

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 実質公債費比率	R5:8.3% R7:18%以下 国が示す財政健全化の指標として採用。
b 職員への予算適正執行を促す説明会及び通知での依頼数	R5:2回 R7:年4回以上 職員へ早期執行、適正執行を説明会・通知で促すことにより適正に予算が執行される
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 予算の適正編成・執行のための説明会の実施	第1 予算が作成され、適正な執行ができている 職員への予算執行状態の周知が行われている。
② 予算編成でのヒアリング強化	第2 適正な予算執行ができている 職員への予算執行状態の周知が行われている。
③ 予算の適正執行のため、早期実施に係る執行状態の周知	第3 予算編成方針会議が開催され、方針が共有されている 職員への予算執行状態の周知が行われている。
④	第4 予算ヒアリング、予算査定により、財政健全化に向けた適正な予算が作成されている 職員への予算執行状態の周知が行われている。

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	4/2 執行方針会議開催、出納閉鎖期間の職員への適正執行周知、6月補正予算執行
第2	7月決算監査実施、8月決算審査実施、9月補正予算執行、決算統計、健全化判断比率算定作業実施
第3	12月補正予算執行、1月補正予算対応、11/27 予算編成方針会議開催
第4	

## 2. 令和7年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	町有財産(土地・建物)維持管理事業		種別	主
概要	町で保有する財産の維持管理や売却及び貸付を行うことで、効率的・効果的な管理と財源の確保を行う。 商工会等が例年実施していただいている公共施設の奉仕作業について、要望箇所の取りまとめや作業依頼箇所の立ち合いを行い、作業実施時の資材費を支払う。			
根拠法令等	地方自治法第149条、同法第9節(財産)、同法施行令、財務規則 公共施設等総合管理計画、公共施設個別施設計画			
上位施策	記号と名称		目的	
	J2	「充実した暮らしのために」健全で安定した財政運営	町有財産が計画的に維持管理・更新される	
担当課	総務課		担当係	財務係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町有財産	適切に維持管理され、有効に活用される
(2)	
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 賃借料・使用料収入率	町有財産の貸付に伴う請求を漏れなく行い、賃借料を確実に収受することで、財源を確保する。 (R05実績:100%→R11:100%)
B	

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 賃借料・使用料収入率	町有財産の貸付に伴う請求を漏れなく行い、賃借料を確実に収受することで、財源を確保する。(R07:100%)
b	
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① ・維持管理協定・賃貸借契約の締結 上の平花の会との年間の維持管理協定の締結や、事業所等との賃貸借契約の締結による貸付	第1 通年の契約や協定の締結が年度初めに完了している
② ・短期の町有地の貸付 事業所等からの町有財産使用許可申請について、申請内容を確認し許可書を交付	第2 町有財産使用許可申請について随時受付を行い、もれなく使用料の調定・請求・収受が行われている
③ ・総務課管理の町有地の方向性の検討 やまぶき邸、旧吉田河原保育園等について、有効に活用されるよう売却も含めて検討	第3 やまぶき邸等の方向性を検討が行われている
④	第4 賃借料・使用料の収入状況を確認行い、年度内に漏れなく収受できている

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年9月30日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	6/29 飯田下伊那建設労連による公共施設の奉仕作業実施。短期の町有地貸付3件受付。上の平花の会との協定書締結
第2	短期の町有地貸付1件受付。
第3	短期の町有地貸付4件受付。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和 7 年度 事務事業マネージメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	公会計整備事務		種別	主
概要	<p>経緯:地方公会計の整備について、行政改革推進法(H18 法律第 47 号)において財務書類等の作成が要請され、H27~29 のうちに全ての地方公共団体において統一的な基準による地方公会計を整備するよう総務省から要請され、整備することとなった。</p> <p>事業概要:本町の財務状況を正しく把握するため、固定資産台帳を整備及び毎年度更新し統一的な基準による地方公会計制度に対応した財務諸表(貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書)を作成する。</p>			
根拠法令等	総務大臣通知(平成 26 年 5 月 23 日総財務第 102 号)			
上位施策	記号と名称		目的	
	J2	「充実した暮らしのために」健全で安定した財政運営	町の財政が計画的・効率的に運営される 町有財産が計画的に維持管理・更新される	
担当課	総務課		担当係	財務係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 固定資産台帳	正しく管理される
(2) 財務 4 表	正しく作成される
(3)	

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 固定資産台帳整備	R5:100% R11:100% 法律に基づき適正に作成されることで目的に寄与する
B 財務 4 表整備	R5:100% R11:100% 法律に基づき適正に作成されることで目的に寄与する

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 固定資産台帳整備	R5:100% R7:100% 法律に基づき適正に作成されることで目的に寄与する
b 財務 4 表整備	R5:100% R7:100% 法律に基づき適正に作成されることで目的に寄与する
c	

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)		4 半期ごと目指す状態(スケジュール)	
①	固定資産台帳整備のための資料収集	第 1	固定資産台帳整備・財務 4 表整備に係る業者委託 職員への資料提供依頼
②	財務 4 表整備のための資料収集	第 2	固定資産台帳整備・財務 4 表整備に係る職員への資料提供依頼及び委託業者との調整
③	財務 4 表の公表	第 3	固定資産台帳整備・財務 4 表整備に係る職員への資料提供依頼及び委託業者との調整
④	固定資産台帳のシステムへの反映	第 4	固定資産台帳システムへの反映 作成された財務 4 表の公表

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	5/22 委託事業者の依頼による固定資産台帳整備のための資料収集実施。
第2	第1 四半期に続き、固定資産台帳整備のための資料収集、財務書類作成のためのデータ作成実施
第3	第1 四半期に続き、固定資産台帳整備のための資料収集、財務書類作成のためのデータ作成実施
第4	

## 2. 令和7年度評価

1) R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2) 目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3) 取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1) 計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2) 次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	町税徴収事務		種別	主
概要	・課税された町税の収納管理を正確に行うと共に、未納者に督促や催告を行い、さらには、滞納整理、財産調査・差押え等の滞納処分を行なう。収納担当者会議により、税外徴収部所との連携を図り滞納整理に当たる。 ・長野県地方税滞納整理機構等への移管を積極的に活用し、収納率の向上を図る。			
根拠法令等	地方税法、国税徴収法、高森町税条例、国民健康保険条例、民法			
上位施策	記号と名称		目的	
	J2	「充実した暮らしのために」健全で安定した財政運営	町の財政が計画的・効率的に運営される	
担当課	税務会計課		担当係	収納係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 納税者	町税を期限内に納入する
(2) 滞納者	滞納税を早期に納入する
(3)	

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 収納率	令和 5 年度 98.9%⇒令和 11 年度 99.0%
B	

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 収納率	令和 5 年度 98.9%⇒令和 7 年度 98.9% 技能実習生の外国人が滞納したまま帰国してしまう案件が増加しているが、現状維持を目指す。
b	
c	

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)
① 死亡者課税となっている案件を、税務会計係と協力し相続人を特定の上、徴収に努める。
② 滞納者を洗出し、催告書を送付し納税を促す。(現年・滞線)
③
④

4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
第1 調査して相続人が判明している案件を早急に賦課替えし、徴収に繋げる。
第2 滞納者を洗出し、催告書を送付し納税を促す。
第3 滞納者を洗出し、催告書を送付し納税を促す。 実態調査・給与照会を行い、差押に繋げる。
第4 滞納者を洗出し、催告書を送付し納税を促す。 滞納整理機構移管対象者を洗出し、予告書を送付する。

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	相続人調査の実施。課税側への賦課替え依頼。
第2	相続人調査の実施。課税側への賦課替え依頼。催告書発送。(現年度)
第3	催告書発送 11/26 327 通。実態調査 40 件。給与照会 44 件実施。
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)	
①	新規相続人調査 1 件 課税側へ賦課替え依頼済み 4 件 相続人へ 現所有者の届出依頼 1 件
②	新規相続人調査 1 件 課税側へ賦課替え依頼済み 1 件 催告書発送 8/25 293 人
③	催告書発送 11/26 327 人 実態調査 40 件 給与照会 44 件実施
④	
2)目標の達成度	
指標	令和7年度末の状況
	実績 達成度
a	
b	
c	
(1)~(3)平均	
指標	令和7年度末実績 令和11年度末実績・達成度
A	
B	
AB 平均	
3)取り組みの効果の確認	
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。	

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)	
2)次年度の事務事業のあり方	
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由
目的	変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由
目標	変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由
取り組み	変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由

# 令和7年度 事務事業マネージメントシート(計画)

作成日:令和7年2月14日

事務事業名	町県民税賦課事務		種別	主
概要	<p><b>令和8年度 主要の事務事業でなくてよいのでは</b>                  個人町民税、法人町民税の適正な賦課を行う                  ①個人町民税:1月1日現在、町内に居住する町民に対して、町県民税の申告書、所得税の確定申告書、給与・年金支払報告書等を基に、前年中の所得に対する町県民税を賦課する。                  ②法人町民税:町内に事業所のある法人から申告を受け、法人町民税を賦課する。</p>			
根拠法令等	地方税法、地方税施行令、高森町税条例			
上位施策	記号と名称		目的	
	J2	「充実した暮らしのために」健全で安定した財政運営	町の財政が計画的・効率的に運営される	
担当課	税務会計課		担当係	税務会計係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和11年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 個人住民税と法人住民税	適正に課税される
(2)	
(3)	

### 2)令和11年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 課税漏れ件数	令和6年度0件⇒令和11年度0件
B	

## 2. 単年度計画(令和7年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和7年度末の値と設定根拠
a 課税漏れ件数	令和6年度0件⇒令和7年度0件
b	
c	

### 2)取り組みと4半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 課税資料により課税作業	第1 納税通知書の発送
② 課税資料が無い個人住民税未申告者の調査 個人住民税の重複扶養調査	第2 申告書が提出され、また、扶養控除の是正により正しく課税がされる。
③ 申告相談に向けての準備	第3 給与支払い報告書総括表の発送 申告相談のライン予約システム構築
④ 申告相談 R8年度当初課税	第4 申告相談用課税データの入力 申告相談受付と税務署への申告書送信 R8年度当初課税データの入力

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和 7 年 12 月 31 日

## 1. 令和 7 年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	個人住民税の賦課決定と納税通知書の発送。
第2	扶養是正での住民税の更正。
第3	給与支払い報告書総括表の発送。
第4	

## 2. 令和 7 年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)	
①	個人住民税納税義務者数(R7.6 月末 6,883 名)。
②	扶養是正での住民税更正者数(15 名) 所得調査による更正者数(1 名)
③	給与支払い報告書総括表の発送(846 件)
④	
2)目標の達成度	
指標	令和 7 年度末の状況
	実績 達成度
a	
b	
c	
(1)~(3)平均	
指標	令和7年度末実績 令和 11 年度末実績・達成度
A	
B	
AB 平均	
3)取り組みの効果の確認	
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。	

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)	
2)次年度の事務事業のあり方	
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由
目的	変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由
目標	変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由
取り組み	変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

<b>事務事業名</b>	職員採用・定員管理事務	<b>種別</b>	<b>主</b>
<b>概要</b>	(開始動機・時期) 町政施行以来  (事業概要) 定員管理計画に基づいて、毎年度必要な人数の正規職員を採用する事務。		
<b>根拠法令等</b>	高森町定員管理計画、地方公共団体における適正な定員管理の推進について		
<b>上位施策</b>	記号と名称	目的	
	J3	「町民の夢や希望を支え、後押しする」持続可能な役場組織 職員が全体の奉仕者として、誠実かつ公正に職務を遂行する 職員数が適正な水準を保つ 職員が組織に愛着を持ち、主体的に業務に取り組む	
<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 職員数	適正な水準を保つ
(2)	
(3)	

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 正規職員数	118 人 高森町定員管理計画
B	

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 採用人数	3人 ※R8.4.1 現在の正規職員数が 113 人となるように採用人数を決定 高森町定員管理計画
b	
c	

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 26 卒者(大卒・短大卒)対象 職員採用試験 (R7.4)	第1 大卒・短大卒(26 卒)の採用試験が終了し、必要人数に対する内定出しが終わっている。
② 26 卒者(高卒)対象 職員採用試験 (R7.9 月)	第2 ①高卒採用のスケジュール作成、及び各高校への周知が完了している。 ②インターンシップ(夏)を実施
③ 27 卒者向けインターンシップ実施 夏・冬各1回	第3 ①高卒採用の採用試験が終了し、必要人数に対する内定出しが終わっている。 ②インターンシップ(冬)を実施
④	第4 定員管理計画、令和 8 年 4 月 1 日現在で必要とされる人員を確保できている。

# 令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

## 1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	予定通り完了
第2	予定通り完了
第3	①高卒採用者への内定出しは完了。しかしながら、来年度当初の必要人員未達のため採用試験(一般行政職、保育士)を追加で実施(選考中) ②2月実施に変更
第4	

## 2. 令和7年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①	26 卒(大卒・短大卒)対象の職員採用試験(R7.4):予定通り1回実施。申込み9人、内定2人	
②	26 卒(高卒)対象の職員採用試験(R7.9):予定通り1回実施。申込み1人、内定1人	
③	高校生インターンシップ夏(R7.7、8):予定通り1回実施。参加者7月3名、8月2名 大学生インターンシップ夏(R7.8):予定通り1回実施。参加者9名 大学生インターンシップ冬:第4 四半期実施に変更	
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和 7 年度 事務事業マネージメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	職員の研修に関する事務		種別	主
概要	(開始動機・時期) 地方公務員法の公布(昭和25年12月)以降 (事業概要) 外部研修機関(市町村職員研修センター等)が実施する各種職員研修への参加、町独自の研修計画に基づく職階層ごとの研修の実施等、職員の能力開発及び人材育成を行う事務。研修メニューの選定、参加職員の決定(募集又は、指示、職員の希望申出)、申込、必要に応じて研修費用(負担金、委託料等)の支出。			
根拠法令等	地方公務員法第 39 条、高森町人材育成基本方針			
上位施策	記号と名称		目的	
	J3	「町民の夢や希望を支え、後押しする」持続可能な役場組織	職員が全体の奉仕者として、誠実かつ公正に職務を遂行する 職員数が適正な水準を保つ 職員が組織に愛着を持ち、主体的に業務に取り組む	
担当課	総務課		担当係	総務係

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 職員	人材育成基本方針に基づいて、必要な研修を受講することができる。
(2)	
(3)	

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 専門研修の受講者数	現状 32% 11 年度末 60% 担当業務に関する専門知識を有する職員を一定数安定的に確保していくため、全職員のおよそ8割程度は毎年度何らかの専門研修を受講している状態とする。そのために、係ごと必要となる研修をリスト化し、計画的に受講できるような仕組みを構築する。
B 研修派遣職員数	現状 1人 11年度末 3人 多様な経験と広い視野を持った職員を育成するため、国県・民間企業への研修派遣を恒常的に実施する。

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 専門研修の受講者割合	現状 32%(34 人/105 人) 7年度末 40%(50 人/110 人)
b 研修派遣職員数	現状 1人 7年度末 1人
c	

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
① 係ごと必要となるスキル及びそれを身に着けるのに必要な研修をリスト化する	第 1 ①ヒアリングシートを作成する
② 研修派遣先の候補を調査・選定する	第 2 ①各係にヒアリングシートの作成を依頼。上半期を期限として提出してもらう。 ②研修派遣先の調査を開始する
③	第 3 ①ヒアリングシートを基に次年度予算要求 ②次年度派遣先候補を確定させる。
④	第 4

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和 7 年 12 月 31 日

## 1. 令和 7 年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	受講者数の進捗状況:6 人 ヒアリングシートの作成に着手
第2	受講者数の進捗状況:13 人 ヒアリングシートの作成については、必要性を含めた再検討に着手
第3	受講者数の進捗状況:16 人 ヒアリングシートの作成については、来年度予算編成の中で協議
第4	

## 2. 令和 7 年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和 7 年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和 11 年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	職員健康診断実施事業		種別	主
概要	(開始動機・時期) 規程第5号 昭和52年9月13日より施行 職員の健康の保持及び増進を図るため、労働安全衛生法及び地方公務員法の規定に基づき、職員の衛生並びに健康管理について必要事項を定めなければならないため。 (事業概要) ・職員が労働安全衛生法に基づいて健康診断を受診し、自身の健康状態を把握することができる。 ・全ての職員が法に基づいた健康診断を受診できるように手配するとともに、共済組合から必要な助成等を受けられるように事務を行う。 ・共済組合への助成申請を各自で行うため、申請漏れがないよう手順等の周知・サポートをする。			
根拠法令等	労働安全衛生規則／第四十四条 高森町職員衛生健康管理規定／第5編 人事 第5章 職員厚生			
上位施策	記号と名称		目的	
	J3	「町民の夢や希望を支え、後押しする」持続可能な役場組織	職員が全体の奉仕者として、誠実かつ公正に職務を遂行する 職員数が適正な水準を保つ 職員が組織に愛着を持ち、主体的に業務に取り組む	
担当課	総務課	担当係	総務係	

1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 全ての職員	労働安全衛生法に基づいて健康診断を受診する。
(2) 全ての職員	自身の健康状態を把握し、健康管理に努める。
(3) 全ての職員	心身ともに健康な状態で業務に取り組む。

2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A 職員の健康診断受診	労働安全衛生法により事業者は常時使用する労働者に対し、一年以内ごとに一回、定期的に医師による健康診断を行わなければならない。引き続き、毎年職員の健康診断受診率 100%を達成する。
B	

2. 単年度計画(令和 7 年度)

1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a 職員の健康診断受診	労働安全衛生法により事業者は常時使用する労働者に対し、一年以内ごとに一回、定期的に医師による健康診断を行わなければならない。引き続き、職員の健康診断受診率 100%を達成する。
b	
c	

2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)	
①	・健康診断申込書の取りまとめ 人間ドックは各医療機関へ予約、ヘルススクリーニング日程調整。受診日通知、問診票配布。
②	・胸部レントゲンの検診(2 回) 問診票配布と検診日当日の受付対応等。
③	・人間ドック等健診料助成申請 受診者の申請完了チェック、助成券発行。
④	

4 半期ごと目指す状態(スケジュール)	
第1	すべての健診機関との契約が完了している。 すべての職員の健診予定を把握し、予約等の事前対応が完了している。
第2	ヘルススクリーニング及びレントゲン検診の 1 回目が終了し、ヘルス希望の職員の 7 割程度が受診を終了している。
第3	すべてのレントゲン検診受診対象者が受診を終えている。
第4	すべての職員が健康診断の受診を終えている。

令和7年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和7年12月31日

1. 令和7年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	健診機関との契約完了。全ての職員の予約済み。各職員へ受診日通知済み。
第2	ヘルススクリーニング及びレントゲン検診の1回目が終了し、ヘルス希望の職員の9割程度が受診を終了している。
第3	すべてのレントゲン検診受診対象者が受診を終えている。
第4	

2. 令和7年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①	健康診断申込取りまとめ完了。人間ドックは各医療機関へ予約済み。ヘルススクリーニング日程調整済み。受診日通知、問診票配布完了。	
②	レントゲン検診2回目を実施予定、検診機関へ予約済み。通知日通知、検診票配布完了。	
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和7年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和11年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(計画)

作成日:令和 7 年 2 月 14 日

事務事業名	DX推進管理事業		種別	主
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報事務機器管理事業 PC、プリンター、Wi-Fi 機器等の管理を行い、適切な時期に更新および調達を行う。</li> <li>・インターネット・電話通信管理事業 インターネットの接続および電話等の保守を行う。</li> <li>・基幹系システム管理事業 町民サービスの向上と事務の効率化を目的として、住民記録・税・国保等の基幹系システムの安定的な運用・管理を行う。</li> <li>・LG系システム管理事業(名称変更あり) LG 領域で使用するソフト全般の管理を行う(GW、ファイルサーバ、電子請求書システム、LOGO チャット、LOGO フォーム等)</li> <li>・行政間ネットワーク管理事業 自治体間のネットワークを相互接続した広域ネットワーク(総合行政ネットワークシステム(LGWAN)等の行政間ネットワークの運用管理を行う。</li> </ul>			
根拠法令等	自治体DX推進計画、高森町DX推進計画			
上位施策	記号と名称		目的	
	J3	「町民の夢や希望を支え、後押しする」持続可能な役場組織	職員が全体の奉仕者として、誠実かつ公正に職務を遂行する 職員が組織に愛着を持ち、主体的に業務に取り組む	
担当課	総務課	担当係	財務係	

## 1. まちづくりプラン計画期間(令和 11 年度末)

### 1)事務事業目的

対象(誰、何が)	意図(どのようになる)
(1) 町民	各種手続きや通知書類がオンライン化され、煩わしさを感じない。
(2) 職員	高い業務効率の中で働くことができ、本来の業務に集中できる。
(3) 事務機器	事務機器が過不足なく管理され、不測の事態に対応ができる。

### 2)令和 11 年度末目標(長期的な成果指標)

指標	現状と令和11年度末の値と設定根拠
A オンライン申請が可能な事務の件数	国が定める優先的にオンライン化を推進すべき手続(55 手続)を中心にオンライン化する。目標値:33件(6割) R6 年度末時点:8/55件 ※国全体のオンライン化率が 6 割
B 重大アクシデントの発生件数	現状:0件、目標:0件 (重大アクシデント:業務に著しい影響のある事例)

## 2. 単年度計画(令和 7 年度)

### 1)単年度目標(単年度の成果指標)

指標	現状と令和 7 年度末の値と設定根拠
a オンライン申請が可能な事務の件数	現状0件。令和7年度末時点で6件(2ヶ月に1件拡充)
b 請求書電子化アカウント発行数	請求書電子化システムを導入。令和7年度末時点で300件の企業にアカウント ID を発行する。(国補助金の KPI)
c 重大アクシデントの発生件数	現状:0件、目標:0件 (重大アクシデント:業務に著しい影響のある事例)

### 2)取り組みと 4 半期ごと目指す状態

取り組み(具体的手段)
① オンライン申請が可能となる項目の洗い出しを行い、効果の高いと思われる項目を選定。内部体制を整えた後にオンライン申請の窓口を開設。
② 飯田市と共同で新地創交付金を活用し、請求書電子化の構築。12 月を目途にシステムの実装を目指す。
③ R7. 9月に基幹系システムの標準化対応が完了。同タイミングで基幹系PCおよびプリンターを更新。最適な台数を把握し調達する。
④ 職員が起因となって発生するアクシデントを防ぐため、セキュリティ研修を行う。

4 半期ごと目指す状態(スケジュール)
第1 ・オンライン申請の対象業務を選定し構築開始。月 1 件ずつ拡充していく。 ・電子請求書受け取りシステム発注 ・DX推進MTGを定期的に開催し、案件を研究・選定する
第2 ・基幹系システムを標準化移行し、PCおよびプリンター更新。 ・請求書電子システムの課題整理を行い、職員へ説明会を実施する。
第3 ・電子請求書システム稼働開始。 ・年次の浅い職員を中心に研修を行う。
第4 ・導入した各種システムの効果を検証する。 ・DX推進MTGで検討した内容を来年度予算に向けて予算要求を行う。

# 令和 7 年度 事務事業マネジメントシート(進行管理・評価・改善)

最終更新日:令和 7 年 12 月 31 日

## 1. 令和 7 年度進行管理

4 半期ごとの実績	
第1	① 選定のための会議を開催 ②プロジェクトチームを発足しキックオフ ③プロジェクトチームを発足しキックオフ ④戸籍住民係と調整中
第2	① 申請可能な業務を検討②要件定義を実施。職員向け説明会を開催。 ②③完了 ④研修内容を検討。業者からヒアリング
第3	① 4 件のオンライン申請を作成、また HP の整備を実施。②③完了、④長野県セキュリテクラウドからの注意喚起を庁内へ展開。
第4	

## 2. 令和 7 年度評価

1)R7 度の計画に掲げた取り組みの実績(実施の有無、回数、人数など 未実施も記載)		
①		
②		
③		
④		
2)目標の達成度		
指標	令和 7 年度末の状況	
	実績	達成度
a		
b		
c		
(1)~(3)平均		
指標	令和7年度末実績	令和 11 年度末実績・達成度
A		
B		
AB 平均		
3)取り組みの効果の確認		
※目標値上昇の効果と、目標値上昇以外の効果(アンケートの変化などはここに記載)。効果の度合い、費用対効果、対象の網羅性など。		

## 3. 計画・取り組みの検証

1)計画とそれに基づく行動は上位施策の目的に向上に有効であったか(有効でなかった場合はその理由も記載)		
2)次年度の事務事業のあり方		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	理由	
目的	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
目標	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	
取り組み	変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	変更内容・理由	